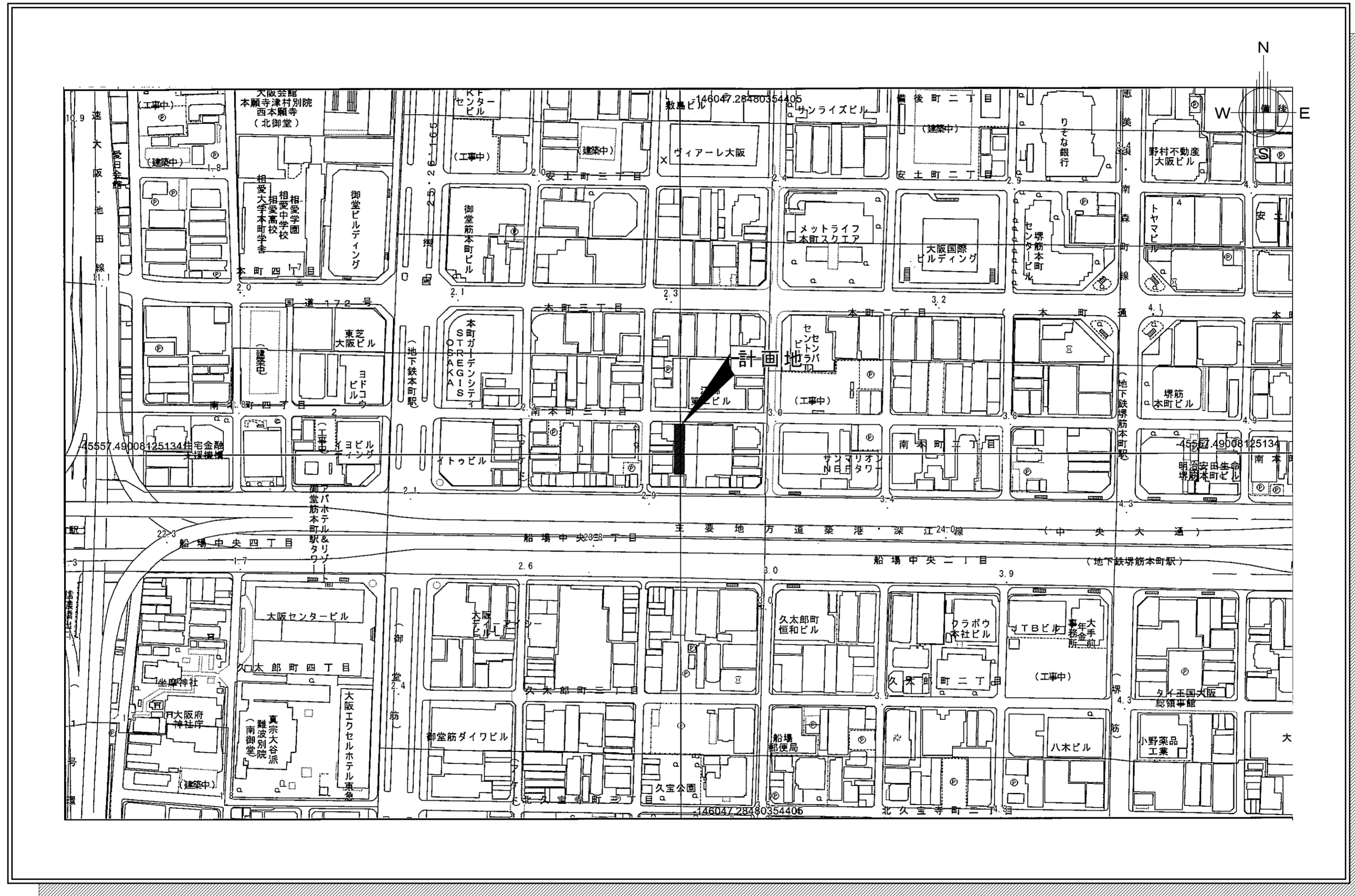


(仮称) 南本町3丁目 計画

【実施図】

F.A.O.	作成年月日	2024.4.3	工事名称	(仮称) 南本町3丁目 計画	NO.	A-000
	福嶋洋一建築研究所	図面名称	表紙	縮尺		

意匠図		機器図		構造図		機械設備図		電気設備図	
A-000	表紙	**	エレベーター詳細図(1)	S-01	構造特記仕様書	M-01	特記仕様書 1	E-01	電気設備 特記仕様書
A-001	図面リスト	**	エレベーター詳細図(2)	S-02	鉄筋コンクリート構造配筋標準図(1)	M-02	特記仕様書 2	E-02	受電 系統図-1
A-002	附近見取図	**	エレベーター詳細図(3)	S-03	鉄筋コンクリート構造配筋標準図(2)	M-03	機器リスト	E-03	受電 系統図-2
A-003	特記仕様書(1)	**	エレベーター詳細図(4)	S-04	鉄骨工作標準図(1)	M-04	給水・消火設備 系統図	E-04	幹線 系統図
A-004	特記仕様書(2)	**	エレベーター詳細図(5)	S-05	鉄骨工作標準図(2)	M-05	排水設備 系統図	E-05	盤 結線図
A-005	特記仕様書(3)	**	エレベーター詳細図(6)	S-06	ベースバックNT柱脚工法設計施工標準図(1)	M-06	給水・消火設備 1~3階 平面図	E-06	幹線設備 1~3階 平面図
A-006	特記仕様書(4)	**	エレベーター詳細図(7)	S-07	ベースバックNT柱脚工法設計施工標準図(2)	M-07	給水・消火設備 4~9階 平面図	E-07	幹線設備 4~9階 平面図
A-007	仕上表			S-08	ベースバックNT柱脚工法設計施工標準図(3)	M-08	排水設備 1~3階 平面図	E-08	幹線設備 PH階 平面図
A-008	凡例	T-01	カーテンウォール 断面詳細図	S-09	合成スラブ設計・施工標準仕様書	M-09	排水設備 4~9階 平面図	E-09	照明器具 姿図
A-009	耐火リスト			S-10	土質柱状図	M-10	排水設備 PH階 平面図	E-10	電灯設備 1~3階 平面図
A-010	面積表(1)			S-11	伏図(1)	M-11	4~8階 平面図 S	E-11	電灯設備 4~9階 平面図
A-011	面積表(2)			S-12	伏図(2)	M-12	9階 平面図 S	E-12	弱電 系統図
A-012	面積表(3)			S-13	伏図(3)	M-13	換気・空調設備 1階 平面図 N	E-13	弱電設備 1~3階 平面図
A-013	面積表(4)			S-14	伏図(4)	M-14	換気・空調設備 1階 平面図 S	E-14	弱電設備 4~9階 平面図
A-014	1~3階平面図			S-15	伏図(5)	M-15	換気・空調設備 2~3階 平面図 N	E-15	弱電設備 PH階 平面図
A-015	4~9階平面図			S-16	軸組図(1)	M-16	換気・空調設備 2~3階 平面図 S	E-16	自火報設備 系統図
A-016	PH階平面図			S-17	軸組図(2)	M-17	換気・空調設備 4~8階 平面図 N	E-17	自火報設備 1~3階 平面図
A-017	立面図(1)			S-18	基礎 リスト	M-18	換気・空調設備 4~8階 平面図 S	E-18	自火報設備 4~9階 平面図
A-018	立面図(2)			S-19	基礎梁・基礎小梁 リスト	M-19	換気・空調設備 9階 平面図 N	E-19	自火報設備 PH階 平面図
A-019	断面図			S-20	鉄骨部材 リスト	M-20	換気・空調設備 9階 平面図 S	E-20	避雷設備 立面図
A-100	矩計図(1)			S-21	小梁・床版 リスト	M-21	換気・空調設備 PH階 平面図	E-21	避雷設備 1~3階平面図
A-101	矩計図(2)			S-22	鉄骨詳細図	M-22	ガス設備 系統図	E-22	避雷設備 PH階平面図
A-102	階段 矩計図			S-23	雑詳細図	M-23	ガス設備 1~3階平面図	E-23	避雷設備 機器詳細図
A-103	E V 矩計図							E-24	避雷設備 強度計算書
A-104	1階 北側 平面詳細図								
A-105	1階 南側 平面詳細図								
A-106	2・3階 北側 平面詳細図								
A-107	2・3階 南側 平面詳細図								
A-108	4~8階 北側 平面詳細図								
A-109	4~8階 南側 平面詳細図								
A-110	9階 北側 平面詳細図								
A-111	9階 南側 平面詳細図								
A-112	R階 北側 平面詳細図								
A-113	R階 南側 平面詳細図								
A-114	1階展開図(1)								
A-115	1階展開図(2)								
A-116	1階展開図(3)								
A-117	テナント 展開図(1)								
A-118	テナント 展開図(2)								
A-119	オフィス 展開図(1)								
A-120	オフィス 展開図(2)								
A-121	1~3階 天井伏図								
A-122	4~9階 天井伏図								
A-123	建具リスト								
A-124	建具表(1)								
A-125	建具表(2)								
A-126	建具表(3)								
A-127	外構図								
A-128	屋外工事詳細図								



北真

89.28°

北道路境界線

■ F.A.O ■ 福嶋洋一建築研究所	作成年月日 2024.4.3	工事名称 (仮称) 南本町3丁目 計画	NO. A-002
	一級建築士登録第120638号 福嶋洋一	図面名称 附近見取図	縮尺 1:2500

本図の縮尺は、A2-100%、A3-70.7%とする。

共 通 事 項

<p>建築概要</p> <p>1. 名称 (仮称) 南本町3丁目 計画</p> <p>2. 建築主 株式会社リアライズアセット 代表取締役 浅倉 康之</p> <p>3. 建築場所 大阪市中央区南本町3丁目18番</p> <p>4. 工事種別 新築</p> <p>5. 主要用途 事務所・物販店舗</p> <p>6. 構造 鉄骨造 9階建て</p> <p>7. 地域・地区 用途地域：商業地域 防火指定：防火地域 その他の地域・地区：船場建築線指定地域</p>	<p>質疑 本工事の設計図書に関する質疑は、工事契約前に質疑応答書により確認する。</p> <p>現場施工管理者 本工事、着工前に建設業法による技術専任者を選定し、係員の承認を得ること。技術専任者は着工時より竣功時迄常駐し、一切の事項を処理する。尚、工事中に係員が不適当と認められた技術専任者、及び、他の職員は、請負業者にその変更を求める事が出来る。 係員： 係員とは、設計事務所の監理設計士、及び、本工事の担当員をいう。</p> <p>着工前の提出書類 現場施工管理者は着工前に下請けリスト、全工程表、及び、係員の指示した書類を提出しその、承認を得なければならない。</p> <p>工程表 現場施工管理者は、着工前に全工程表を、又、毎月、毎週にそれぞれ、月間工程表、週間工程表を、又、竣工三ヶ月前からは日割工程表を提出し係員の承認を得なければならない。</p> <p>別途工事 別途工事のある場合も、本工事請負業者が統括管理を行い、積極的に協力し、工程に 支障なきようすること。</p> <p>現状復帰 公道、私道、及び、他人の財産、施設等に損害を与えた場合は、速やかに関係者と協議し、復旧しなければならない。又、その費用は本工事請負人が全て負担するものとする。 (道路、歩道の切り下げ部分)</p> <p>環境問題 工事による騒音、振動、臭気、交通渋滞等、近隣に迷惑を及ぼすものについては、事前に近隣住民に連絡すること。又、関係官庁と十分打合せ、本地域の規則を遵守し、工事を行うこと。</p>	<p>別途工事 解体撤去工事 地中障害撤去工事(軽微なものは除く) 土質調査費用 開発による負担・分担金 放流分担金 電話加入金 近隣対策費用(工事に起因する物を除く) 電波対策費用 CATV加入金 家電・什器・備品 住戸専有部分カーテン・ブラインド</p> <p>その他 祭典は安全祈願祭費用は請負者負担とする。</p> <p>物価スライドによる工事費の増減は、一切認めないものとする。</p> <p>軽微な変更以外の変更については、施主、設計事務所、請負業者、3者協議のうえ行うものとする。</p> <p>業種別の緊急連絡先の一覧表(住所、氏名、電話番号、担当者名を明記のこ)を、提出すること。</p> <p>中間・竣工検査費用は請負者負担とする。(指定機関検査料金含む)</p> <p>メーカー選定・材料選定・施工計画及び要領書については本図に記載されているメーカーも含め、選定・要領書内容を建築主・係員に報告すること。</p> <p>請負者において構造計算書と構造図の相違がないか確認し着工時までには報告書を提出すること。</p>																																																																																																												
<p>(1) 設計図及び特記仕様書に記載のない事項は、 建築工事は公共建築工事標準仕様書 国土交通省大臣官房庁営繕部監修(最新版) 電気・設備工事は(社)日本建築家協会監修 建築設備工事共通仕様書(最新版)による。</p> <p>(2) 1章から6章及び設備工事の特記仕様は下記による。</p> <p>1章 一般共通事項</p> <p>2章 仮設工事 仮囲い。現場事務所等。(打合わせテーブルは10人用)</p> <p>3章 土工事及び山止工事 構造特記仕様による。</p> <p>4章 地業工事 同上</p> <p>5章 鉄筋コンクリート工事 同上</p> <p>6章 鉄骨工事 同上</p> <p>設備工事 設備特記仕様書による。</p> <p>(3) 特記事項でO印を付したものを適用し、付していないものは適用しない。</p> <p>(4) 各章タイトルを二条線にて抹消してある場合は、当プロジェクトに該当しない章又は特記事項のない章を示す。</p> <p>(5) 相違する場合の優先順位は下記による。 1.見積要項(現場説明事項・質疑応答書を含む) 2.現場定例会議打合議事録 3.事業主基本要領書 4.特記仕様書 5.設計図書 6.公共建築工事標準仕様書(国土交通省大臣官房官庁営繕部最新年度版) 7.住宅瑕疵担保責任保険設計施工基準(最新年度版) ※パンフレット作成後、設計図書と相違のある場合はパンフレットを優先とする</p>	<p>工事の停止 請負業者が工事に関し、係員の指示に従わない場合には、建築主の承認を得て、工事の一時停止を命令することができる。又、これにより業者が損害を受けても、施主、設計事務所、係員はその責任を負わない。損害の負担は業者が負うものとする。</p> <p>未承認工事 係員の指示、承認のない変更、追加工事は、これを認めず、是正を命令できるものとする。又、追加支払いは、是れを認めない。</p> <p>紛争処理 近隣住民、及び、関係者との間に紛争が生じた場合は、請負業者は全面的に紛争解決に協力すること。又、近隣住民、関係者に、工事中の騒音、振動、交通整理等の諸問題を事前に説明会等により知らせ、その対応策をとること。</p> <p>立ち会い検査 下記事項、及び、係員から要請のあった事項については、必ず係員の立ち会いを求め、その承認を得なければならない。 1)根切 2)支持層確認 3)杭造成工事 4)各配筋工事 5)各コンクリート打設時 6)アンカーボルト設置時 7)鉄骨原寸検査 8)鉄骨製品検査 9)各種製品検査 10)各種試験 11)係員が必要と認めた事項 12)竣工検査 又、官庁、関西電力、大阪ガス、N T T等の検査に立ち会い、全て合格しなければならない。</p> <p>施工図、原寸図 全ての工事、加工について、前以て施工図、原寸図、加工図を係員に提出し、その承認を得なければならない。(建築主に対して同様)</p> <p>検査が困難な場合 施工後の検査が困難な場合は、事前に係員に連絡し、立ち会い検査を受けること。</p> <p>手直し工事 竣工前検査時に、係員の指示による手直し工事が有った場合は、竣工検査迄に行い、本検査合格後、及び、関係官庁、各公共企業等の検査合格の後、竣工引渡を行う。</p> <p>仮設 竣工引渡前に本工事の仮設物は、完全に撤去すること。</p> <p>工事保険 請負業者は着工前に工事物件保険、火災保険、損害賠償保険、第三者損害保険等を一括した建築総合保険に加入し、その旨、工事現場に表示しなければならない。 工事保険は事業主の承認を得た保険会社で工事保険の加入をすること。 又、引渡日より1ヶ月先まで加入とする。</p>	<p>室内空気汚低減に関する事項 内装工事に使用する材料のうち、内装下地材及仕上材はホルムアルデヒドの放散量が新JISで定めるF☆☆☆☆等級のものとする。 但し、通気性があるカーペット・畳等の下地板も対象とする。</p> <p>内装工事に使用する材料のうち、接着剤、塗料は、ホルムアルデヒドを含まないもので、トルエン、キシレン、エチルベンゼン、スチレンの放散量の極力小さいものを使用する。 有機溶剤系接着剤、塗料を使用する場合は、係り員に相談の上、その使用量を最小限に抑え、十分に養生期間を設ける等の配慮をすること。</p> <p>提出書類</p> <table border="1"><thead><tr><th></th><th>書面</th><th>保存形式</th></tr></thead><tbody><tr><td>1) 契約時及び契約後15日以内</td><td></td><td></td></tr><tr><td>・工事請負契約書</td><td>3部</td><td>—</td></tr><tr><td>・工事着工届</td><td>3部</td><td>PDF</td></tr><tr><td>・現場代理人届及び監理技術者届(経歴書付)</td><td>3部</td><td>PDF</td></tr><tr><td>・現場組織図</td><td>3部</td><td>PDF</td></tr><tr><td>・緊急連絡表</td><td>3部</td><td>PDF</td></tr><tr><td>・総合工程表</td><td>3部</td><td>PDF</td></tr><tr><td>・総合仮設計画図</td><td>3部</td><td>DXF・PDF</td></tr><tr><td>・設計図製本図面</td><td>A2-1部 A3-2部</td><td>DXF</td></tr><tr><td>・アスベスト使用に関する確認書</td><td>3部</td><td>PDF</td></tr><tr><td>・確認申請書確認書</td><td>3部</td><td>PDF</td></tr><tr><td>2) 工事に関する報告書(指定様式) 一竣工時にPDFにて提出</td><td></td><td></td></tr><tr><td>・工事報告書(監理者報告書と纏める)</td><td>3部</td><td>—</td></tr><tr><td>・協力業者一覧表</td><td>3部</td><td>—</td></tr><tr><td>・使用材料一覧表 メーカーリスト一覧表</td><td>3部</td><td>—</td></tr><tr><td>3) 竣工図書</td><td></td><td></td></tr><tr><td>・工事完成届 各引渡受領書及び明細書</td><td>2部</td><td>PDF</td></tr><tr><td>・工事概要 竣工書類目録</td><td>2部</td><td>PDF</td></tr><tr><td>・官公庁提出書類一覧表及び官公庁提出書類</td><td>1部</td><td>PDF</td></tr><tr><td>・アフターサービス連絡先表</td><td>2部</td><td>PDF</td></tr><tr><td>・緊急連絡先一覧表</td><td>2部</td><td>PDF</td></tr><tr><td>・協力業者一覧表</td><td>1部</td><td>PDF</td></tr><tr><td>・メール 宅配ボックス暗証番号一覧表</td><td>2部</td><td>PDF</td></tr><tr><td>・メーター検針一覧表</td><td>1部</td><td>PDF</td></tr><tr><td>・主要機器及び使用資材メーカーリスト</td><td>2部</td><td>PDF</td></tr><tr><td>・仕上表</td><td>2部</td><td>PDF</td></tr><tr><td>・保証書一覧表及び保証書</td><td>1部</td><td>PDF</td></tr><tr><td>・取扱説明書一覧表及び取扱説明書</td><td>1部</td><td>PDF</td></tr><tr><td>・各種試験成績表一覧表及び試験成績表</td><td>2部</td><td>PDF</td></tr><tr><td>・電気 給排水衛生設備完成図一覧表及び完成図</td><td>2部</td><td>PDF</td></tr><tr><td>・アスベストに関する調査報告書及び一覧表</td><td>2部</td><td>PDF</td></tr><tr><td>・事業主竣工検査記録</td><td>3部</td><td>PDF</td></tr><tr><td>・内覧会記録</td><td>1部</td><td>PDF</td></tr><tr><td>・竣工図面</td><td>A2-2部 A3-1部</td><td>DXF・PDF・TIFF</td></tr><tr><td>・竣工図書電子データ(指定様式)</td><td>データ2部</td><td>—</td></tr></tbody></table>		書面	保存形式	1) 契約時及び契約後15日以内			・工事請負契約書	3部	—	・工事着工届	3部	PDF	・現場代理人届及び監理技術者届(経歴書付)	3部	PDF	・現場組織図	3部	PDF	・緊急連絡表	3部	PDF	・総合工程表	3部	PDF	・総合仮設計画図	3部	DXF・PDF	・設計図製本図面	A2-1部 A3-2部	DXF	・アスベスト使用に関する確認書	3部	PDF	・確認申請書確認書	3部	PDF	2) 工事に関する報告書(指定様式) 一竣工時にPDFにて提出			・工事報告書(監理者報告書と纏める)	3部	—	・協力業者一覧表	3部	—	・使用材料一覧表 メーカーリスト一覧表	3部	—	3) 竣工図書			・工事完成届 各引渡受領書及び明細書	2部	PDF	・工事概要 竣工書類目録	2部	PDF	・官公庁提出書類一覧表及び官公庁提出書類	1部	PDF	・アフターサービス連絡先表	2部	PDF	・緊急連絡先一覧表	2部	PDF	・協力業者一覧表	1部	PDF	・メール 宅配ボックス暗証番号一覧表	2部	PDF	・メーター検針一覧表	1部	PDF	・主要機器及び使用資材メーカーリスト	2部	PDF	・仕上表	2部	PDF	・保証書一覧表及び保証書	1部	PDF	・取扱説明書一覧表及び取扱説明書	1部	PDF	・各種試験成績表一覧表及び試験成績表	2部	PDF	・電気 給排水衛生設備完成図一覧表及び完成図	2部	PDF	・アスベストに関する調査報告書及び一覧表	2部	PDF	・事業主竣工検査記録	3部	PDF	・内覧会記録	1部	PDF	・竣工図面	A2-2部 A3-1部	DXF・PDF・TIFF	・竣工図書電子データ(指定様式)	データ2部	—
	書面	保存形式																																																																																																												
1) 契約時及び契約後15日以内																																																																																																														
・工事請負契約書	3部	—																																																																																																												
・工事着工届	3部	PDF																																																																																																												
・現場代理人届及び監理技術者届(経歴書付)	3部	PDF																																																																																																												
・現場組織図	3部	PDF																																																																																																												
・緊急連絡表	3部	PDF																																																																																																												
・総合工程表	3部	PDF																																																																																																												
・総合仮設計画図	3部	DXF・PDF																																																																																																												
・設計図製本図面	A2-1部 A3-2部	DXF																																																																																																												
・アスベスト使用に関する確認書	3部	PDF																																																																																																												
・確認申請書確認書	3部	PDF																																																																																																												
2) 工事に関する報告書(指定様式) 一竣工時にPDFにて提出																																																																																																														
・工事報告書(監理者報告書と纏める)	3部	—																																																																																																												
・協力業者一覧表	3部	—																																																																																																												
・使用材料一覧表 メーカーリスト一覧表	3部	—																																																																																																												
3) 竣工図書																																																																																																														
・工事完成届 各引渡受領書及び明細書	2部	PDF																																																																																																												
・工事概要 竣工書類目録	2部	PDF																																																																																																												
・官公庁提出書類一覧表及び官公庁提出書類	1部	PDF																																																																																																												
・アフターサービス連絡先表	2部	PDF																																																																																																												
・緊急連絡先一覧表	2部	PDF																																																																																																												
・協力業者一覧表	1部	PDF																																																																																																												
・メール 宅配ボックス暗証番号一覧表	2部	PDF																																																																																																												
・メーター検針一覧表	1部	PDF																																																																																																												
・主要機器及び使用資材メーカーリスト	2部	PDF																																																																																																												
・仕上表	2部	PDF																																																																																																												
・保証書一覧表及び保証書	1部	PDF																																																																																																												
・取扱説明書一覧表及び取扱説明書	1部	PDF																																																																																																												
・各種試験成績表一覧表及び試験成績表	2部	PDF																																																																																																												
・電気 給排水衛生設備完成図一覧表及び完成図	2部	PDF																																																																																																												
・アスベストに関する調査報告書及び一覧表	2部	PDF																																																																																																												
・事業主竣工検査記録	3部	PDF																																																																																																												
・内覧会記録	1部	PDF																																																																																																												
・竣工図面	A2-2部 A3-1部	DXF・PDF・TIFF																																																																																																												
・竣工図書電子データ(指定様式)	データ2部	—																																																																																																												
<p>軽微な変更等 特記仕様書、及び、図面に記載なき場合も、外観上、機能構造上、及び、関連法規上当然必要と思われる事項については、本工事請負金額内に施工すること。又、軽微な設計変更による金額の増減は、これを行わないものとする。</p> <p>設計変更 事業主の希望等、又、関係官庁の指導等により、上記に該当しない設計変更を生じた場合は、原則として予め見積書を提出し、承認を得た後、施工、加工にかかる事。その場合、各工事共、契約書の単価以下とする事。又、契約書に単価なき場合は、契約時の積算単価以下とする。</p>																																																																																																														

13章 屋根及びとい工事	
1. 性能条件	設計用風圧力 採用メーカーにより確認すること。
2. 金属板葺	・屋根葺形式 ・瓦棒葺 ・平葺 ・折版 ・金属板の種類 カラーガルバリウム鋼板 t=0.35 指定色 ダイムワカイ(開発室TEL:06-6944-9595) 芯木無しA号瓦棒葺 同等品 ・裏打ち消音材貼付
3. アスファルト	・シングル
4. 樋	・軒樋: カラーVP ・タテ樋: カラーVP管φ75(最上部: 空気穴設置、エントランス及び見付部: SUS管とする。) ・呼樋: 加塩ビVUφ50
5. ルーフドレイン	・ <input checked="" type="radio"/> 鋳鉄製 (中間ドレイン) ・ 鋳鉄製 … 開放廊下についてはドレインは排水溝幅に納まる製品とする (ヨコ引) <input checked="" type="radio"/> ドレイン金物ボルト、ナット等はステンレスとする。

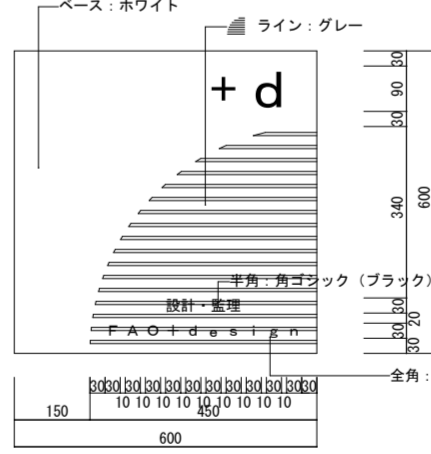
14章 金属工事	
1. ニッケル及びニッケルクロームめっき	種別 <input checked="" type="radio"/> A種 * B種 ・ C種
2. ステンレス鋼板 仕上	<input checked="" type="radio"/> ハーライン (* #120~150) ・バフ仕上 (* #400 #600) ・鏡面 (・ #800)
※ 工事にあたっては、製作図を提出の上係員の承認を受けるものとする。	
3. 庇(既製品) 消音材貼付	・アルミ製庇(既製品) アルフィン(AD1) 同等品
3. アルミルーバー(既製品)	25×40 上端キャップ止 支持方法は強度計算書を提示し係員の承認を得ること

15章 左官工事	
1. モルタル塗	<input checked="" type="radio"/> モルタルは、亀裂防止剤・接着剤・防水剤その他の混和剤を必要に応じて係員と協議の上使用するものとする。

16章 建具工事	
1. 性能条件	耐風圧性能 <input checked="" type="radio"/> 耐風圧: メーカー仕様による (風圧力の分布は建築基準法施工令第87条及び建設省告示第1454号による。) その他の性能(水密性能、気密性能、遮音性能等) <input checked="" type="radio"/> 図示による。

② アルミニウム製建具	押出型材 <input checked="" type="radio"/> 既製型材 ・ 一部新型 ・ 新型) 表面処理の仕様 (既製建具) 陽極酸化皮膜+透明合成樹脂塗装 (* 9μ+7μ・JIS H8602 B種) 二次電解着色+透明合成樹脂塗装 (<input checked="" type="radio"/> 9μ+7μ) (既製建具以外の建具) 陽極酸化皮膜 (*14μ) 陽極酸化皮膜+透明合成樹脂塗装 (*14μ+7μ) 二次電解着色 (<input checked="" type="radio"/> 14μ) 二次電解着色+透明合成樹脂塗装 (*14μ+7μ) 熱硬化性アクリル樹脂塗装 (*40μ)
3. ふすま ふすまの仕様	ふすま縁 (・ 桑まがい ・ 女桑 ・ 本桑 ・ カシュー塗り ・ うるし塗り) 上紙 (*新鳥の子紙 ・ 上新鳥の子紙 ・ 鳥の子紙) … 2色貼分けとする ふすまの引手 (*軽合金又は合成樹脂製 ・ 鋼製) ふすまの工法 (*和ぶすま *スタイロぶすま ・ 量産ぶすま)
4. 実物大見本	・ 要 <input checked="" type="radio"/> 不要 製作部位・材料 寸法・個数 製作の目的 ・ 外観の確認 ・ 開閉操作の確認
5. 性能試験	・ 行う <input checked="" type="radio"/> 行わない 試験項目 ・ 耐風圧性能 ・ 水密性能 ・ 気密性能 部位、供試体の規模
6. 建具用金物	<input checked="" type="radio"/> 指定製造所の製品とし、形式は設計図により、見本提出の上、係員が承認したものとする。 <input checked="" type="radio"/> マスターキー : <input checked="" type="radio"/> 必要 (組各3枚) ・ 不要 <input checked="" type="radio"/> グランドマスターキー : <input checked="" type="radio"/> 必要 ・ 不要 ・ 予備シリンダー : <input checked="" type="radio"/> 必要 (3個) ・ 不要 <input checked="" type="radio"/> 各キーは市販キーボックスに納入し、案内図を添付して係員に提出する。 ・ 自動制御方式 ・ 遠隔制御方式 ・ 手動制御方式
6. 建具用金物	<input checked="" type="radio"/> 小松ウォール カームドア については係員の承認を得たハンドルとすること ・ レバーハンドル等金物仕様 (家具金物にも適用する、全て同等品とする) レバーハンドル カワジュン KTC-G-LW (T2-Plate) (φφ-M) ・ ドア付戸当り カワジュン AC-600 (φφ-M) 表示錠 カワジュン T2-Plate (φφ-M) ・ 把手 カワジュン PC-182-L (φφ-M) 握込引手 カワジュン PC-359 (φφ-M) ・ つまみ カワジュン PC-353 (φφ-M) ドアキャッチャー カワジュン AC-784 (φφ-M) ・ レール引手 カワジュン PA-06 (スリッパ) 床付戸当り カワジュン AC-807 (φφ-M) ・ 握棒 エイチ T7000 (スチールHL)
7. 建具周囲のシーリング材	<input checked="" type="radio"/> 建具の四周は入念にコーキングすること。
8. ガラス	<input checked="" type="radio"/> 種類等は設計図によるものとし、指定製作会社の製品とする。 <input checked="" type="radio"/> 型板ガラス・すりガラス等はサンプル提出の上承認とする。
9. メーカー等	<input checked="" type="radio"/> ベルテム、谷口氏 (TEL:080-4298-9919) に見積を依頼すること。

17章 カーテンウォール工事	
1. 性能条件	耐風圧性能 耐風圧: メーカー仕様による (風圧力の分布は建築基準法施工令第87条及び建設省告示第1454号による。) 水密性能 図示による 目地部分、はめ殺窓部分 kg/m ² 可動窓部分 kg/m ² 層間変位追従性能 層間変位 (<input checked="" type="radio"/> 1/150・h) ・ 1/ h) に対し。 主要部分の破壊、脱落が生じないようにする。 層間変位 (<input checked="" type="radio"/> 1/300・h) ・ 1/ h) に対し。 雨仕舞シールの補修を要する程度の部分的損傷にとどまるものとする。 層間変位 (<input checked="" type="radio"/> 1/400・h) ・ 1/ h) に対し。 補修の必要がなくそのまま使用できるものとする。 その他の性能
2. アルミニウム材	押出型材 <input checked="" type="radio"/> 一部新型 ・ 新型 ・ 既製型材) 表面処理の仕様 陽極酸化皮膜 (*14μ) 二次電解着色 (<input checked="" type="radio"/> 14μ) 陽極酸化皮膜+透明合成樹脂塗装 (*14μ+12μ) 熱硬化性アクリル樹脂塗装 (*40μ) 熱硬化性ポリウレタン樹脂塗装 (*40μ)
3. Pca板	コンクリートの種類 ・ 普通コンクリート ・ 第一種軽量コンクリート ・ 第二種軽量コンクリート
4. 実物大見本	・ 要 <input checked="" type="radio"/> 不要 製作部位 製作材料 寸法・個数 製作の目的 ・ 外観の確認
5. 試験	・ 行う <input checked="" type="radio"/> 行わない 試験項目 ・ 耐風圧性能 ・ 水密性能 ・ 気密性能 ・ 層間変位追従性能 試験供試体 層 連 (m × m)

<p style="text-align: center;">18章 塗装工事</p> <p>1. 一般事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 素地調整及び塗装工程は、公共建築工事標準仕様書による。 ○ 塗装業者は、日本塗装工業会会員とする。 <p>2. 防火材料</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 屋内の壁及び天井の仕上げは素材同等の認定のあるものとする。 <p>3. 塗装</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 図示による。 <p>4. 吹付材</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 図示による。 <p>※不燃材とし弾性性能のある製品を使用すること(リシン除く)</p>	<p style="text-align: center;">20章 ユニット及びその他の工事</p> <p>1. 移動間仕切</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小松ウォール HS-50VB 同等品 <p>2. トイレブース</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小松ウォール TB-YP(見込40mm) 同等品 <p>3. ホワイトボード</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アルミ枠、W1200×H900 <p>4. 階段滑り止め</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ステンレス製、タイヤ入 <p>5. 表示</p> <ul style="list-style-type: none"> ・追突防止表示：ステンレス製 ・ピクトサイン（書き込み文字等は建築主・係員との打合せによる） ・突出サイン：支持-ステンレスバー(W15)、サイン-ナラ材練付(250角、t15) 文字-シート張り、イラスト-インクジェットシート張り <p>1. 図内案内サイン（書き込み文字等は建築主・係員との打合せによる）</p> <p>800角、平付にてピクトサイン同仕様とする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 階数表示：ステンレス製（各階E V前、各階各階段） ○ 国際シンボルマーク：アルミ製（200角、点字表示付） <p>6. カーテン及び</p> <p>カーテンレール</p> <ul style="list-style-type: none"> ・カーテン 居室：ドレープカーテン・レースカーテン（ブレーンひだ） WC等：シャワーカーテン 病後児保育室間仕切：医療用カーテン <p>※防災品とする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・カーテンレール アルミ製 <p>6. 洗面カウンター</p> <ul style="list-style-type: none"> ・TOTO マーブルライトカウンター 同等品 <p>7. ミニキッチン</p> <ul style="list-style-type: none"> ・L=1200、フロアコンロ(パイプコンロ)、温水器付 シンク、ルバー-混合水栓、換気フード（建築工事） <p>※吊戸、換気フードのH寸法は消防指導による。</p> <p>8. 郵便受け</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 杉田エース MX-6型 同等品（1ヶ所） <p>9. 掲示板</p> <ul style="list-style-type: none"> ・杉田エース ルックナー-壁型(WHN-12-09) 同等品（屋外・エントランス各1ヶ所） ・杉田エース 7角大型掲示板(211-236) 同等品（各乳児・保育室） <p>10. 点字</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 鋏形状（本体ステンレス製-樹脂ノンスリップ付） <p>11. 点字手摺表示シート</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ダイノックシート製（各階段上り・降り口） <p>12. 床下点検口</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ステンレス製、床同材仕上げ、点検口下ステンレス製タラップ(W400) <p>13. 斜降式救助袋</p> <ul style="list-style-type: none"> ・タカオカ 斜タカオカ1型-4 消防認定品 同等品（1ヶ所） <p>14. 更衣ロッカ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・鋼製焼付け塗装、キー付、2段式（アンカーにて床固定） <p>15. 天井め込可動物干</p> <ul style="list-style-type: none"> ・杉田エース 室内用スカイクリーニング(URB-S、7角製) 同等品 <p>16. 防護マット</p> <ul style="list-style-type: none"> ・石井化成工業 ホットガード 同等品 <p>17. タオル掛け</p> <ul style="list-style-type: none"> ・カワジュン SA-130-XC 同等品 <p>18. 看板</p> <ul style="list-style-type: none"> ・隣接駐車場に、専用駐車場である旨の表示看板 木製自立型、トタン張りペンキ文字、W 400×H 200、6ヶ所 <p>19. 館銘盤</p> <ul style="list-style-type: none"> ・屋外階段 外壁ルーバー部:20文字 650×650/文字 SUS HL 箱文字 t= 45 ・エントランス上部入居者サイン LED照明を設置すること(建築工事) ※見積は事業主分15万円を見込むこと 	<p style="text-align: center;">22章 舗装工事</p> <p>1. 敷地境界石標</p> <p>石標の設置</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 要 ・ 不要 <p>石標の材質</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ * コンクリート製ブロック ○ 花こう岩 JB仕上：接道部のみ <p>2. ゴムチップ舗装</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ABC商会 ゴルフフィットUE 同等品 <p>3. 引渡し時舗装範囲</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 前面道路 幅7.02M 奥行9.9M
<p style="text-align: center;">19章 内装工事</p>	<p style="text-align: center;">21章 排水工事</p>	<p style="text-align: center;">23章 植栽工事</p> <p>1. 植込み用土</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 現場発生の良質土 ・ 客 土 <p>（詳細は外構図に依る）</p> <p>2. 植栽保証期間</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 新植、移植および芝張りの保証期間は引渡し日より1年間
<p>1. 一般事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 本工事に使用する材料は、J I S規格品とする。但し特殊材料はこれに準拠し前もって見本品を提出したり、見本張りを行い、係員の承認を受けることとする。 ・ 本工事に使用する合板は図示なき限り、塗装下地の場合はシナ合板、その他は、ラワン、等級は4級とする。 ○ 水場廻りに使用するボード類は、耐水タイプとする。 <p>2. ビニル床タイル（ゴムタイル、ビニル床シート）</p> <p>表面仕上</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 水溶性ワックス ・ 樹脂系ワックス <p>3. カーペット敷き</p> <p>タイルカーペット</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ サンゲツ「NT-100」 <p>4. 合成樹脂塗床</p> <p>材料</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 弾性ウレタン樹脂系 ・ エポキシ樹脂系 <p>ABC商会 カミクリ-E(ペ-スト防滑工法) 同等品</p> <p>5. フローリング張り</p> <p>材料</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 単層フローリング ・ 複合フローリング <p>その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 1階：t=12mm又は15mm・LL-45、2階：t=15mm・LL-45とし、床暖房設置箇所は対応品とする。 <p>6. 畳敷き</p> <p>種類</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ A種 ※ B種 ・ わら畳 ・ 琉球畳 ・ 化学畳（薄畳はサンプル提出の上承認とする） <p>7. セッコウボード、その他ボード及び合板張り</p> <p>継目処理工法</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ Vカット工法 ○ テーパー工法 <p>8. 壁紙張り</p> <p>材料</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 図示による。 <p>9. 断熱・防露</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 図示による。 	<p style="text-align: center;">28章 その他</p> <p>1. 工事写真</p> <p>概略下記により撮影し、工事中はサービス判（カラー）2部</p> <p>竣工時は3部を提出する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 工事着手前（現状） ・ 工事中 ・ 竣工写真 <p>（仕様：A book 15ページ）</p> <p>株式会社エスエス大阪</p> <p>〒532-0011 大阪市淀川区西中島4-7-7 TEL (06) 6301-5251</p> <p>2. 竣工図書</p> <p>請負者にて本工事も図書一式の製本図面を竣工時に2部提出すること。（グ付スフ又ハードカバー）</p> <p>3. 備品</p> <p>1階倉庫へ建物管理用の脚立を備え付けること。</p>	<p style="text-align: center;">28章 その他</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  </div> <div style="text-align: center;"> <p>ベース：ホワイト</p> <p>1997年度版 日本塗装工業会UN-90</p> <p>ポイント：グレー</p> <p>1997年度版 日本塗装工業会UN-65</p> <p>※看板寸法は500角～800角として施工者の看板と高さを合わせる。</p> </div> </div>
<p>1. 外構計画図・設備図面による。</p>	<p>特記仕様書 及び 設計図書に記載した建築材料は、原則としてサンプル・色見本を係員に提出し、係員の承諾を得ること。</p>	<p>特記仕様書 及び 設計図書に記載した建築材料は、原則としてサンプル・色見本を係員に提出し、係員の承諾を得ること。</p>

外部仕上表

箇所	内訳	箇所	内訳	箇所	内訳
屋根	Q Lデッキコンクリートスラブの上 アスファルト防水 (断熱材付) 押えコンクリート仕上	建具工事	一般開口部: アルミサッシ 電解2次着色 (指定色) (シグナラ 気密A4、水密W5、耐風圧S5、遮音T2) サランネット (指定色)		
	E V屋根: Q Lデッキコンクリートスラブの上 露出アスファルト防水仕上		エントランスドア: ステンレス (H L仕上)		
外壁	ALC板 t=100の上、吹付タイル塗装仕上 一部セラミックタイル貼り	樋	タテ樋: VUφ100 (エントランス及び道路見え掛部分はSUS製φ100) 呼樋: VUφ75 横引・中継ドレン (錆鉄コールタール焼付)		
	一部杉板コンクリート打放し仕上げ 及び コンクリート打放し下地調整の上セラミックタイル貼 またはダイノックシート貼	断熱	外部に面する外壁 (事務所部分のみ): 吹付硬質ウレタンフォームA種1 t=25 外部に面するスラブ下: 吹付硬質ウレタンフォームA種1 t=40		
バルコニー	床: 防水モルタル金コテ押えの上 ウレタン塗膜防水仕上		土に接するスラブ下 (エントランス・守衛室・店舗): 押出発泡ポリスチレン t=30 +防湿樹脂フィルム t=0.15g/m ²		
	軒天: ケイカル板の上リシン吹付				
	手摺: ガラス手摺 又は ALC板	アプローチ	セラミックタイル貼 (デザイン張り)		
屋外避難階段	踊り場床・踏面・蹴込: 防水モルタル金コテ押えの上ノスリUP 長尺塩ビシート 段裏・手摺: 鉄骨SOP	原付置場	セラミックタイル貼 (ライン引き)		
	段鼻: SUSノスリUP 金物 (ゴム入り) 手摺: 連続ビコバド手摺 φ34.0	駐輪場	土間コンクリート直押え (ライン引き)		

内部仕上表

階	室名	内装制限	天井高	床	巾木	腰壁・壁	廻縁	天井	その他
1階	アプローチ	不燃	2.600	セラミックタイル貼 300×600 デザイン貼	SGL+150	セラミックタイル貼 H=100	アルミ製 天井見切縁	ジョリバット吹付 (NM-8572) LGS下地 PB 12.5mmの上 ケイ酸カルシウム板 6.0mm (NM-8578)	大型郵便対応メールBOX SUS製 (前入前出タイプ) 17+管理用2 間接照明
	エントランス	不燃	2.600	セラミックタイル貼 300×600	SGL+150	セラミックタイル貼 H=100	アルミ製 天井見切縁	寒冷紗バテ処理 ジョリバット吹付 (NM-8572) LGS下地 PB 12.5mm (不燃)	案内板 (SUS製 1500×1000程度)、掲示板 (900×1,800 ホーローパネル) EV内カメラモニター、経路図 (アクリル板シルク印刷、300角程度)、間接照明 排煙オペレーター
	守衛室	不燃	2.600	CFシート 2.3mm貼	SGL+150	ソフト巾木 H=60	ポトコウ	ビニールクロス貼 (NM-0849) PB 12.5mm下地	防犯モニター用棚板 (ポリ合板 W600×D400×t25程度) 室名札、火災受信室プレート
	テナントA・B	不燃	直天	コンクリートコテ押え	SGL+100	壁仕上に準ずる	-	ALC板 t=100 現し 柱型: ロックウール吹付 (NM-8601)	デッキプレート現し 梁型: ロックウール吹付 (NM-8601)
2・3階	テナントC	準	2.735	コンクリートコテ押え	SL±0	壁仕上に準ずる	-	PB 9.5mm (準不燃) 素地貼 LGS下地	給排水ガス設備キャップ止め、24時間喚起設備、非常用照明設備 開閉器、クーラースリーブ、予備スリーブ他、消火器BOX (置き式)、排煙オペレーター
4・9階	オフィス	不燃	2.700	タイルカーペット コンクリート下地OAFフロア	SL+35	ソフト巾木 H=40	アルミ製 天井見切縁	岩綿吸音板 12.0mm 貼 LGS下地 PB 12.5mm (不燃)	排煙オペレーター
	EVホール	不燃	2.700	タイルカーペット コンクリート下地 モルタルコテ押え	SL+35	ソフト巾木 H=40	アルミ製 天井見切縁	岩綿吸音板 12.0mm 貼 LGS下地 PB 12.5mm (不燃)	階数表示板、消火器BOX (置き式)、室名札 排煙オペレーター
	給湯室	不燃	2.500	長尺塩ビシート貼 コンクリート下地 モルタルコテ押え	SL+35	ソフト巾木 H=40	アルミ製 天井見切縁	ビニールクロス貼 (NM-0849) LGS下地 PB 12.5mm (不燃)	ミニキッチン、ピクトサイン、キッチンパネル (NM-2183)
	WC	不燃	2.500	長尺塩ビシート貼 コンクリート下地 モルタルコテ押え	SL+35	ソフト巾木 H=40	アルミ製 天井見切縁	ビニールクロス貼 (NM-0849) LGS下地 PB 12.5mm (不燃)	トイレブース、洗面カウンター (天板: メラミンポストフォーム)、大型鏡 マルチシンク、小便器・大便器、ウォシュレット、ウォーム便座 2連ペーパーホルダー、壁掛け300角、ピクトサイン ライニング (天板: メラミンポストフォーム、腰壁: 化粧ケイカル板)、間接照明
共通	EPS	不燃	直天	コンクリートコテ押え	SL±0	壁仕上に準ずる	-	ALC板 t=100 現し 柱型: ロックウール吹付 (NM-8601)	デッキプレート現し 梁型: ロックウール吹付 (NM-8601)
<p>※特記事項</p> <ol style="list-style-type: none"> 壁、天井、ビニールクロスは防カビ仕様、準不燃以上とし、その他使用材料 (下地材等も含む) は全てF☆☆☆☆とする。 内部間仕切壁は、LGS下地の上、PB厚12.5 (水廻りは耐水PB) とする。 テナント未定の為、内装仕上げ無しのスケルトンとするが、テナント決定後の内装工事の際は建築基準法及び関係規定・関係条例に適合させること。 テナント部分の客用の便所は現状では検討していないが、テナント決定後に客用便所を設置する場合は建築基準法及び関係規定・関係条例に適合させること。 									

内装制限	材料	塗料	照明器具
下地共不燃材	S 鋼	SOP 合成樹脂調合ペイント塗り	FL 蛍光灯
不燃材	SS ステンレス	CB コンクリートブロック	FL 白熱灯
下地共準不燃材以上	AL アルミ	OS オイルステイン塗り	CP コードペンダント
準不燃材以上	LGS 軽量形鋼	OSC オイルステインクリヤ塗り	DL ダウンライト
難燃材以上	FB フラットバー (平鋼)	LC クリヤラッカー塗り	CL シーリングライト
		LE ラッカーエナメル塗り	B ブラケット
		EP-I 合成樹脂エマルションペイント塗り (外部用)	
		EP-II 合成樹脂エマルションペイント塗り (内部用)	
		VE 塩化ビニルエナメル塗り	
		AE アクリルエナメル塗り	
		AE-BE 焼付アクリルエナメル塗り	

凡 例

消防法による有窓階の判定

OP	大阪湾基準潮位	防d	防火設備（常時閉鎖式3㎡以下）20分 （告示2563号による防火設備）
GL	基準地盤面	防k	防火設備（常時閉鎖式3㎡以下）20分 （告示2564号による防火設備）遮煙性能付
FL	基準床仕上面	特k	特定防火設備・通常閉鎖 1時間 （エレベータ扉・遮煙性能付 防犯ガラス無し 認定番号CAS-0520）
		特	特定防火設備・通常閉鎖 1時間 （エレベータ扉 防犯ガラス無し 認定番号CAS-0520）
PS	パイプスペース（各階コンクリートスラブにて区画）	特	特定防火設備 煙感知器連動常時開放式
DS	ダクトスペース	特k	特定防火設備 煙感知器連動常時開放式 遮煙性能付 認定番号：CAS-0257
SMT	排煙スペース	防	防火設備 煙感知器連動常時開放式
EV	エレベーター	特s	特定防火設備 熱煙複合式感知器連動常時開放式
非EV	非常用エレベーター	不	不燃扉
MB	メーターボックス	S	防火設備（防火シャッター） 随時閉鎖式 認定番号：EC-0027
A	床面積	SS	特定防火設備（防火シャッター） 煙感知器連動常時開放式
L	有効採光面積	SSk	特定防火設備（防火シャッター） 遮煙性能付 煙感知器連動常時開放式 認定番号：CAS-1018
V	有効換気面積	K	令125条の2に依る出入口
S	有効排煙面積	非 ▼	3階以上の階は、代用出入口（網入ガラス t=6.8） 有効W=750以上 H=1,200以上
Sh	排煙に有効な開口高さ	非常用照明	非常用照明装置を設ける室又は部分
SA	排煙区画部分の床面積	機械換気	機械換気設備を設ける室又は部分
SD, AD	スチールドア, アルミドア	機械排煙	機械排煙設備を設ける室又は部分
SH	スチールシャッター	告示1436号	排煙設備の設置免除（建設省告示第1436号）
網	防火設備（アルミサッシ+網入ガラス）20分 認定番号：EB-2456-3(引違い), EB-2515-1(片引き), EB-2482-2(排煙), EB-2446-1(FIX), EB-2463-2(縦すべり出し)		耐火構造の壁, 柱（RC造）
網g	防火設備（アルミサッシ+耐熱強化ガラス）20分 認定番号：EB-3432		耐火構造の壁（CB造）
網d	防火設備（鋼製引き戸+耐熱ガラス）20分 （告示1360号による防火設備）		耐火構造の壁（乾式）
特g	特定防火設備（鋼製サッシ+耐熱ガラス 半殺窓）1時間 認定番号：EA-0203 EA-0030		軽量鉄骨下地盤（LGS下地）
特k	特定防火設備（常時閉鎖式3㎡以下）1時間 遮煙性能付 認定番号：CAS-0257, CAS-0258, CAS-0246		木造通柱
特	特定防火設備（常時閉鎖式3㎡以下）1時間 認定番号：EA-0174		木造壁, 柱, 筋違
特d	特定防火設備（鋼製自動引き戸 常時閉鎖式3㎡以下）1時間 予備電源付き 非常時手動開放（自動閉鎖機能付き） （告示1369号による特定防火設備）		令22条の3及び令114条による界壁
防	防火設備（鋼製戸・鋼製サッシ）20分 （告示1360号による防火設備）		避難ハッチ600角（有効直径500φ以上）ステンレス製

< 1 階 >

床面積 (A)	基準開口部面積 (A/30)	有効開口部面積 合計	算定 結果
193.67 m2	6.46 m2	0 m2	普・無
開口部位置	室位置	開口部種別	床からの高さ(m)
			巾(m) X 高さ(m) X 数量
			開口部面積小計(m2)
			備考

< 2 ~ 8 階 >

床面積 (A)	基準開口部面積 (A/30)	有効開口部面積 合計	算定 結果
191.22 m2	6.38 m2	0 m2	普・無
開口部位置	室位置	開口部種別	床からの高さ(m)
			巾(m) X 高さ(m) X 数量
			開口部面積小計(m2)
			備考

< 9 階 >

床面積 (A)	基準開口部面積 (A/30)	有効開口部面積 合計	算定 結果
186.84 m2	6.23 m2	0 m2	普・無
開口部位置	室位置	開口部種別	床からの高さ(m)
			巾(m) X 高さ(m) X 数量
			開口部面積小計(m2)
			備考

指定建築材料の適合規格

防火認定番号

使用部位	材料	JIS番号
杭	鉄筋	JISG3112
	コンクリート	JISA5308
基礎	同上	
壁	同上	
柱	同上	
床	同上	
梁	同上	
屋根	同上	
階段	同上	

名称	不燃	準不燃	名称	不燃	準不燃
せっこうボード	NM-8619 (t=12.5)	QM-9828 (t=9.5)	吹付ロックウール (t=10以上)	NM-8601	
化粧石こうボード (t=9.5)		QM-9824	グラスウール保温板	NM-8605	
不燃硬質石こうボード (t=9.5)	NM-1908		塗料 (EP-VE)	NM-8585	QM-9816
不燃石こう積層板 (t=9.5)	NM-8613		無機質砂壁状吹付材	NM-8571	QM-9811
化粧不燃石こう積層板 (t=9.5)	NM-8613		有機質砂壁状吹付材 (7クリルシン ジョリハット)	NM-8572	QM-9812
岩綿吸音板 (t=9以上)	NM-8599		複合型化粧用仕上材 (吹付タイル)	NM-8573	QM-9813
けい酸カルシウム板 (t=6以上)	NM-8578		繊維壁材	NM-8574	QM-9814
フレキシブルボード (t=3以上)	NM-8576		ビニールクロス	NM-0849	QM-9441
化粧フレキシブルボード (t=4以上)	NM-8577		ダイノックシート	NM-2391	

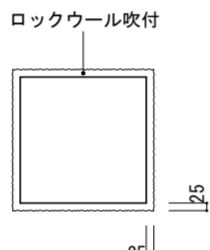
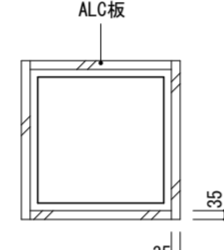
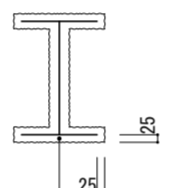
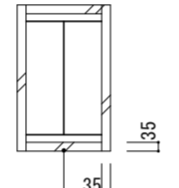
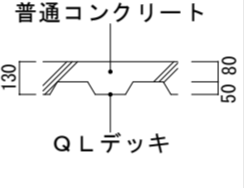
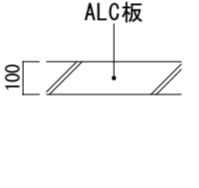

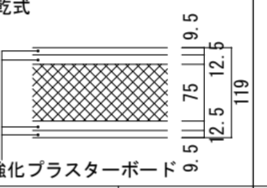
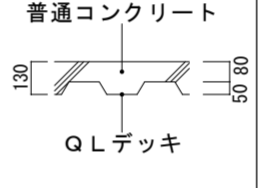
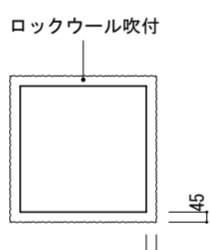
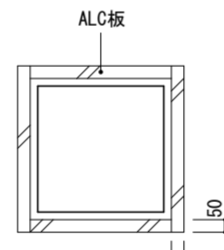
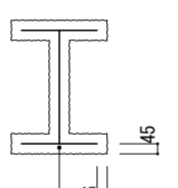
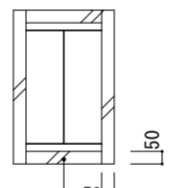
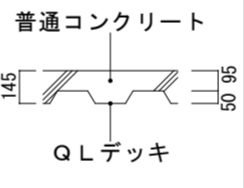
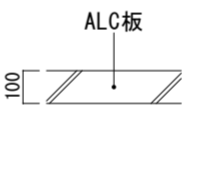

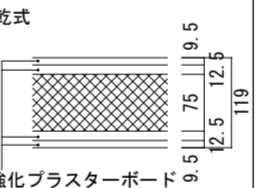
階 段

W : 有効内法巾 T : 踏面 R : 蹴上
・全て手摺付 (出巾10cm以下 H=85cm)

屋外避難階段	1 ~ 2 階			2 ~ 9 階			9 ~ PH階		
	W	900	900	900	900	900	900	900	900
	T	250	250	250	250	250	250	250	250
	R	203.75	203.75	203.75	203.75	203.75	203.75	203.75	203.75

本図の縮尺は、A2-100%、A3-70.7%とする。

耐火被覆リスト

階	柱（鉄骨）		梁（鉄骨）		床	壁		屋根	階段
	ロックウール吹付	ALC板	ロックウール吹付	ALC板		外壁	間仕切壁 (非耐力壁・防火区画壁)		
9 F } 6 F					普通コンクリート QLデッキ 		ALC  乾式  強化プasterボード	普通コンクリート QLデッキ 	鉄骨造
耐火時間	1 時間	1 時間	1 時間	1 時間	1 時間	1 時間	ALC : 1 h 乾式 : 1 h	30分	30分
認定番号	FP060CN-9460	FP060CN-9405	FP060BM-9408	FP060BM-9352	FP060FL-9095		FP060NP-0200 (耐火) S01-0112 (通常)		
5 F } 1 F					普通コンクリート QLデッキ 		ALC  乾式  強化プasterボード		鉄骨造
耐火時間	2 時間	2 時間	2 時間	2 時間	2 時間	1 時間	ALC : 1 h 乾式 : 1 h		30分
認定番号	FP120CN-9463	FP120CN-9406	FP120BM-9411	FP120BM-9353	FP120FL-9107		FP060NP-0200 (耐火) S01-0112 (通常)		

※防火区画となるALC壁の取付金物は耐火被覆を行う

敷地面積	270.39㎡ (81.79坪)
建築面積	205.14㎡ (62.05坪)
延床面積	1,732.67㎡ (524.13坪)
延施工床面積	1,868.54㎡ (565.23坪)
容積対象面積	1,661.37㎡ (502.56坪)
建ぺい率	75.87% < 80 (100) %
容積率	614.44% < 1,000%

タイプ	専有面積		室数
テナントA	54.75㎡	16.56坪	1
テナントB	60.81㎡	18.39坪	1
テナントC	182.96㎡	55.34坪	2
オフィスA	96.09㎡	29.06坪	5
オフィスB	58.69㎡	17.75坪	6
オフィスC	91.71㎡	27.74坪	1
合計			16

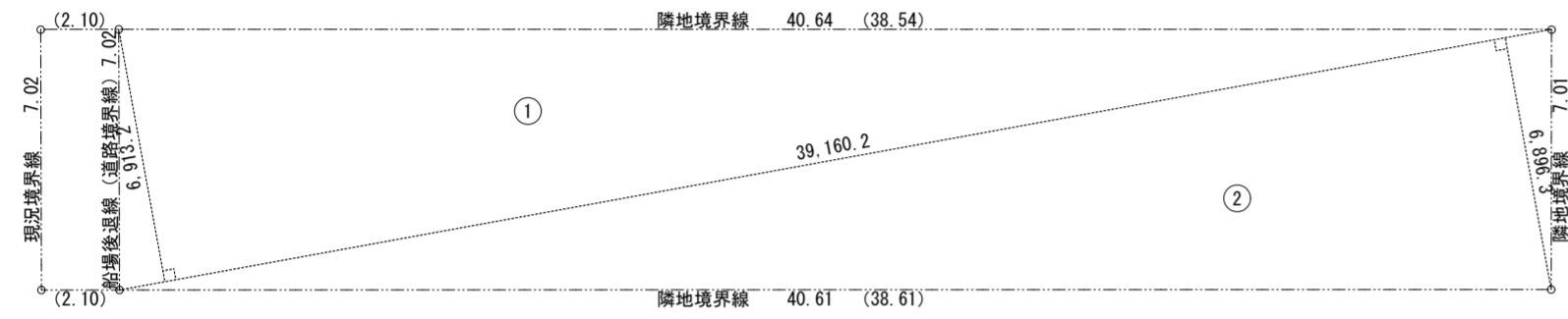
駐車台数		駐輪台数	
昇降3段ピット式	台	平面	17台
平面	台	簡易ラック	14台
合計	0台	スライドラック	台
		原付	2台
バイク台数		合計	33台
合計	0台		

階数	容積対象面積				容積対象外面積						延床面積	施工床面積			延施工床面積	室数	
	オフィス		テナント	合計	共用①	E V	駐車場 バイク置場	駐輪場	合計	共用②		バルコニー					
	オフィス	共用										合計	合計				
PH		6.33		6.33		7.13				7.13	13.46	8.82		8.82	22.28		
9	150.40	29.31		179.71		7.13				7.13	186.84	8.82	9.48	18.30	205.14	2	
8	154.78	29.31		184.09		7.13				7.13	191.22	8.82	5.10	13.92	205.14	2	
7	154.78	29.31		184.09		7.13				7.13	191.22	8.82	5.10	13.92	205.14	2	
6	154.78	29.31		184.09		7.13				7.13	191.22	8.82	5.10	13.92	205.14	2	
5	154.78	29.31		184.09		7.13				7.13	191.22	8.82	5.10	13.92	205.14	2	
4	154.78	29.31		184.09		7.13				7.13	191.22	8.82	5.10	13.92	205.14	2	
3		1.13	182.96	184.09		7.13				7.13	191.22	8.82	5.10	13.92	205.14	1	
2		1.13	182.96	184.09		7.13				7.13	191.22	8.82	5.10	13.92	205.14	1	
1		71.14	115.56	186.70		7.13				7.13	193.83	11.31		11.31	205.14	2	
合 ㎡	924.30	255.59	481.48	0.00	1,661.37	0.00	71.30	0.00	0.00	0.00	71.30	1,732.67	90.69	45.18	135.87	1,868.54 ㎡	16
計 坪	279.60	77.31	145.64	0.00	502.56	0.00	21.56	0.00	0.00	0.00	21.56	524.13	27.43	13.66	41.10	565.23 坪	

■屋上の昇降機室等の階数の算定：205.14㎡×1/8=25.64㎡ >13.69㎡⇒階数として算入せず

本図の縮尺は、A2-100%、A3-70.7%とする。

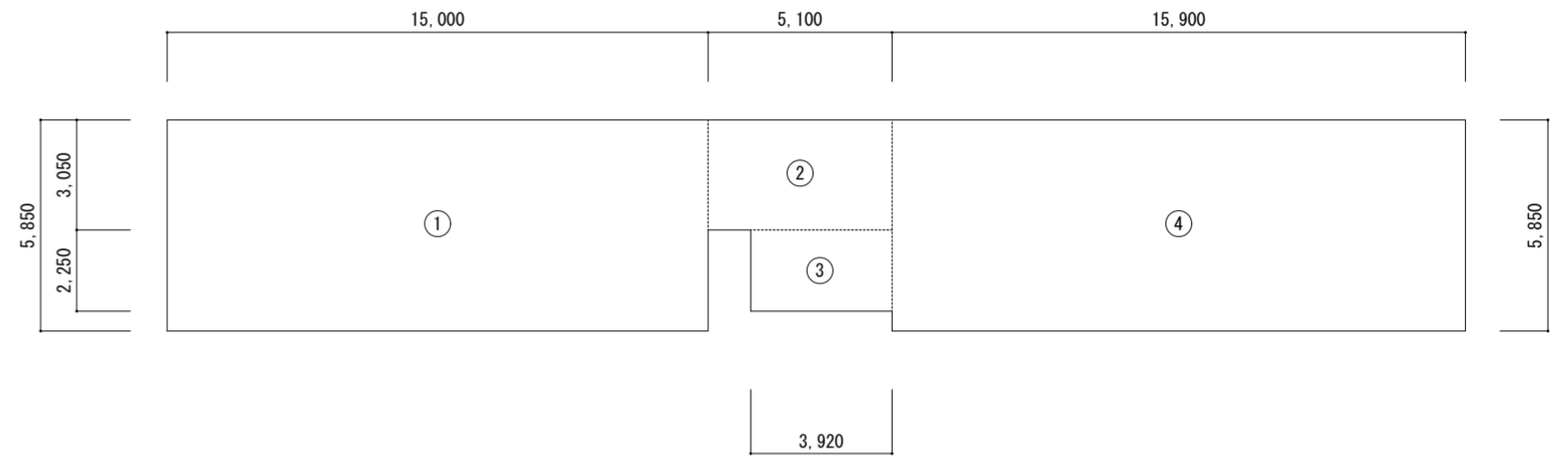
敷地面積 求積図



敷地面積 求積表

①	$39.1602 \times 6.9132 \times 1/2 = 135.361147$
②	$39.1602 \times 6.8963 \times 1/2 = 135.030244$
合計	270.39 m ²

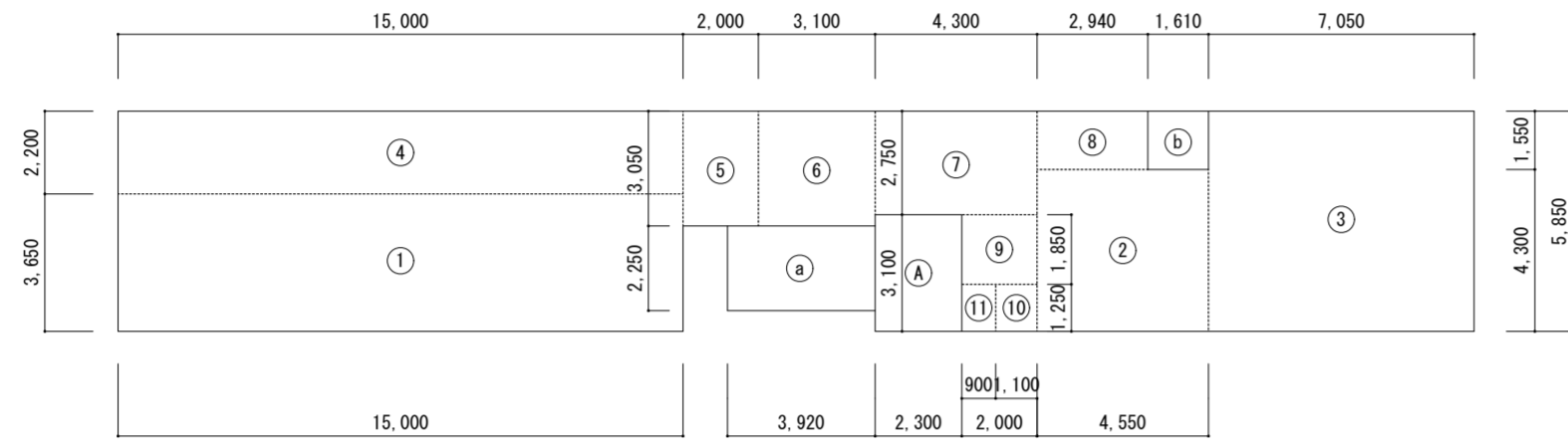
建築面積 求積図



建築面積 計算式

①	$15.000 \times 5.850 = 87.75$
②	$5.100 \times 3.050 = 15.555$
③	$3.920 \times 2.250 = 8.82$
④	$15.900 \times 5.850 = 93.015$
合計	205.14 m ²

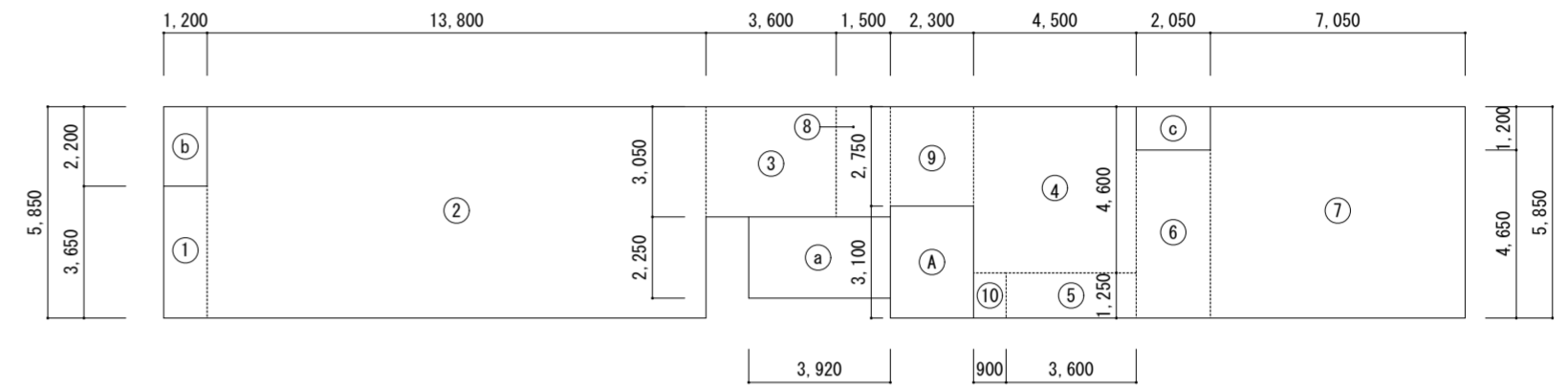
1階面積 求積図



1階面積 計算式

容積対象面積		施工床面積	
①	15,000 × 3,650 = 54,75	テナント : 115.56㎡	屋外階段・バルコニー等
②	4,550 × 4,300 = 19,565		
③	7,050 × 5,850 = 41,2425		
④	15,000 × 2,200 = 33		
⑤	2,000 × 3,050 = 6.1	合計	11.31 ㎡
⑥	3,100 × 3,050 = 9,455		
⑦	4,300 × 2,750 = 11,825		
⑧	2,940 × 1,550 = 4,557		
⑨	2,000 × 1,850 = 3.7		
⑩	1,100 × 1,250 = 1,375		
⑪	0,900 × 1,250 = 1,125		
合計	186.70 ㎡		
容積対象外面積 (E V 部分)			
Ⓐ	2,300 × 3,100 = 7.13		
合計	7.13 ㎡		

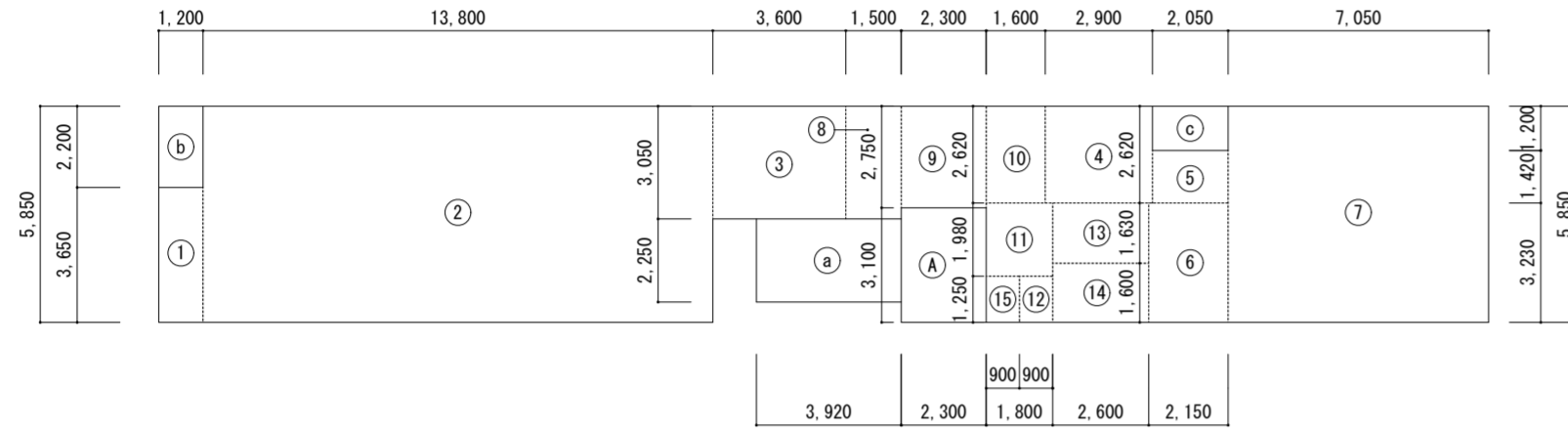
2～3階面積 求積図



2～3階面積 計算式

容積対象面積		施工床面積	
①	1,200 × 3,650 = 4.38	テナント : 182.96㎡	屋外階段・バルコニー等
②	13,800 × 5,850 = 80.73		
③	3,600 × 3,050 = 10.98		
④	4,500 × 4,600 = 20.7		
⑤	3,600 × 1,250 = 4.5	合計	13.92 ㎡
⑥	2,050 × 4,650 = 9,5325		
⑦	7,050 × 5,850 = 41,2425		
⑧	1,500 × 3,050 = 4,575		
⑨	2,300 × 2,750 = 6,325		
⑩	0,900 × 1,250 = 1,125		
合計	184.09 ㎡		
容積対象外面積 (E V 部分)			
Ⓐ	2,300 × 3,100 = 7.13		
合計	7.13 ㎡		

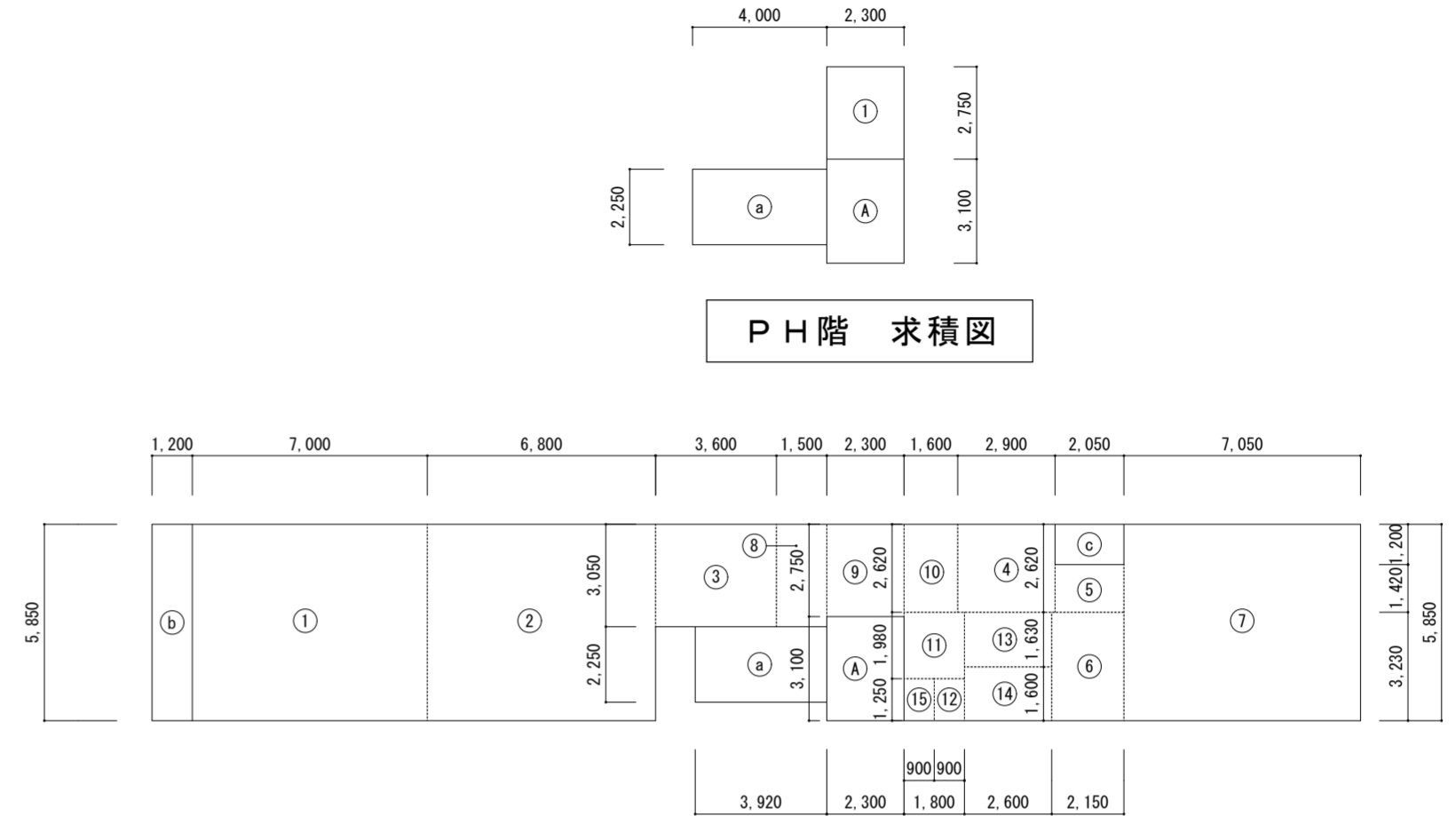
4 ~ 8 階面積 求積図



4 ~ 8 階面積 計算式

容積対象面積		施工床面積	
		屋外階段・バルコニー等	
①	1.200 × 3.650 = 4.38	Ⓐ	3.920 × 2.250 = 8.82
②	13.800 × 5.850 = 80.73	Ⓑ	1.200 × 2.200 = 2.64
③	3.600 × 3.050 = 10.98	Ⓒ	2.050 × 1.200 = 2.46
④	2.900 × 2.620 = 7.598	バルコニー : 5.10㎡	
⑤	2.050 × 1.420 = 2.911	合計 13.92 ㎡	
⑥	2.150 × 3.230 = 6.9445		
⑦	7.050 × 5.850 = 41.2425		
⑧	1.500 × 3.050 = 4.575		
⑨	2.300 × 2.750 = 6.325		
⑩	1.600 × 2.620 = 4.192		
⑪	1.800 × 1.980 = 3.564		
⑫	0.900 × 1.250 = 1.125		
⑬	2.600 × 1.630 = 4.238		
⑭	2.600 × 1.600 = 4.16		
⑮	0.900 × 1.250 = 1.125		
合計	184.09 ㎡		
容積対象外面積 (EV部分)			
Ⓐ	2.300 × 3.100 = 7.13		
合計	7.13 ㎡		

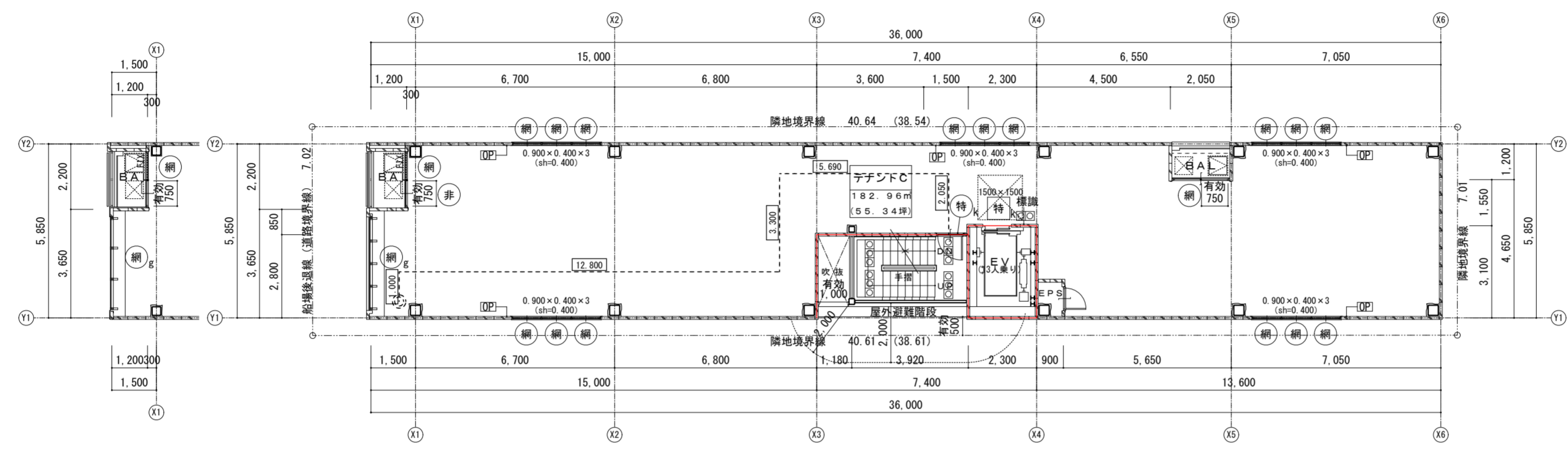
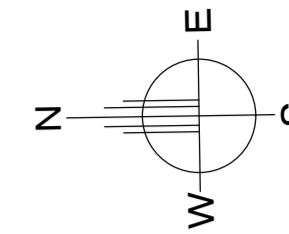
9 階・PH階面積 求積図



9 階面積 計算式

容積対象面積		施工床面積	
		屋外階段・バルコニー等	
①	7.000 × 5.850 = 40.95	Ⓐ	3.920 × 2.250 = 8.82
②	6.800 × 5.850 = 39.78	Ⓑ	1.200 × 5.850 = 7.02
③	3.600 × 3.050 = 10.98	Ⓒ	2.050 × 1.200 = 2.46
④	2.900 × 2.620 = 7.598	バルコニー : 9.48㎡	
⑤	2.050 × 1.420 = 2.911	合計 18.30 ㎡	
⑥	2.150 × 3.230 = 6.9445		
⑦	7.050 × 5.850 = 41.2425		
⑧	1.500 × 3.050 = 4.575		
⑨	2.300 × 2.750 = 6.325		
⑩	1.600 × 2.620 = 4.192		
⑪	1.800 × 1.980 = 3.564		
⑫	0.900 × 1.250 = 1.125		
⑬	2.600 × 1.630 = 4.238		
⑭	2.600 × 1.600 = 4.16		
⑮	0.900 × 1.250 = 1.125		
合計	179.71 ㎡		
容積対象外面積 (EV部分)			
Ⓐ	2.300 × 3.100 = 7.13	Ⓐ	
合計	7.13 ㎡	2.300 × 2.750 = 6.325	
合計	7.13 ㎡	合計 6.33 ㎡	
容積対象外面積 (EV部分)			
Ⓐ	2.300 × 3.100 = 7.13	Ⓐ	
合計	7.13 ㎡	2.300 × 3.100 = 7.13	
合計	7.13 ㎡	合計 7.13 ㎡	
施工床面積			
屋外階段・バルコニー等			
Ⓐ	4.000 × 2.250 = 9		
合計	9.00 ㎡		

PH階面積 計算式



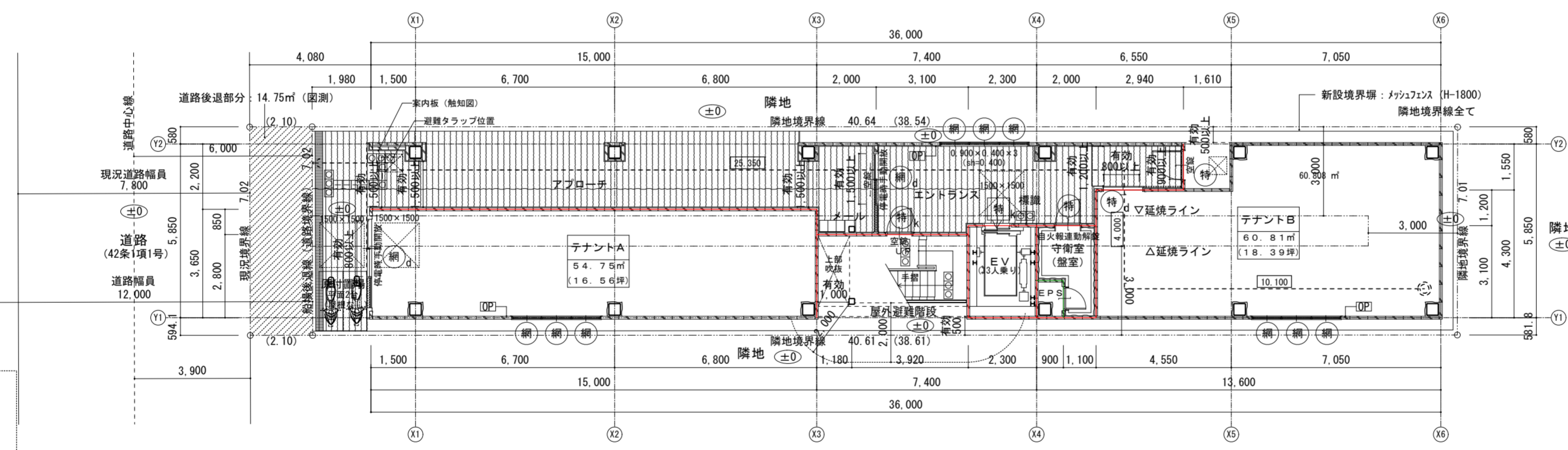
2階 サッシ平面図

2~3階 平面図

※敷地内全て延焼ラインの範囲内

2・3階

テナントC	計算式
A	182.96 2~3階積算より ①~⑧
L	- 非常用照明設置
V	- 機械換気による
S	5.4 0.900×0.400×3×5



配置図兼1階平面図

1階

エントランス	計算式
A	25.84 1階積算より ⑥~⑧
S	1.08 0.900×0.400×3

テナントA	計算式
A	54.75 1階積算より ①
L	- 非常用照明設置
V	- 機械換気による
S	- 告示1436号 第4号ニ(3)

テナントB	計算式
A	60.81 1階積算より ②+③
L	- 非常用照明設置
V	- 機械換気による
S	- 告示1436号 第4号ニ(3)

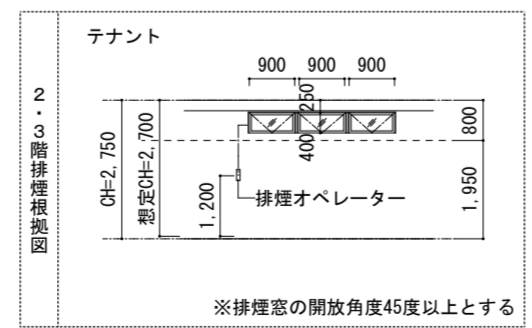
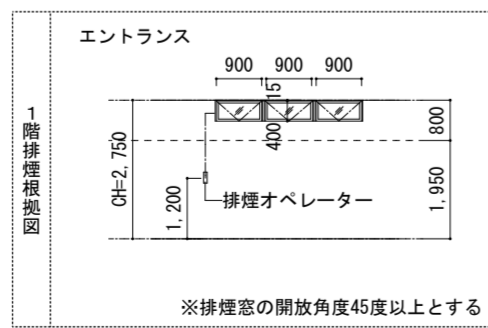
守衛室	計算式
A	5.08 1階積算より ⑨+⑩
S	- 告示1436号 第4号ニ(2)

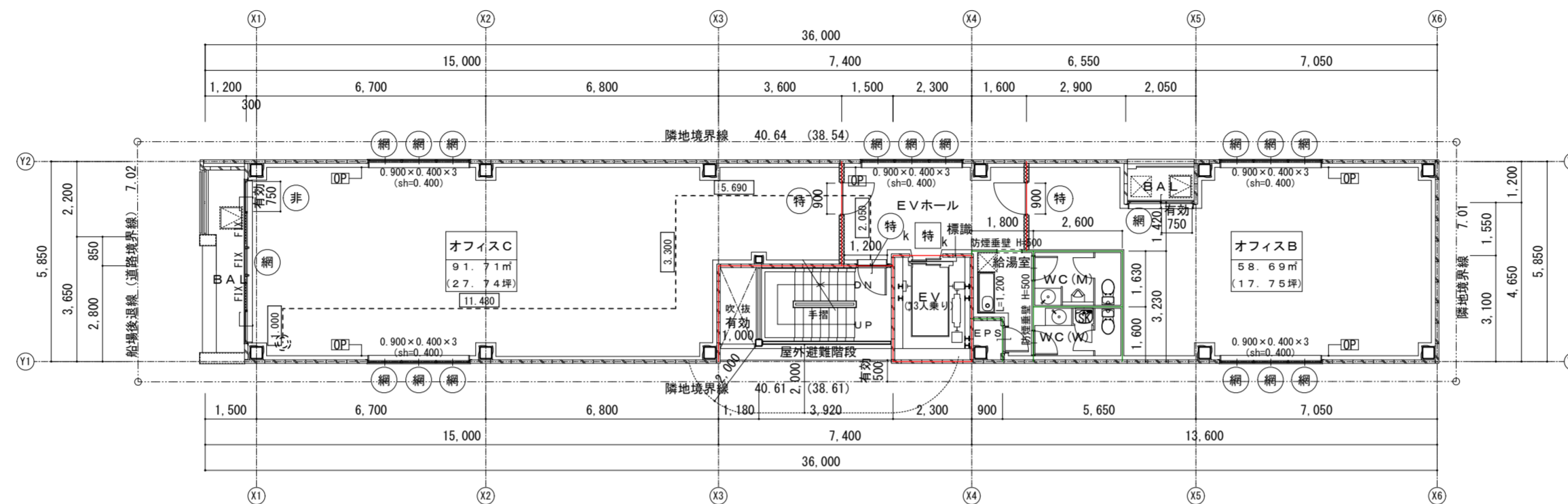
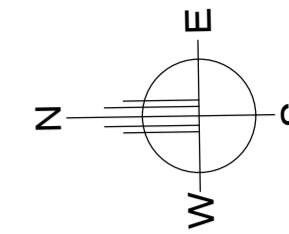
火気使用室なし

歩行距離 (2・3階)
1.000 + 12.800 + 3.300 + 5.690 + 2.050
= 24.84 m < 30m

歩行距離 (1階)
10.100 + 4.000 + 25.350
= 39.45 m < 100m

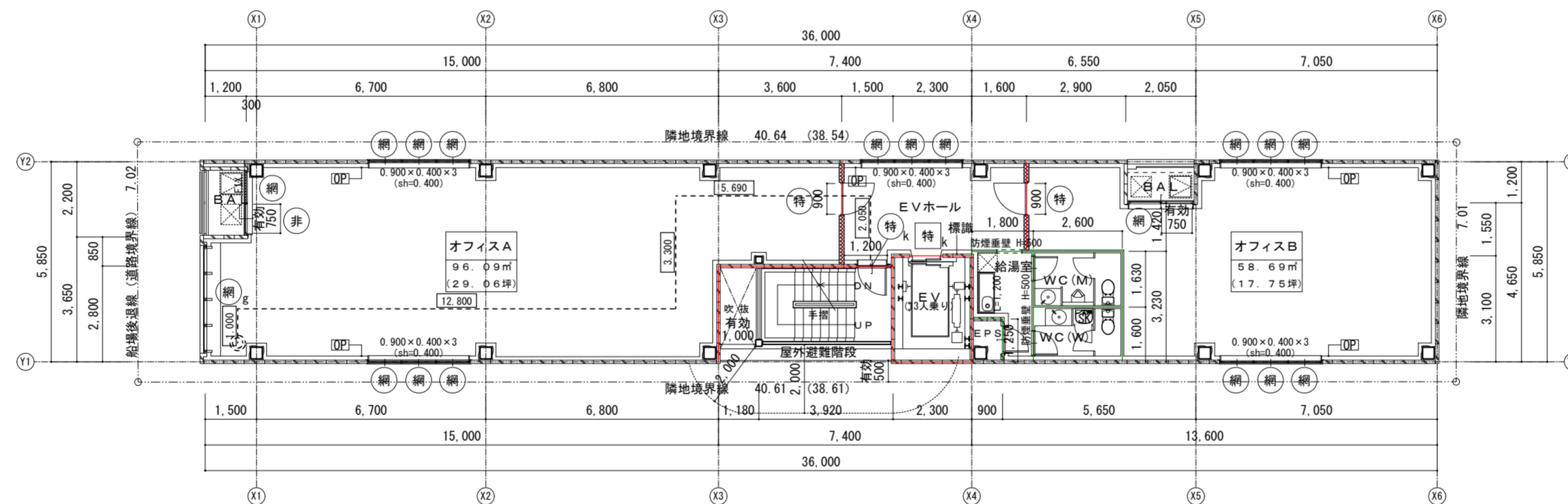
- ※テナントは全て物販店舗とする
- ※ [OP] は排煙オペレータ位置を示す (H=1,200)
- ※守衛室は継続利用なし
- ※避難バルコニーは幅1,800以上、奥行900以上を有効とする
- ※バルコニーの手摺は足掛かりよりH=1,100以上とし、かつ天井高の1/2以下とする
- ※避難上有効なバルコニーへの出入口下端は床面より150mm以下の高さとする
- ※EPSは各階コンクリートスラブにて区画
- ※EPS層は不燃とする
- 防火区画
- 防煙区画
- - - 避難経路
- ← 高齢者等利用経路





9階平面図

※敷地内全て延焼ラインの範囲内



4~8階平面図

※敷地内全て延焼ラインの範囲内

4～9階（共通）

オフィスA		計算式
A	96.09	4～8階積算より ①～③
L	-	非常用照明設置
V	-	機械換気による
S	2.16	0.900×0.400×3×2

オフィスB		計算式
A	58.69	4～8階・9階積算より ④～⑦
L	-	非常用照明設置
V	-	機械換気による
S	2.16	0.900×0.400×3×2

オフィスC		計算式
A	91.71	9階積算より ⑧～⑩
L	-	非常用照明設置
V	-	機械換気による
S	2.16	0.900×0.400×3×2

EVホール		計算式
A	15.09	4～8階・9階積算より ⑪～⑬
S	1.08	0.900×0.400×3

給湯室		計算式
A	4.69	4～8階・9階積算より ⑭～⑯
S	-	告示1436号 第4号ニ(2)

WC (M)		計算式
A	4.24	4～8階・9階積算より ⑰
S	-	告示1436号 第4号ニ(2)

WC (W)		計算式
A	4.16	4～8階・9階積算より ⑱
S	-	告示1436号 第4号ニ(2)

火気使用室なし

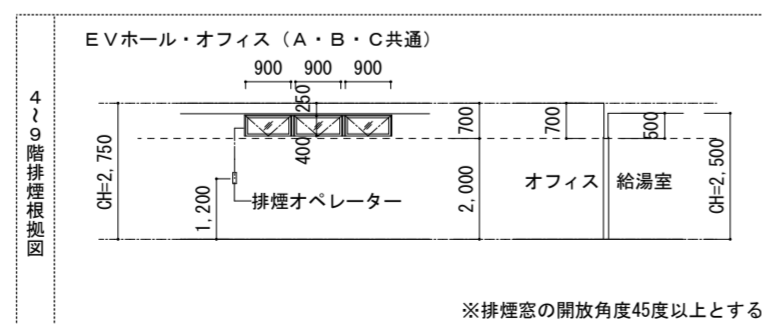
歩行距離 (9階)
1.000 + 11.480 + 3.300 + 5.690 + 2.050
= 23.52 m < 30m

歩行距離 (4～8階)
1.000 + 12.800 + 3.300 + 5.690 + 2.050
= 24.84 m < 30m

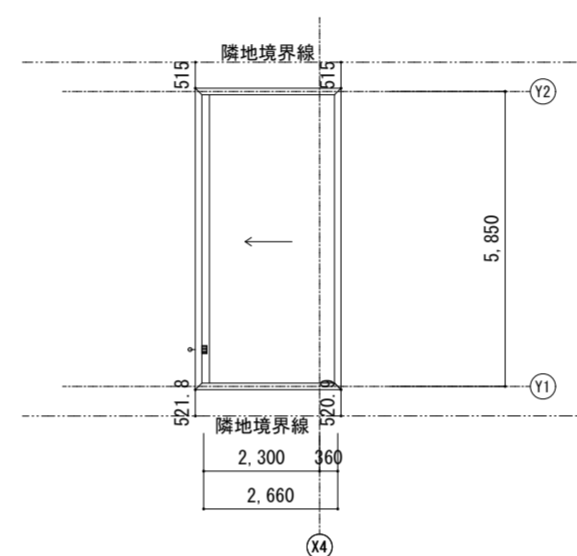
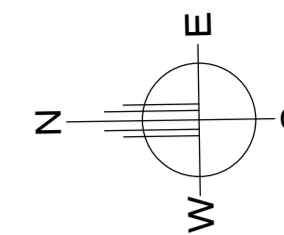
※ [OP] は排煙オペレータ位置を示す (H=1.200)

- ※避難バルコニーは幅1,800以上、奥行900以上を有効とする
- ※バルコニーの手摺は足掛かりよりH=1,100以上とし、かつ天井高の1/2以下とする
- ※避難上有効なバルコニーへの出入口下端は床面より150mm以下の高さとする
- ※EPSは各階コンクリートスラブにて区画
- ※EPS層は不燃とする

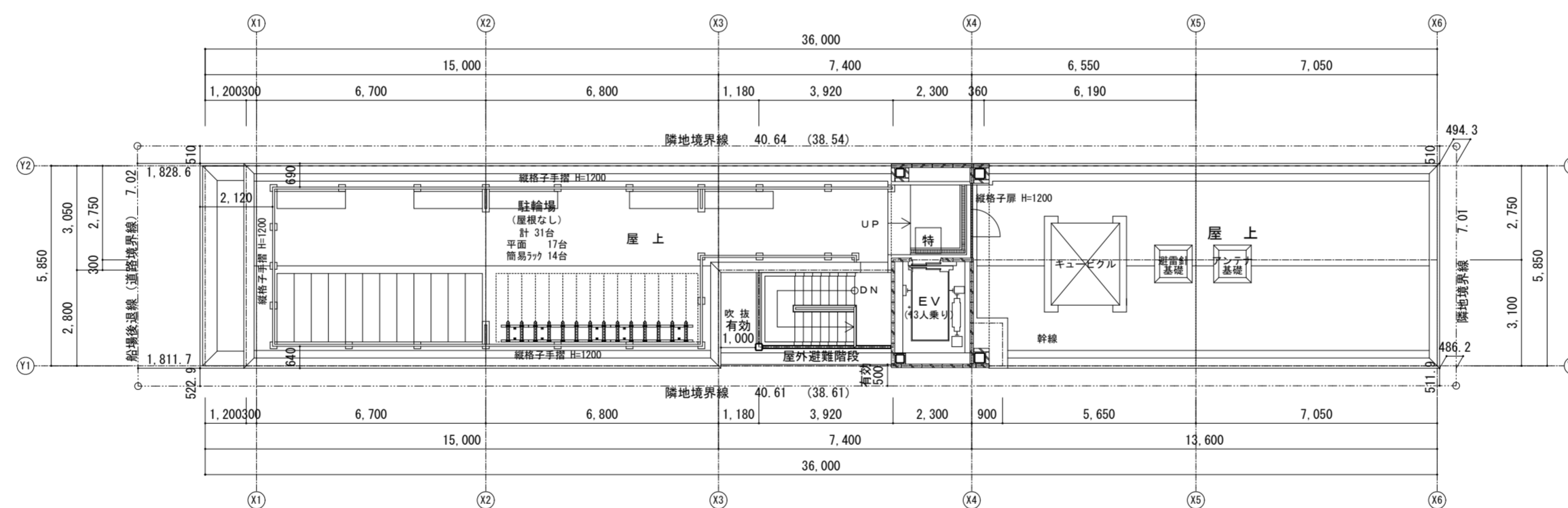
- 防火区画
- 防煙区画
- - - - 避難経路
- ← 高齢者等利用経路



※排煙窓の開放角度45度以上とする



PH屋根伏図



PH階平面図

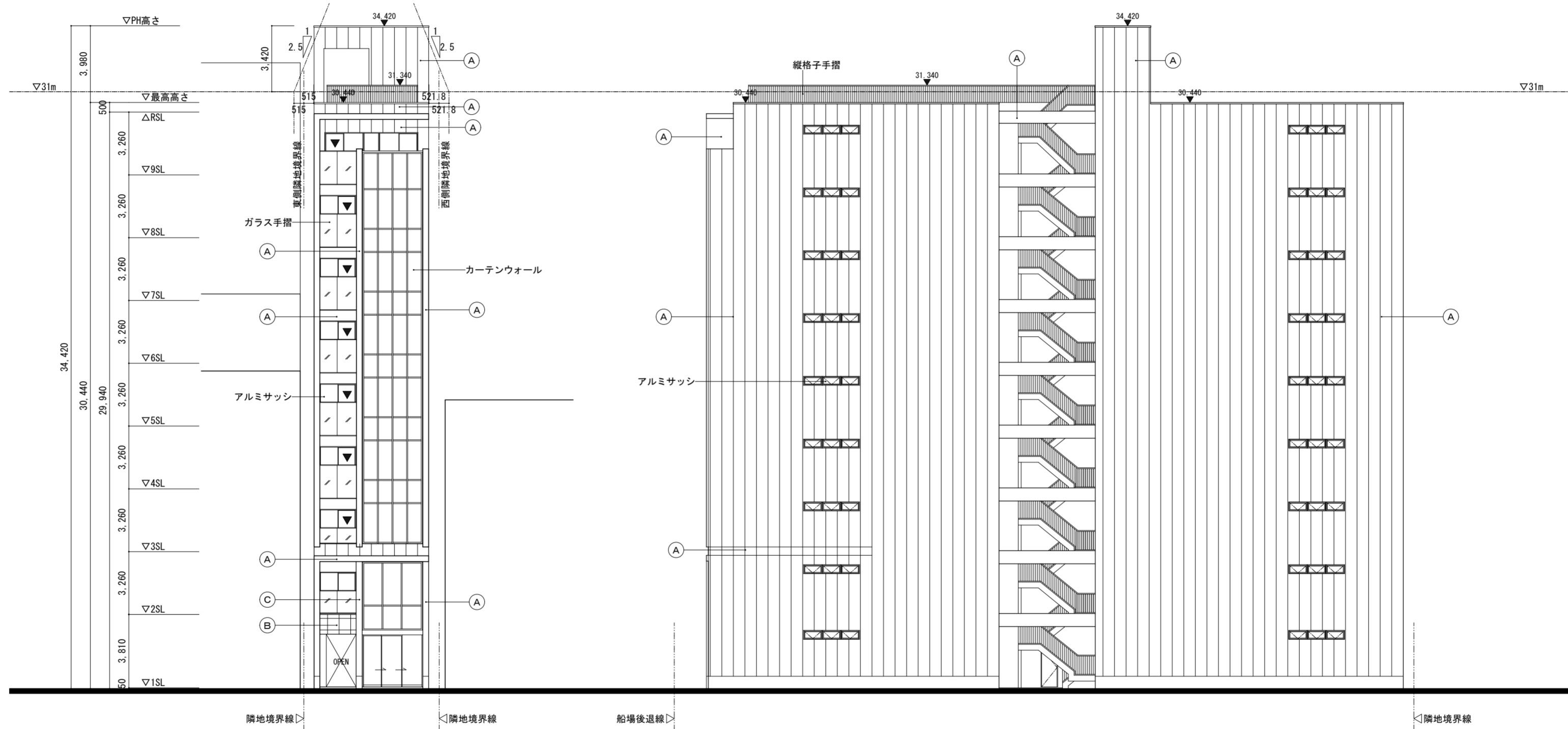
※敷地内全て延焼ラインの範囲内

■ F.A.O ■ 福嶋洋一建築研究所	作成年月日 2024.4.3	工事名称 (仮称)南本町3丁目 計画	NO. A-016
	FAO 一級建築士登録第120638号 福嶋洋一	図面名称 PH階 平面図	縮尺 1:150

本図の縮尺は、A2-100%、A3-70.7%とする。

南側隣地斜線の検討
 斜線高さ : $31 + (0.515 + 0.515) \times 2.5 = 33.575$
 PH部分高さ : 34.420
 結果 : $31.900m < 34.26m$ OK

$31 + (0.515 + 0.515) \times 2.5 = 33.575$

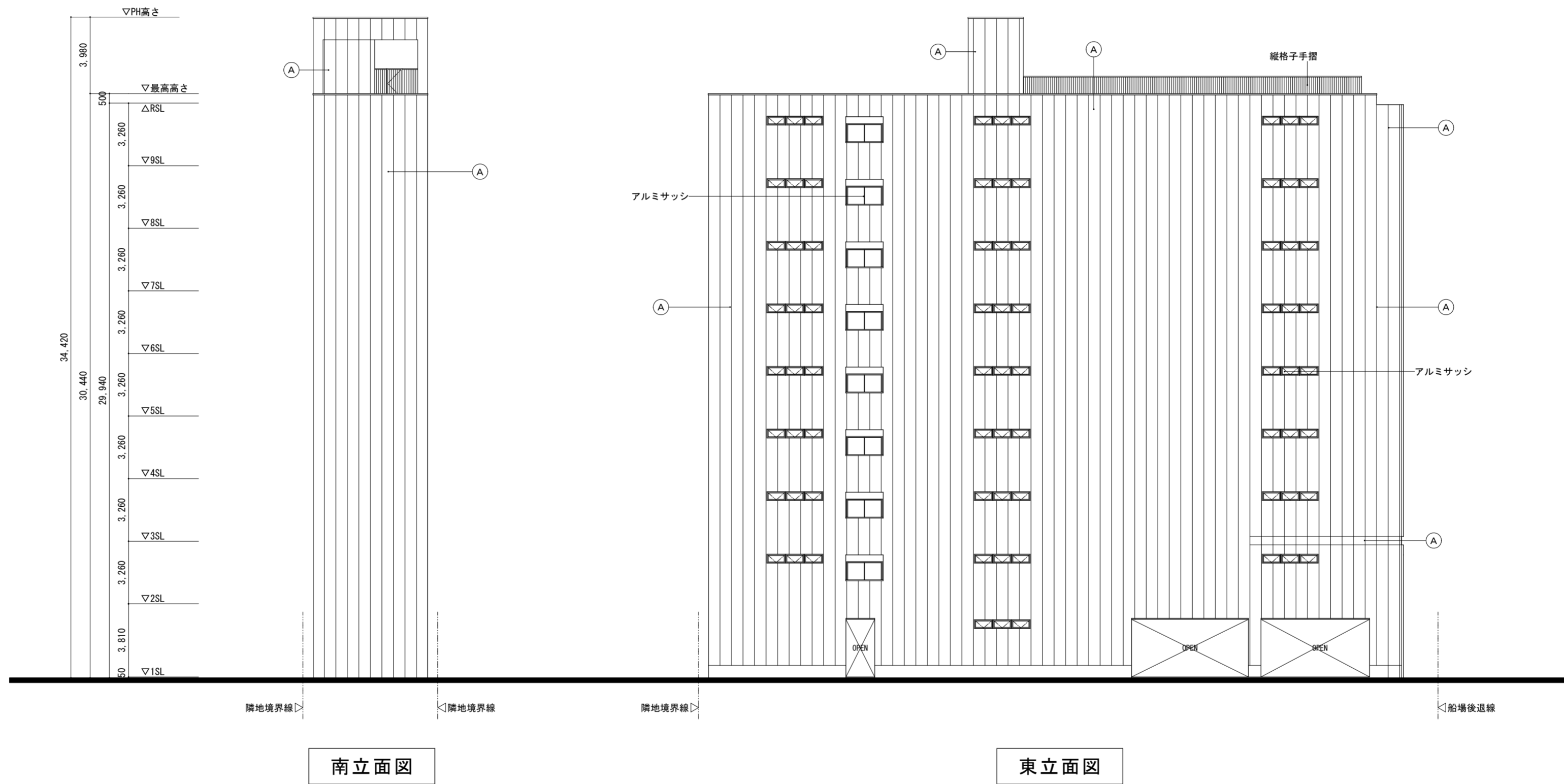


北立面図

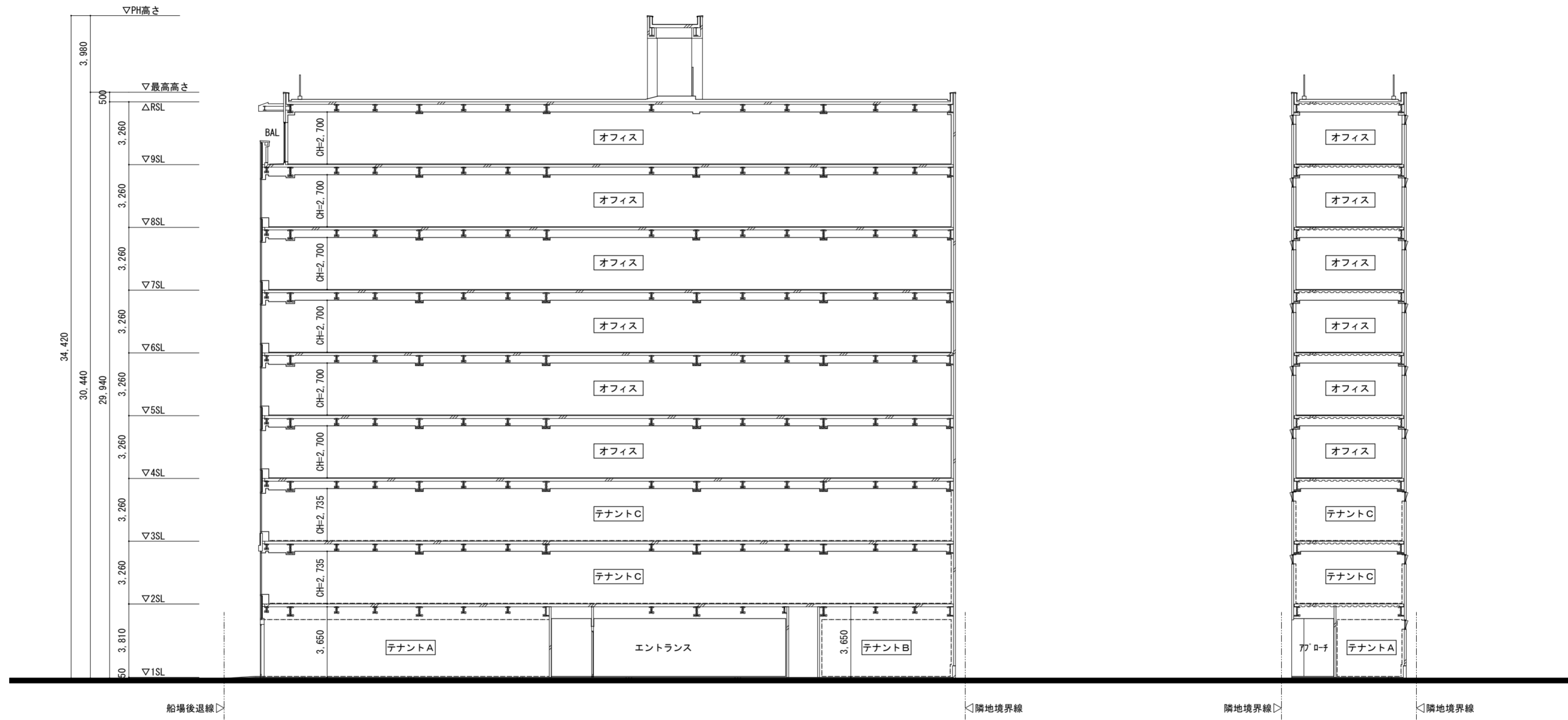
西立面図

(A)	吹付タイル
(B)	セラミックタイル
(C)	ダイノックシート

本図の縮尺は、A2-100%、A3-70.7%とする。

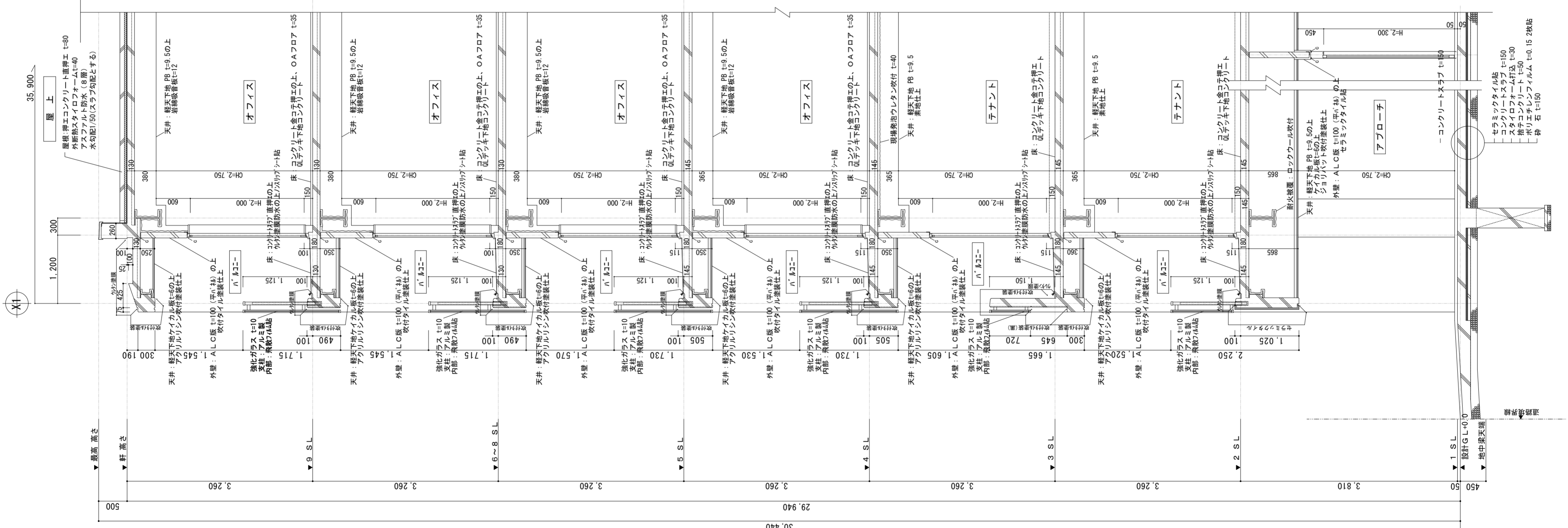
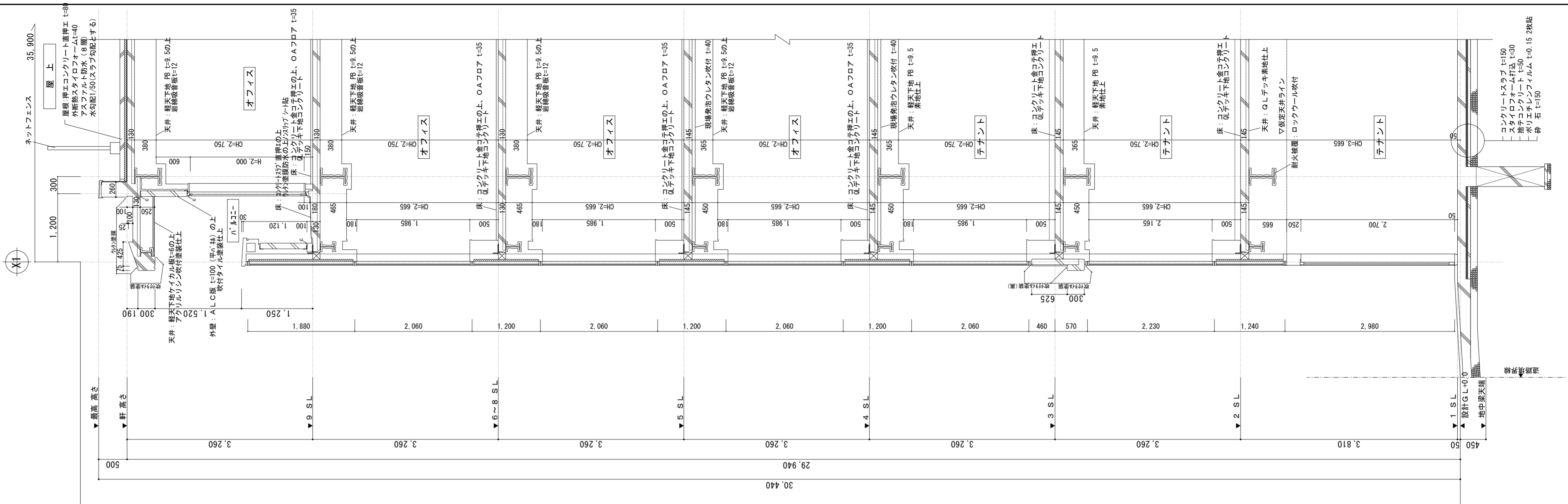


(A)	吹付タイル
(B)	セラミックタイル
(C)	ダイノックシート



■ F.A.O ■ 福嶋洋一建築研究所	作成年月日 2024.4.3	工事名称 (仮称)南本町3丁目 計画	NO. A-019
	一級建築士登録第120638号 福嶋洋一	図面名称 断面図	縮尺 1:200

本図の縮尺は、A2-100%、A3-70.7%とする。

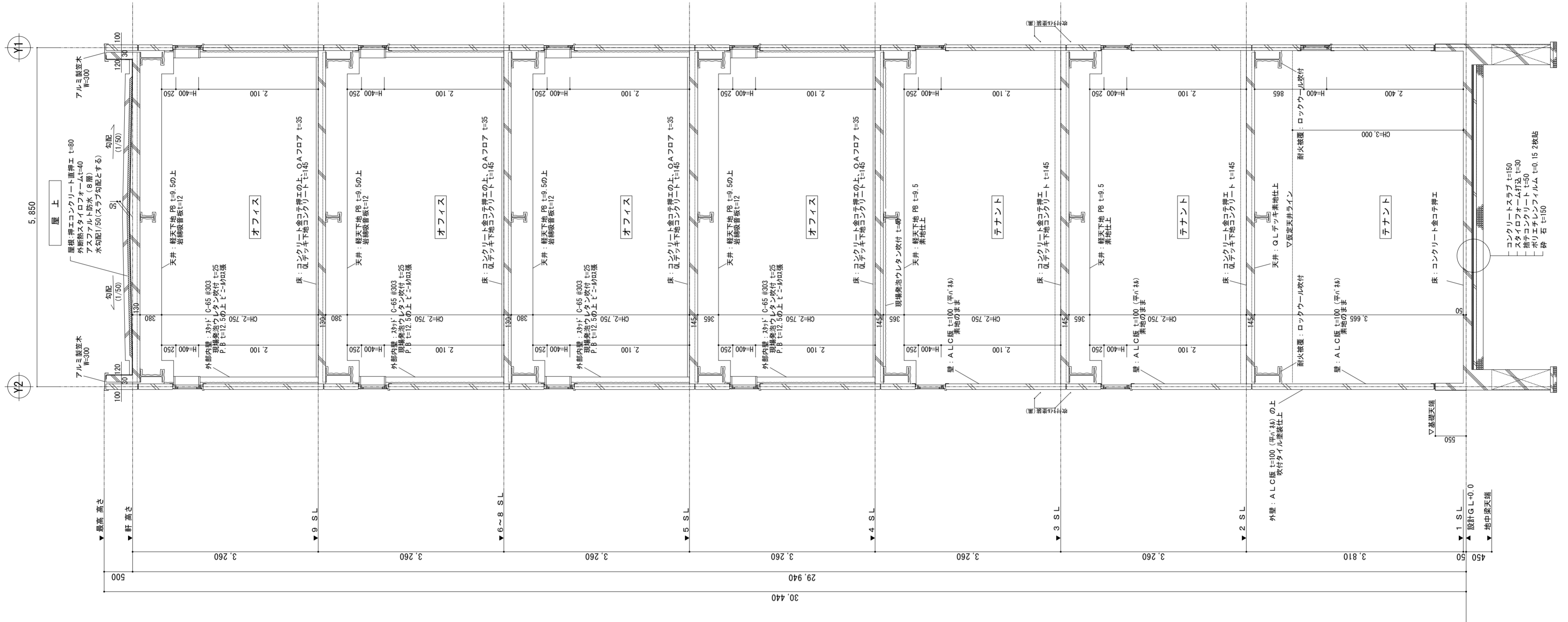


福嶋洋一建築研究所
F. A. O.

作成年月日 2024. 4. 3
FAO 一級建築士登録第120638号
福嶋洋一

工事名称 (仮称) 南本町3丁目 計画
図面名称 矩計図 (1)
縮尺 1 : 50
No. A-100

本図の縮尺は、A2-100%、A3-70.7%とする。



- コンクリートスラブ t=150
- スタイロフォーム打込 t=30
- 鉄骨コンクリート t=50
- ホリエチレンフィルム t=0.15 2枚貼
- 砕石 t=150

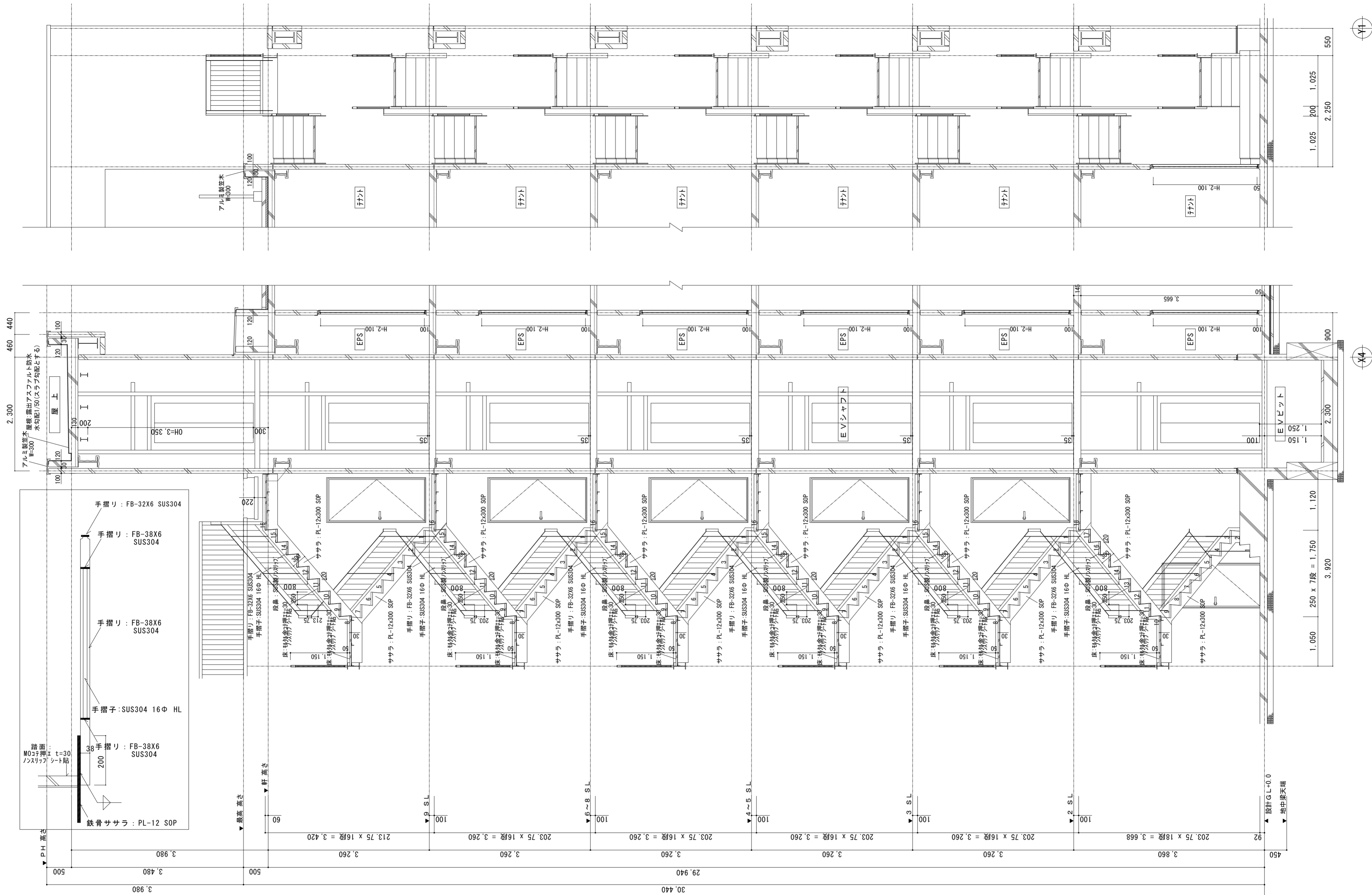
福嶋洋一建築研究所

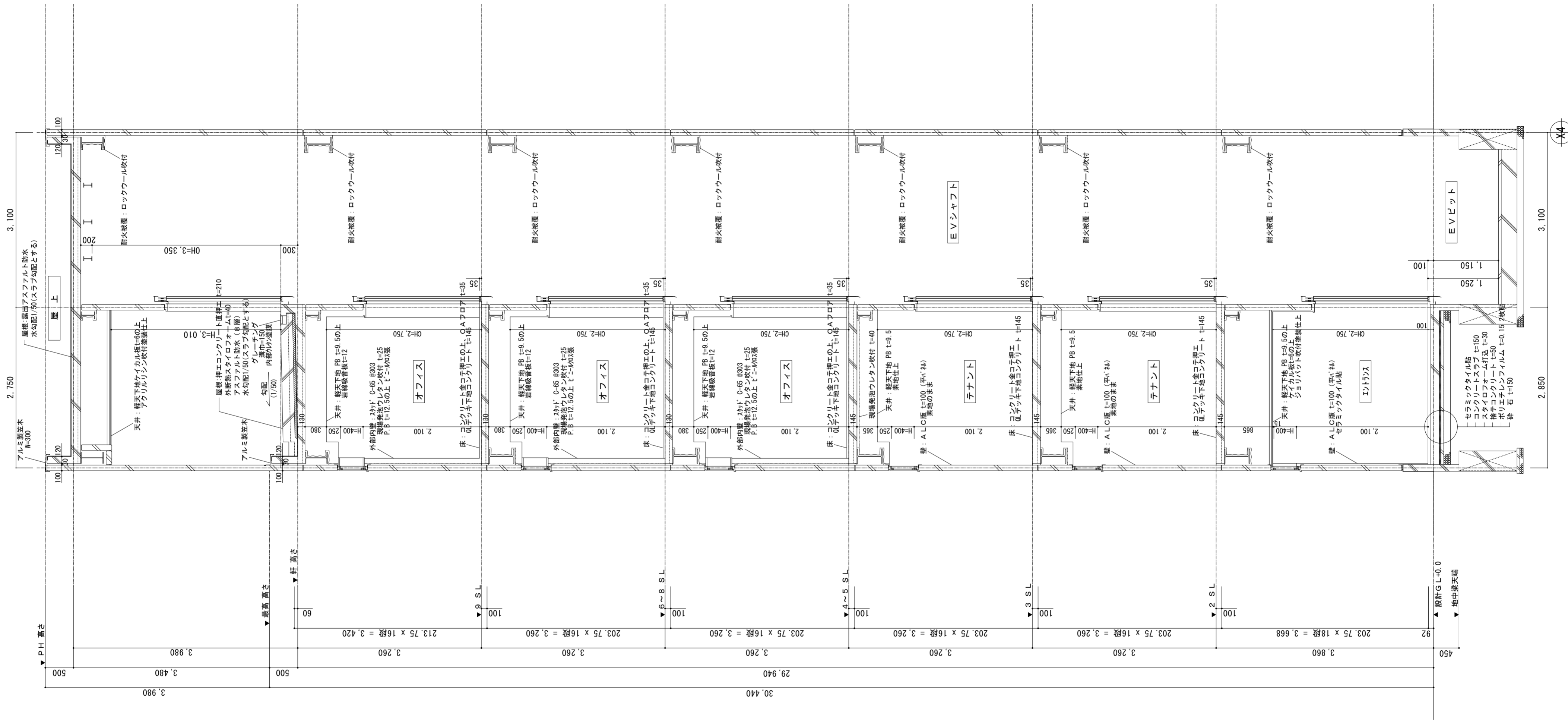
作成年月日 2024.4.3
 一級建築士登録第1201333号
 福嶋洋一

工事名称 (仮称) 南本町3丁目 計画
 図面名称 矩計図(2)
 縮尺 1:50

NO. A-101

本図の縮尺は、A2-100%、A3-70.7%とする。





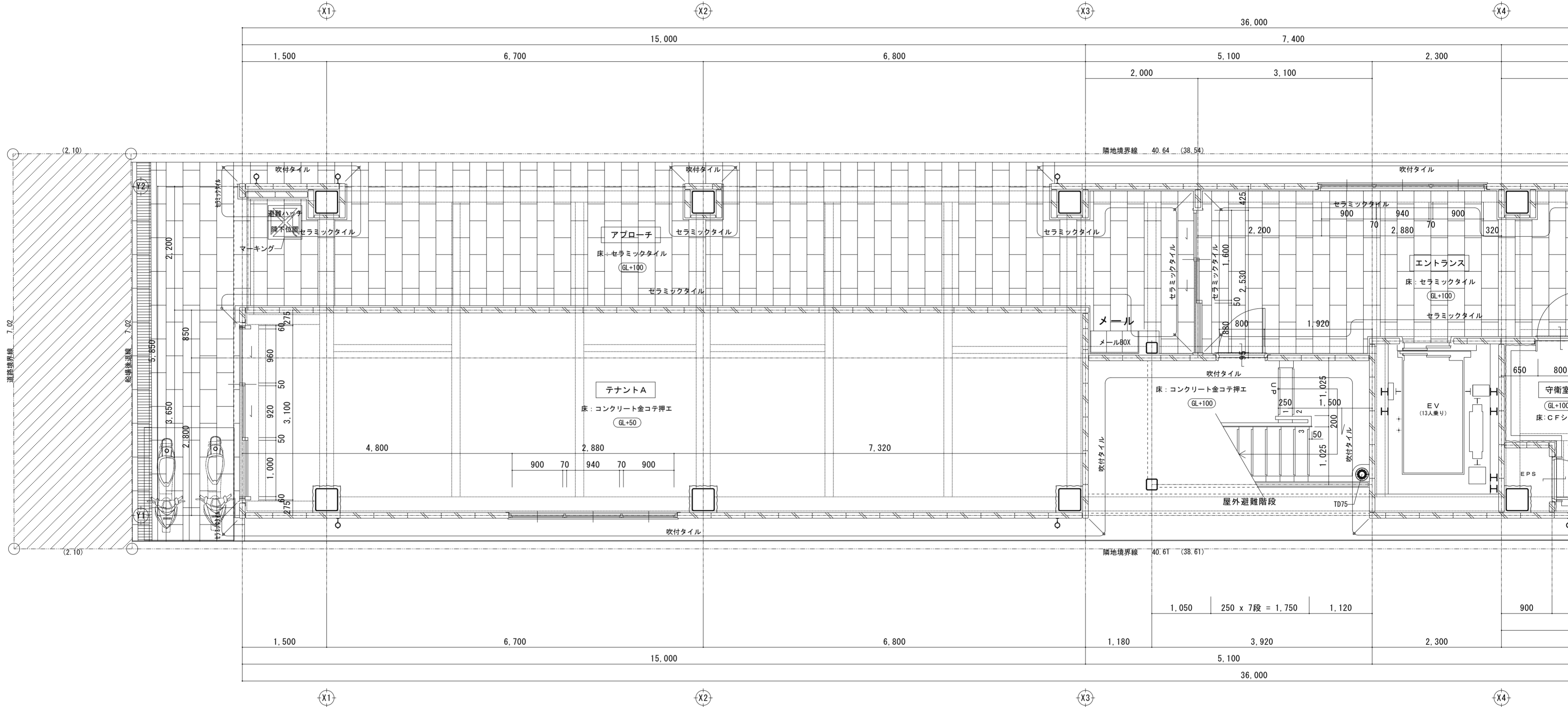
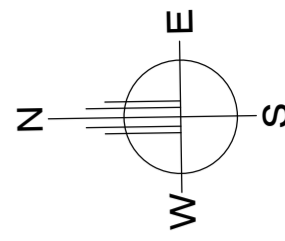
■ F.A.O ■
 福嶋洋一建築研究所

作成年月日 2024.4.3
 一級建築士登録第120638号
 福嶋洋一

工事名称 (仮称) 南本町3丁目 計画
 図面名称 EV矩計図
 縮尺 1:50

NO. A-103

本図の縮尺は、A2-100%、A3-70.7%とする。

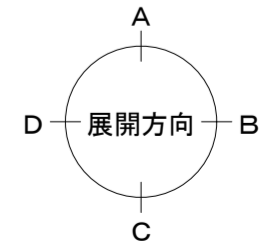


1階 平面詳細図 1:50

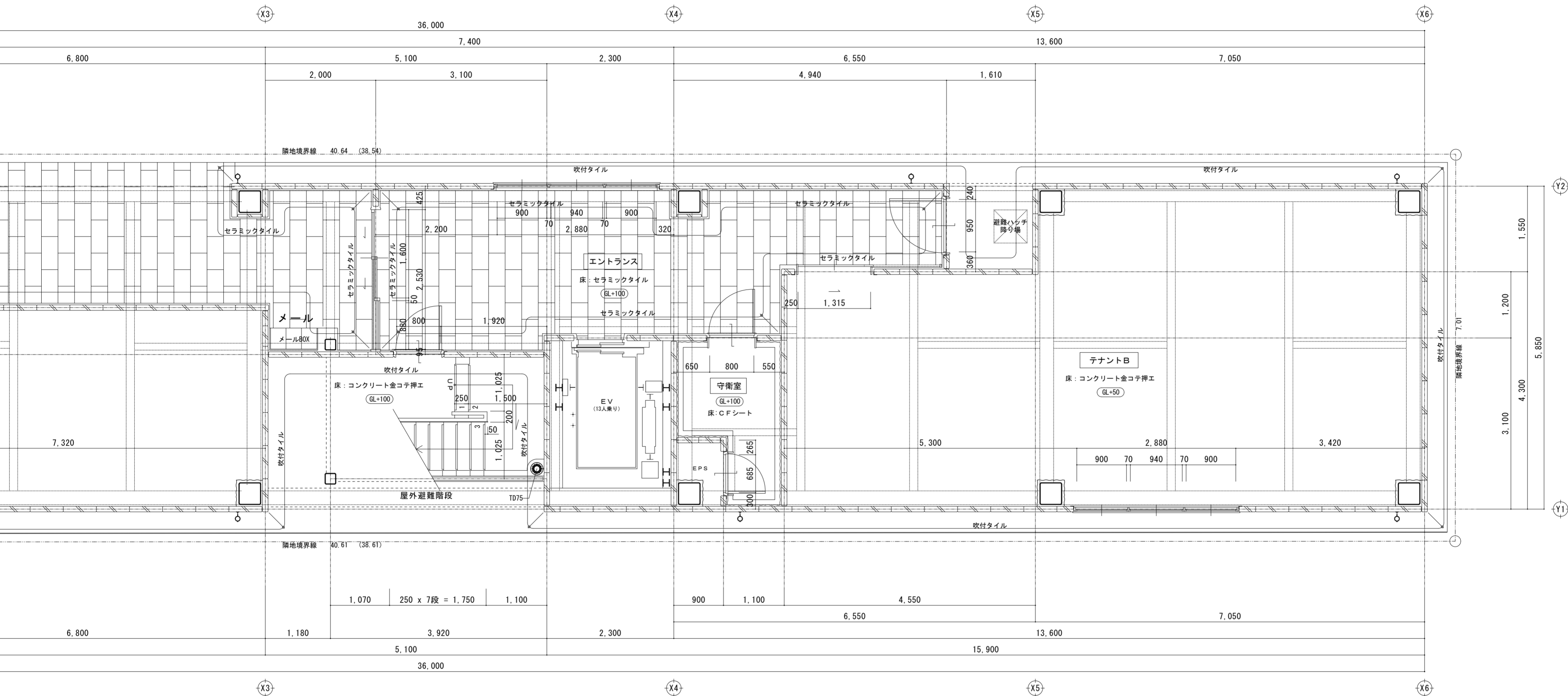
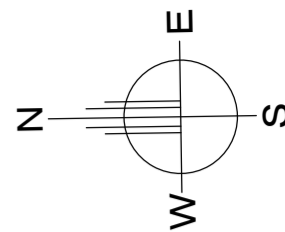
- 凡例
- TD75: 中継ドレン75φ用(鋳物製)水ハネ防止
 - YD75: 横引ドレン75φ用(鋳物製)
 - RD75: たて型ドレン75φ用(鋳物製)
 - MO: モルタル CON: コンクリート
 - 下がりスラブ (SL-200)
 - 耐火間仕切壁
 - カーテンレールW

特記事項

外壁タイルは、45ニ丁掛タイルとする
塗膜防水はウレタン系(X-2仕様)とする

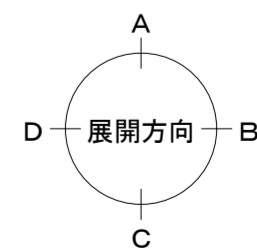


本図の縮尺は、A2-100%、A3-70.7%とする。

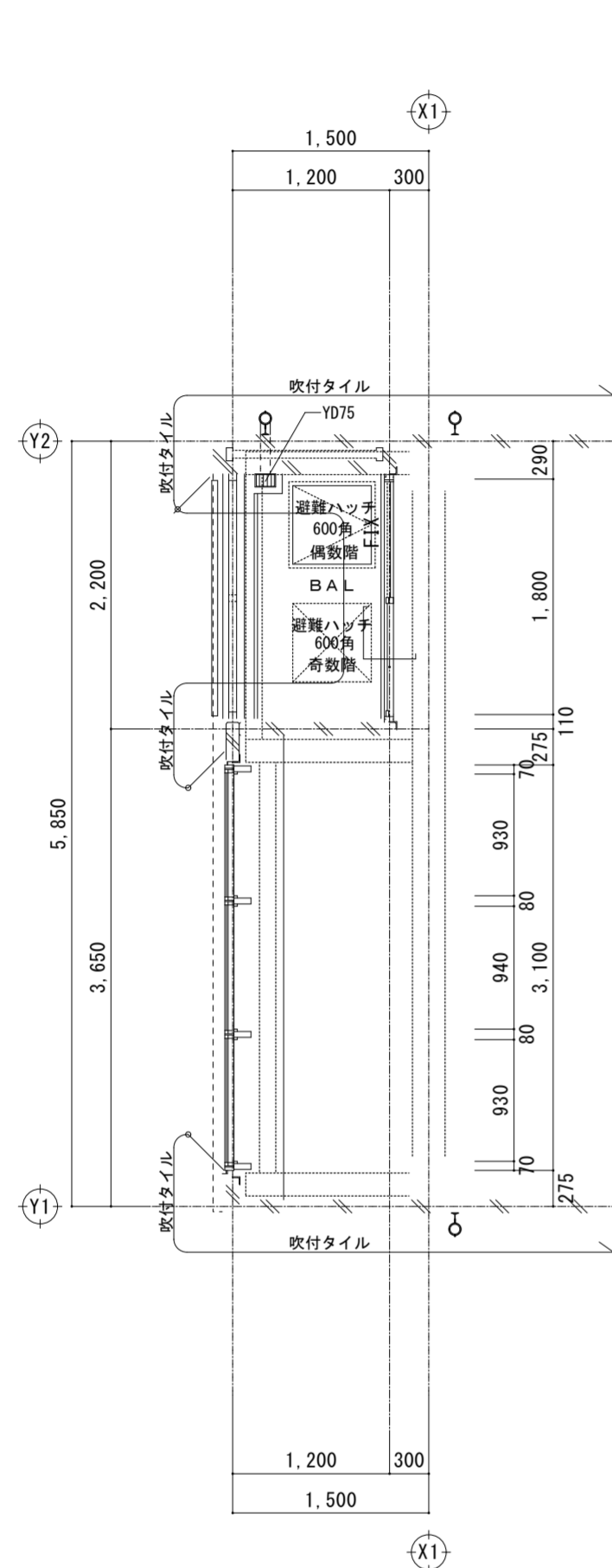
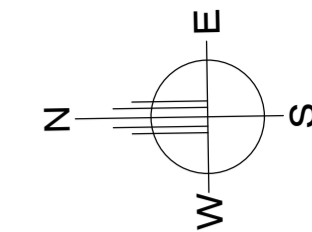


- 凡例
- TD75: 中継ドレン75φ用(鋳物製)水ハネ防止
 - YD75: 横引ドレン75φ用(鋳物製)
 - RD75: たて型ドレン75φ用(鋳物製)
 - MO: モルタル CON: コンクリート
 - 下がりスラブ (SL-200)
 - 耐火間仕切壁
 - カーテンレールW

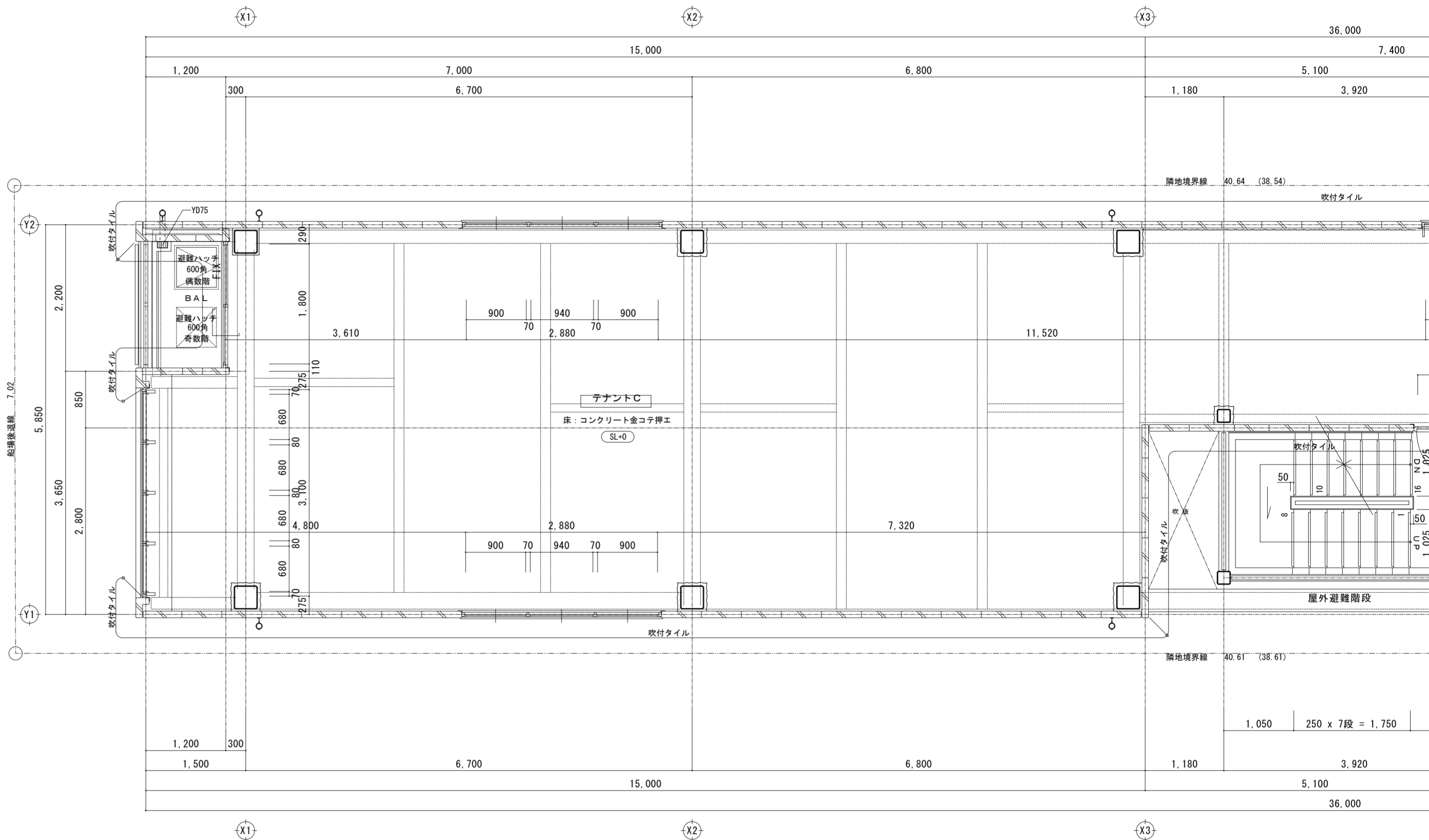
- 特記事項
- 外壁タイルは、45ニ丁掛タイルとする
 - 塗膜防水はウレタン系(X-2仕様)とする



本図の縮尺は、A2-100%、A3-70.7%とする。



2階 平面詳細図 1:50

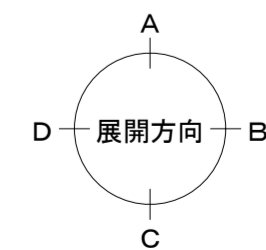


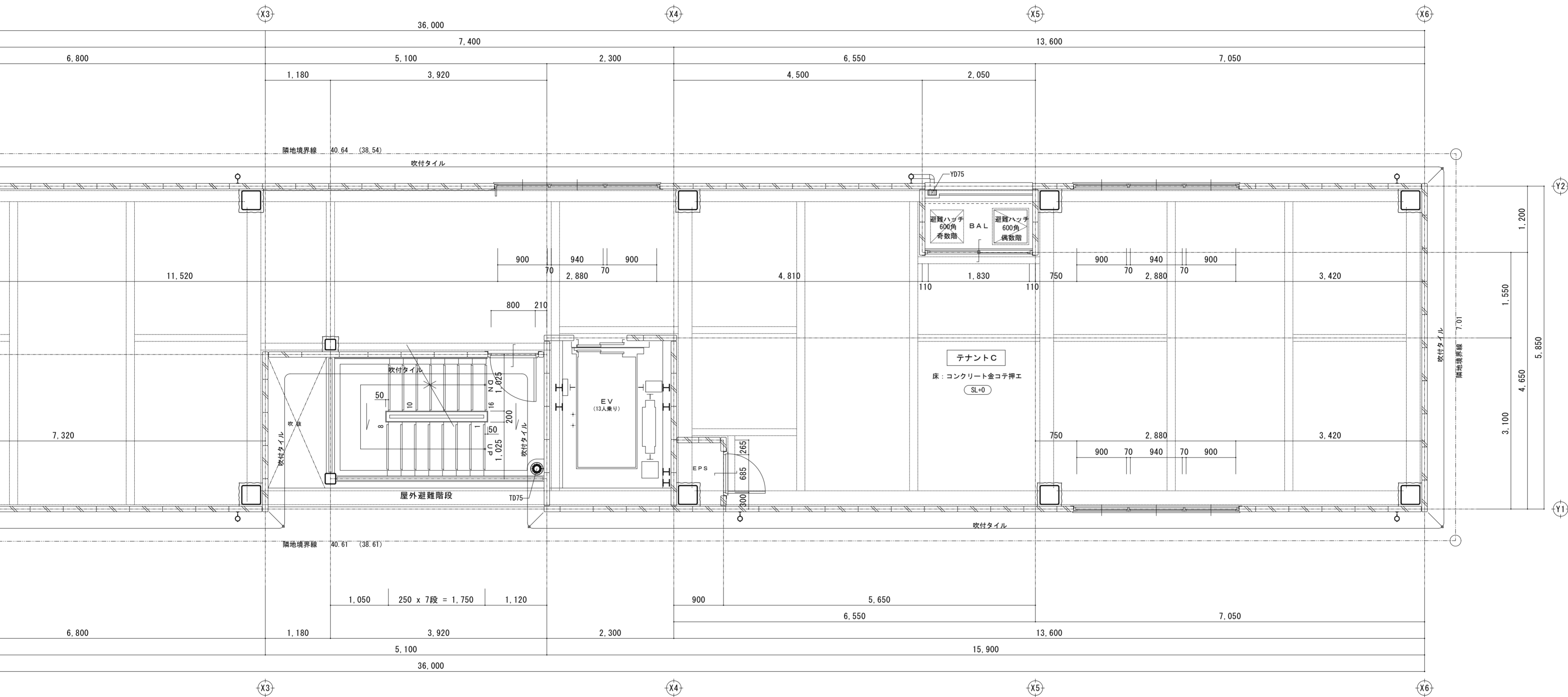
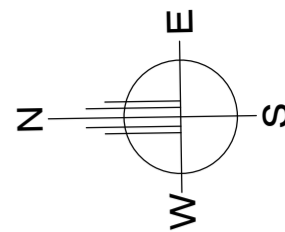
2~3階 平面詳細図 1:50

- 凡例
- TD75: 中継ドレン75φ用(鋳物製)水ハネ防止
 - YD75: 横引ドレン75φ用(鋳物製)
 - RD75: たて型ドレン75φ用(鋳物製)
 - MO:モルタル CON:コンクリート
 - 下がりスラブ (SL-200)
 - 耐火間仕切壁
 - カーテンレールW

特記事項

外壁タイルは、45ニ丁掛タイルとする
塗膜防水はウレタン系(X-2仕様)とする



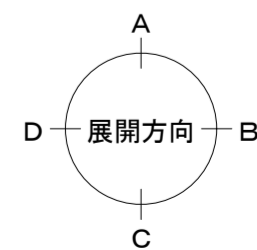


2~3階 平面詳細図 1:50

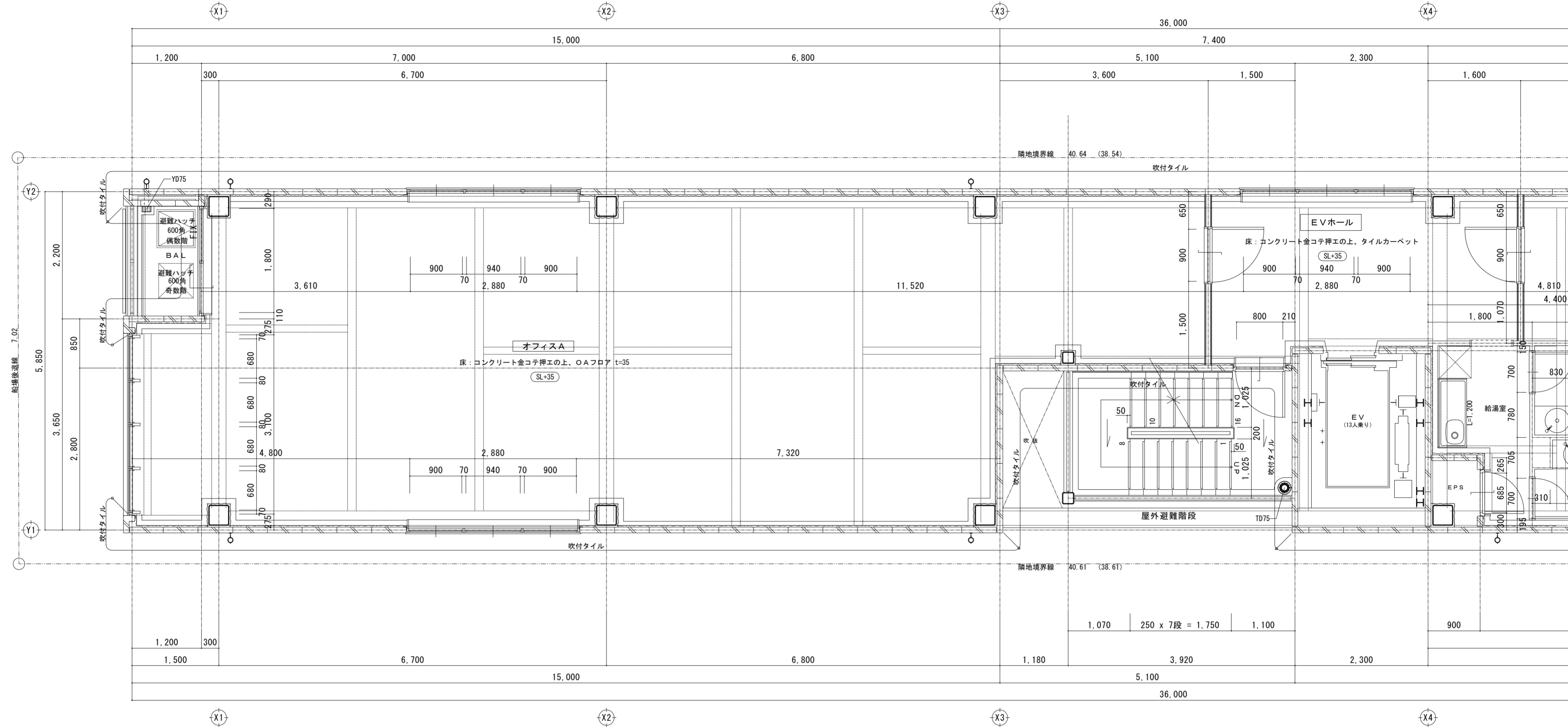
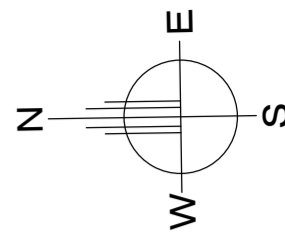
- 凡例
- TD75: 中継ドレン75φ用(鋳物製)水ハネ防止
 - YD75: 横引ドレン75φ用(鋳物製)
 - RD75: たて型ドレン75φ用(鋳物製)
 - MO:モルタル CON:コンクリート
 - 下がりスラブ (SL-200)
 - 耐火間仕切壁
 - カーテンレールW
 - CR

特記事項

外壁タイルは、45ニ丁掛タイルとする
塗膜防水はウレタン系(X-2仕様)とする



本図の縮尺は、A2-100%、A3-70.7%とする。

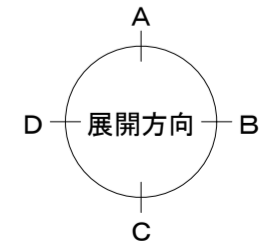


4～8階 平面詳細図 1:50

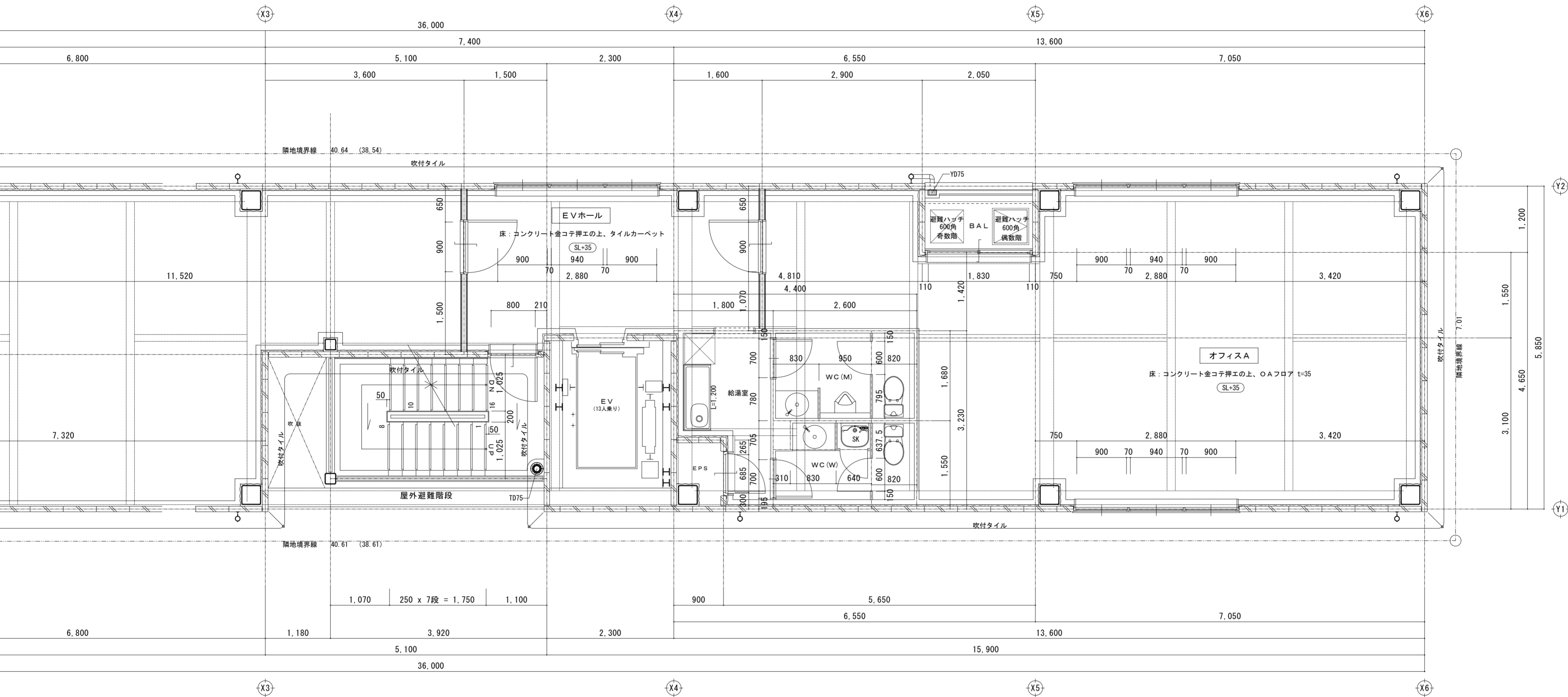
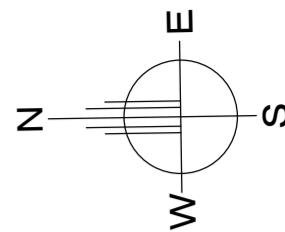
- 凡例
- TD75: 中継ドレン75φ用(鋳物製)水ハネ防止
 - YD75: 横引ドレン75φ用(鋳物製)
 - RD75: たて型ドレン75φ用(鋳物製)
 - MO: モルタル CON: コンクリート
 - 下がりスラブ (SL-200)
 - 耐火間仕切壁
 - カーテンレールW

特記事項

外壁タイルは、45ニ丁掛タイルとする
塗膜防水はウレタン系(X-2仕様)とする



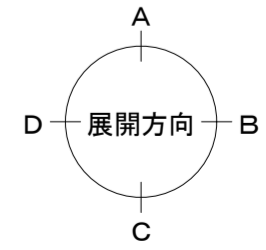
本図の縮尺は、A2-100%、A3-70.7%とする。



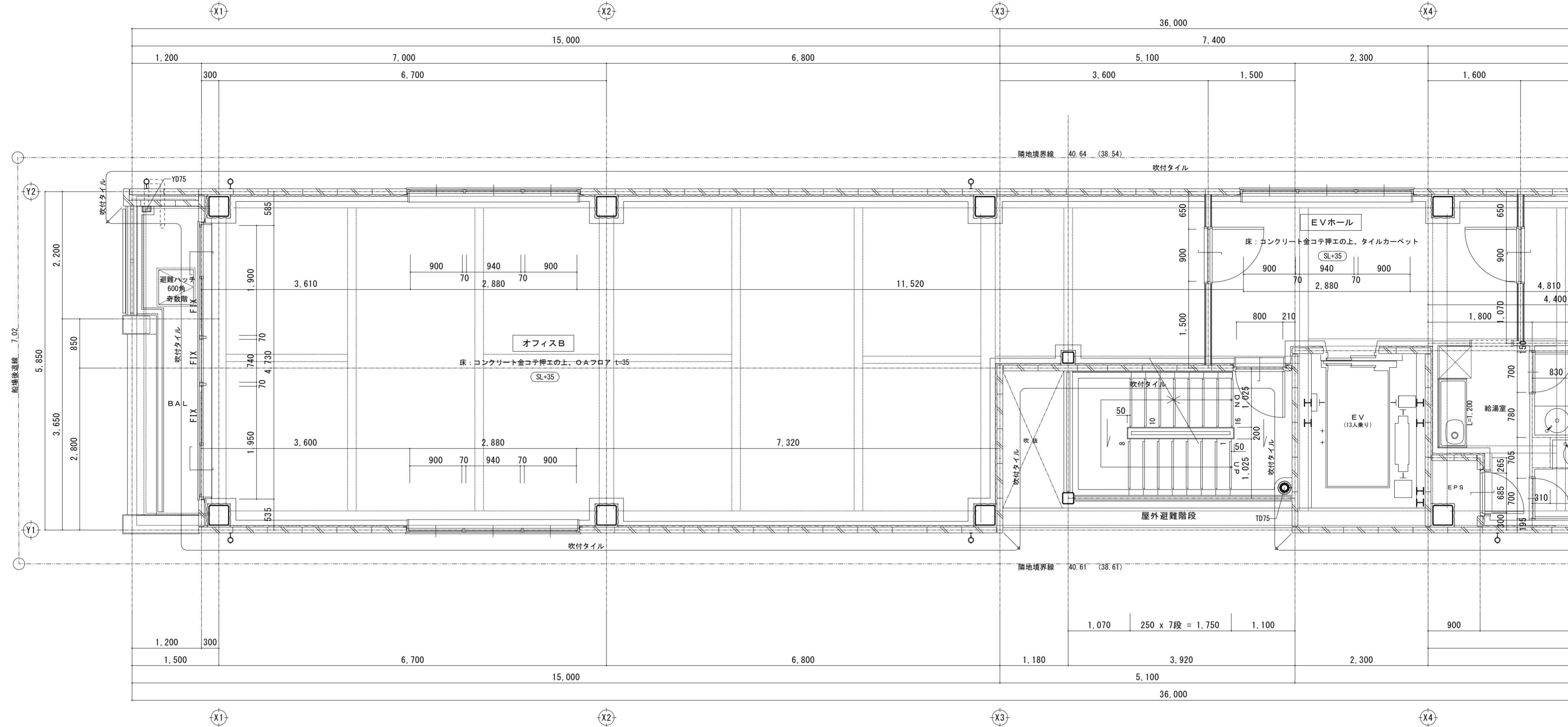
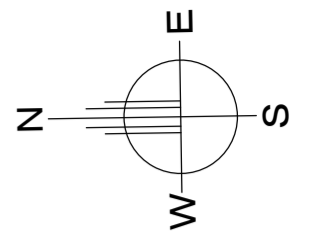
- 凡例
- TD75: 中継ドレン75φ用 (鋳物製) 水ハネ防止
 - YD75: 横引ドレン75φ用 (鋳物製)
 - RD75: たて型ドレン75φ用 (鋳物製)
 - MO: モルタル CON: コンクリート
 - 下がりスラブ (SL-200)
 - 耐火間仕切壁
 - カーテンレールW

特記事項

外壁タイルは、45ニ丁掛タイルとする
塗膜防水はウレタン系 (X-2仕様) とする



本図の縮尺は、A2-100%、A3-70.7%とする。

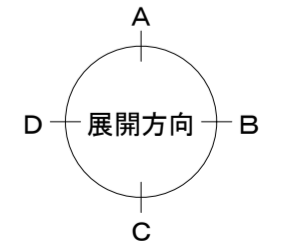


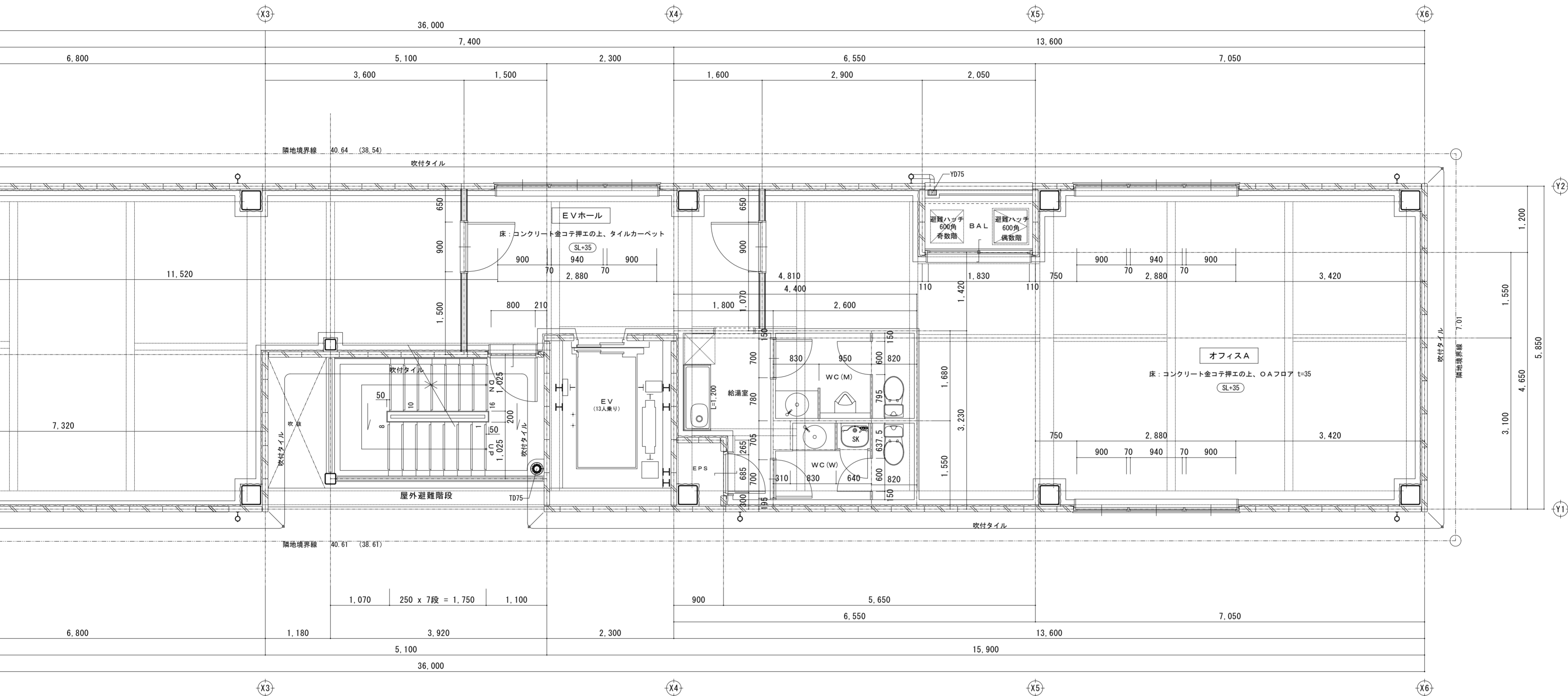
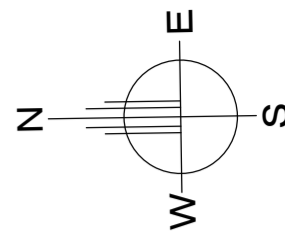
9階 平面詳細図 1:50

- 凡例
- TD75: 中継ドレン75φ用(鋳物製)水ハネ防止
 - YD75: 横引ドレン75φ用(鋳物製)
 - RD75: たて型ドレン75φ用(鋳物製)
 - MO: モルタル CON: コンクリート
 - 下がりスラブ (SL-200)
 - 耐火間仕切壁
 - カーテンレールW
 - CR

特記事項

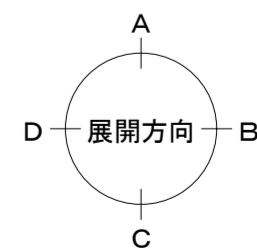
外壁タイルは、45ニ丁掛タイルとする
塗膜防水はウレタン系(X-2仕様)とする



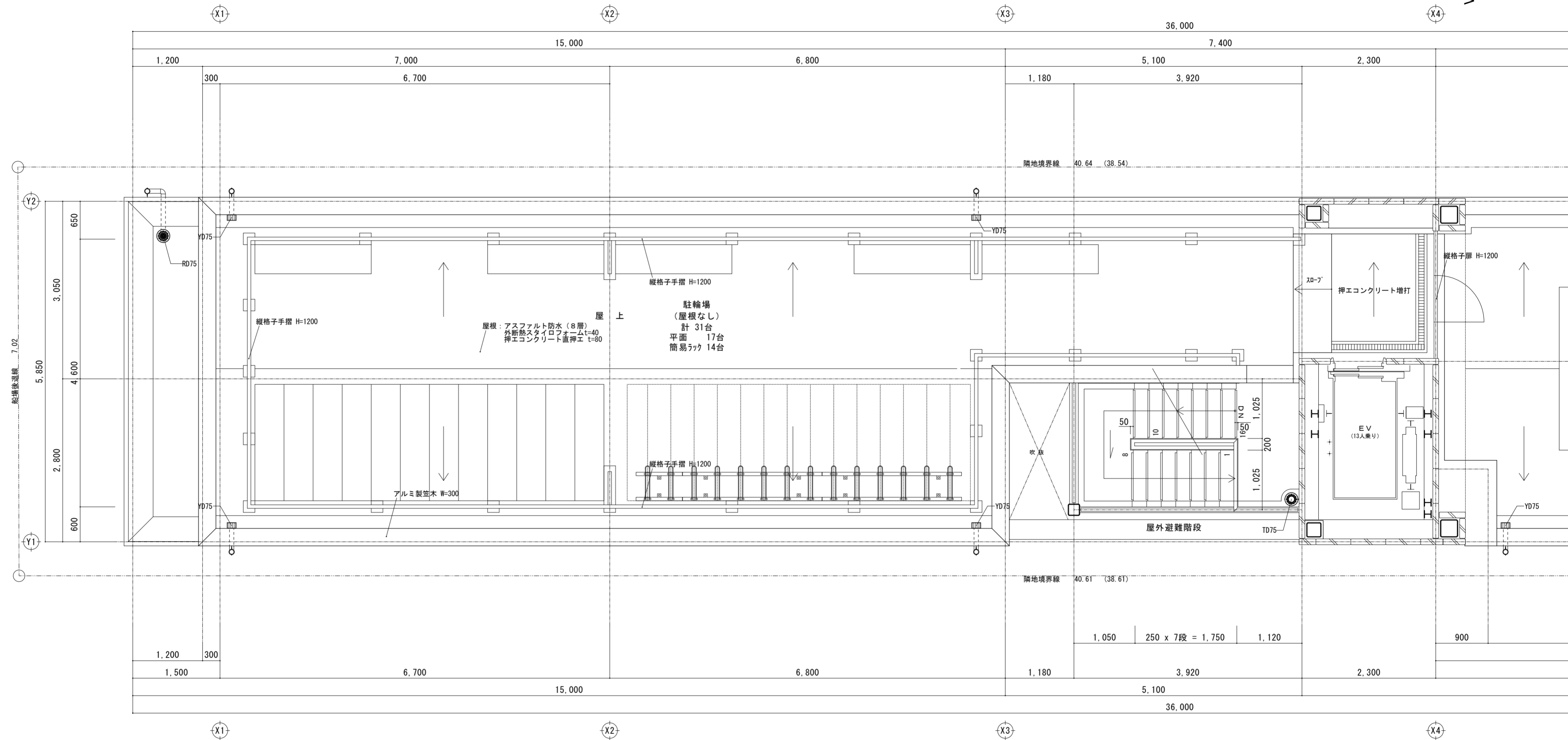
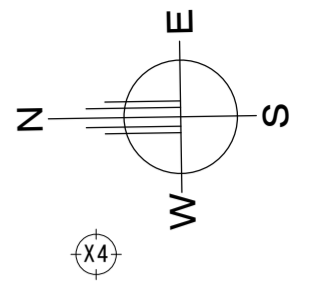


- 凡例
- TD75: 中継ドレン75φ用(鋳物製)水ハネ防止
 - YD75: 横引ドレン75φ用(鋳物製)
 - RD75: たて型ドレン75φ用(鋳物製)
 - MO:モルタル CON:コンクリート
 - 下がりスラブ (SL-200)
 - 耐火間仕切壁
 - カーテンレールW

- 特記事項
- 外壁タイルは、45ニ丁掛タイルとする
 - 塗膜防水はウレタン系(X-2仕様)とする



本図の縮尺は、A2-100%、A3-70.7%とする。

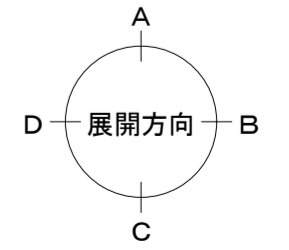


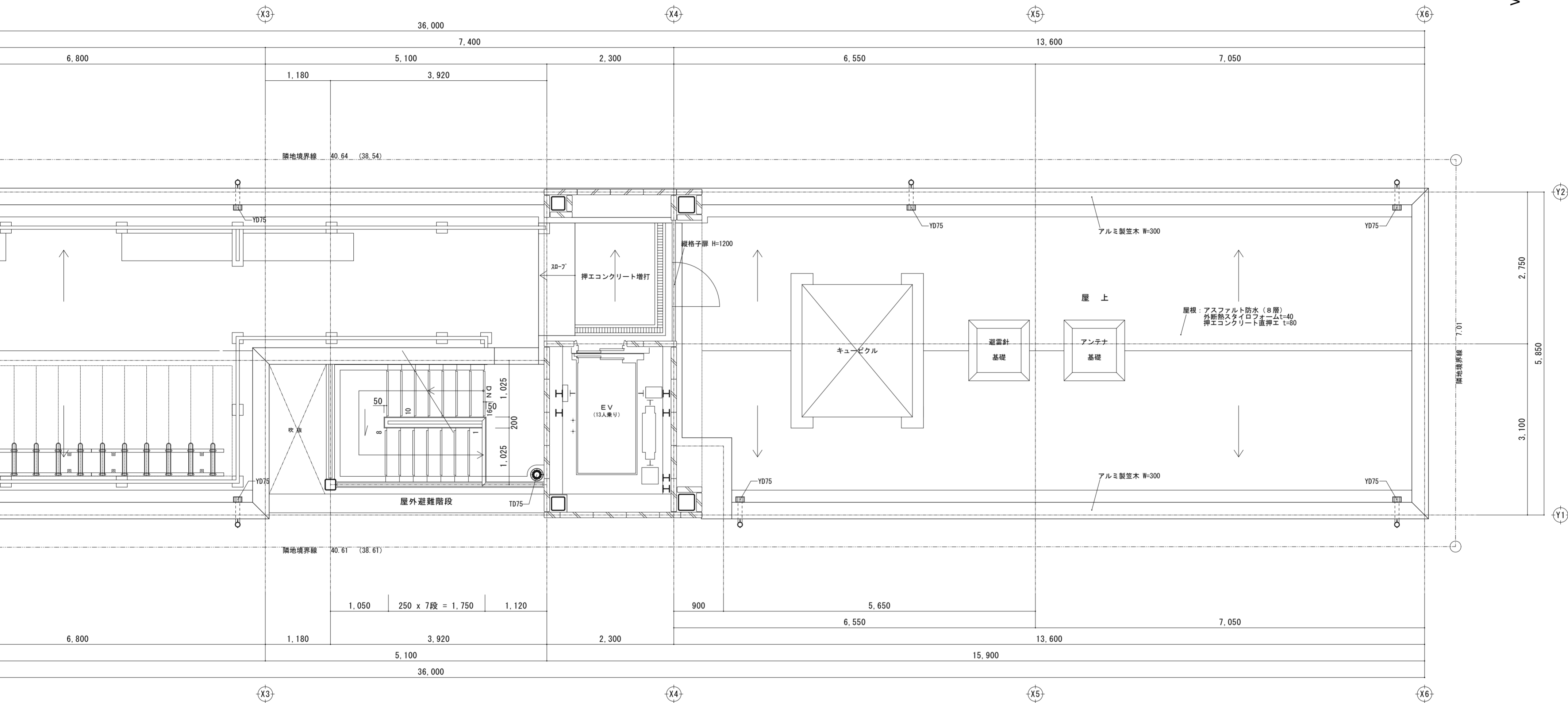
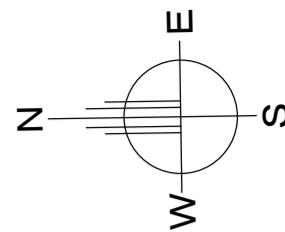
R階 平面詳細図 1:50

- 凡例
- TD75: 中継ドレン75φ用(鋳物製)水ハネ防止
 - YD75: 横引ドレン75φ用(鋳物製)
 - RD75: たて型ドレン75φ用(鋳物製)
 - MO:モルタル CON:コンクリート
 - 下がりスラブ (SL-200)
 - 耐火間仕切壁
 - カーテンレールW
 - CR

特記事項

外壁タイルは、45ニ丁掛タイルとする
塗膜防水はウレタン系(X-2仕様)とする



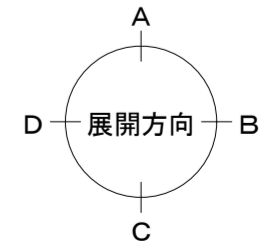


R階 平面詳細図 1:50

- 凡例
- TD75: 中継ドレン75φ用(鋳物製)水ハネ防止
 - YD75: 横引ドレン75φ用(鋳物製)
 - RD75: たて型ドレン75φ用(鋳物製)
 - MO: モルタル CON: コンクリート
 - 下がりスラブ (SL-200)
 - 耐火間仕切壁
 - カーテンレールW

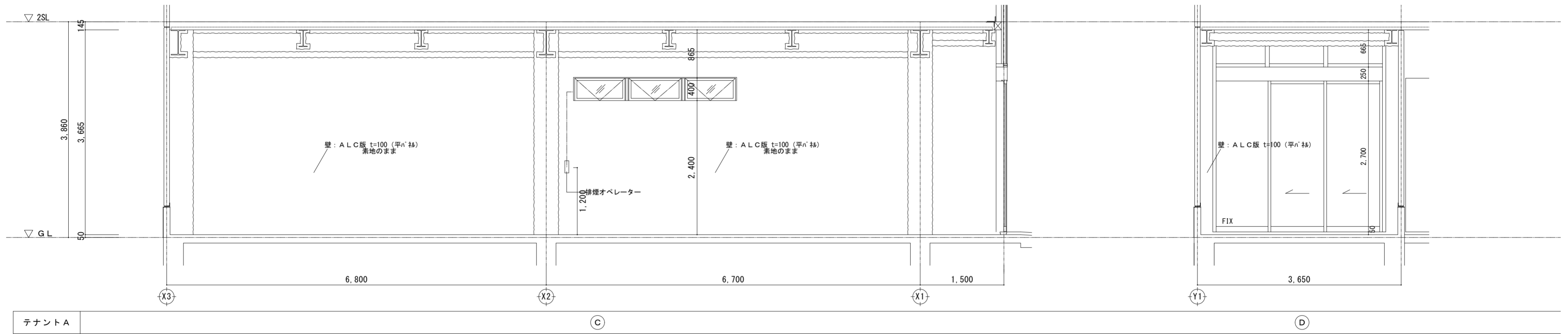
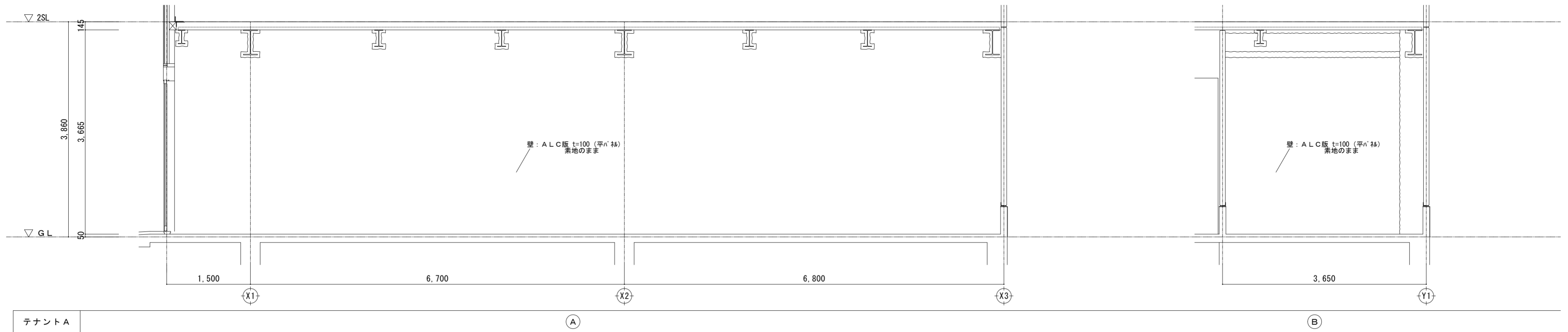
特記事項

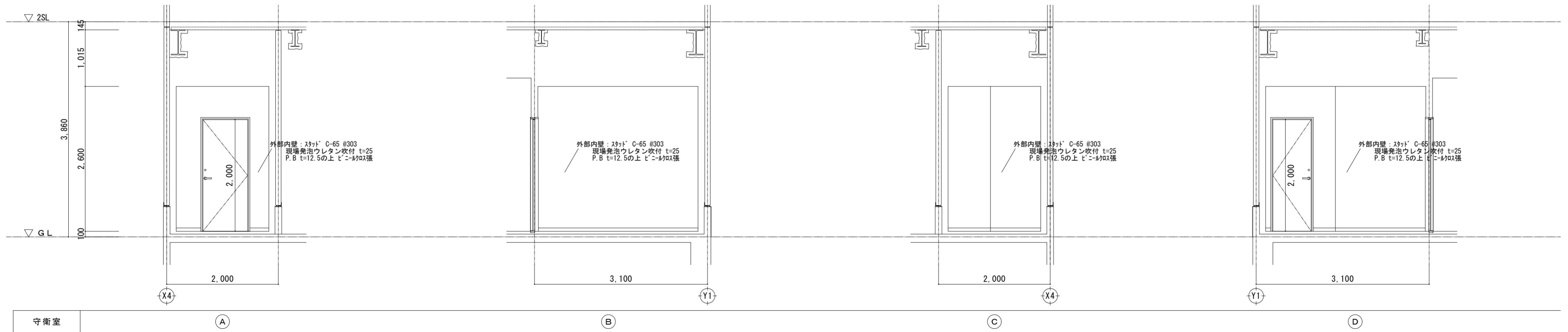
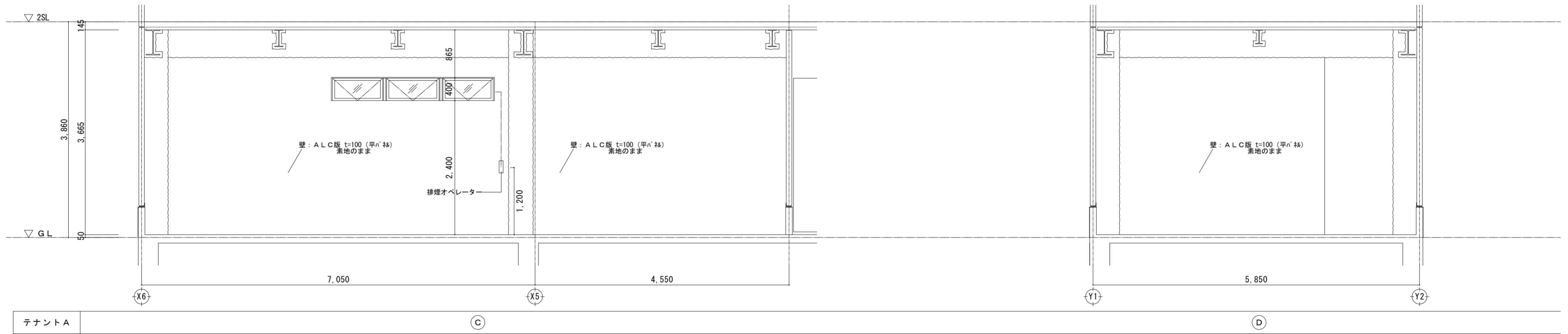
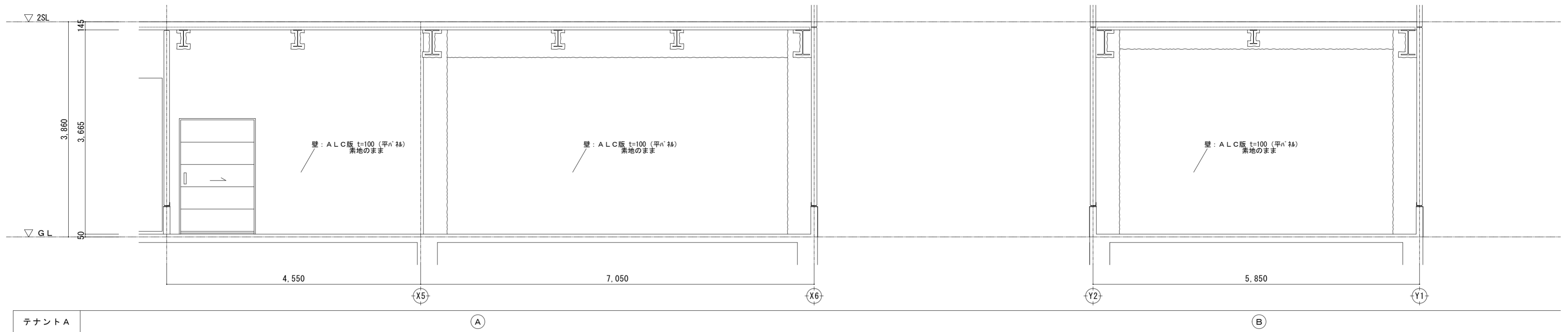
外壁タイルは、45ニ丁掛タイルとする
塗膜防水はウレタン系(X-2仕様)とする

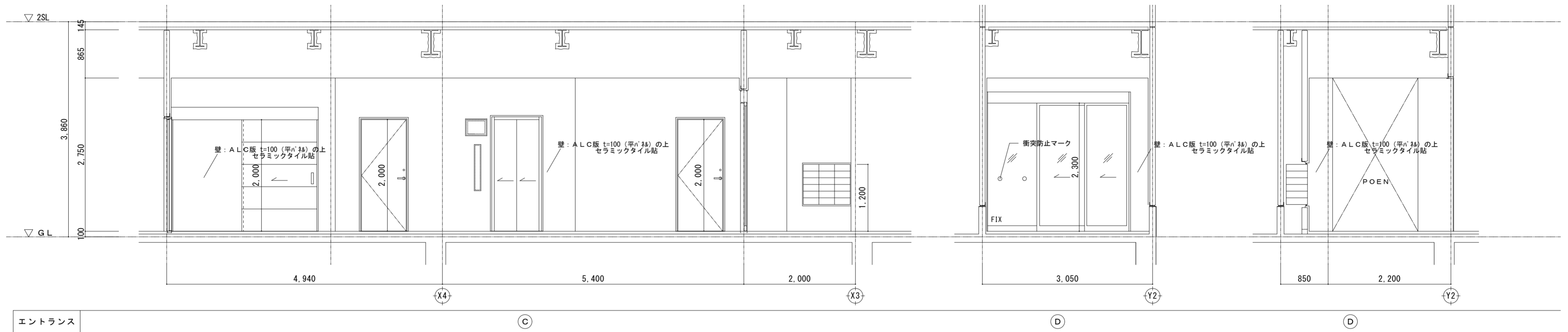
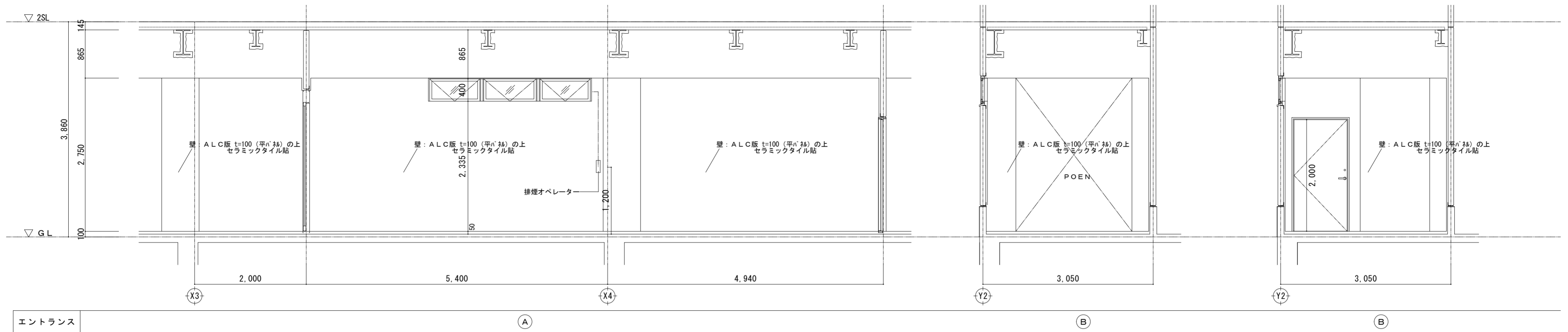


F.A.O. 福嶋洋一建築研究所	作成年月日 2024. 4. 3	工事名称 (仮称) 南本町3丁目 計画	NO. A-113
	一級建築士登録第120638号 福嶋洋一	図面名称 R階 南側 平面詳細図	縮尺 1:50

本図の縮尺は、A2-100%、A3-70.7%とする。







エントランス

③

④

④

■ F.A.O ■
福嶋洋一建築研究所

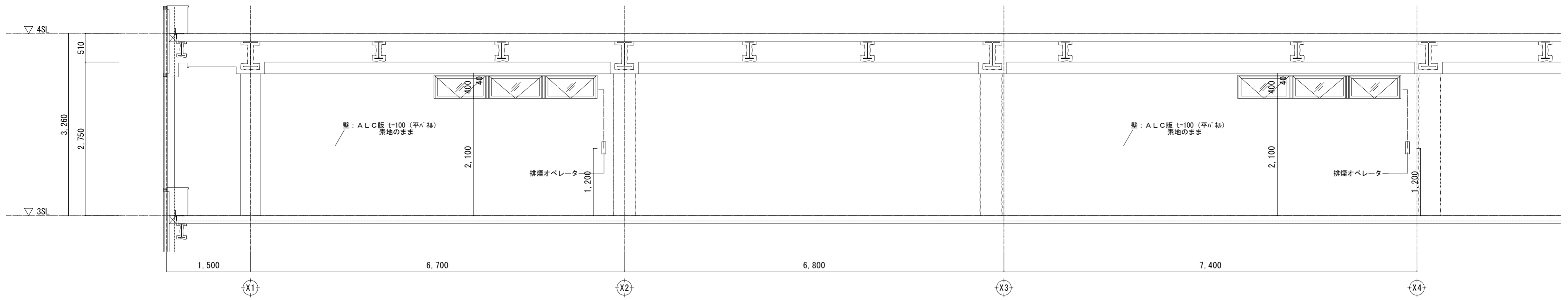
作成年月日 2024. 4. 3
FAO 一級建築士登録第120638号
福嶋洋一

工事名称 (仮称) 南本町3丁目 計画
図面名称 1階 展開図 (3)

縮尺 1:50

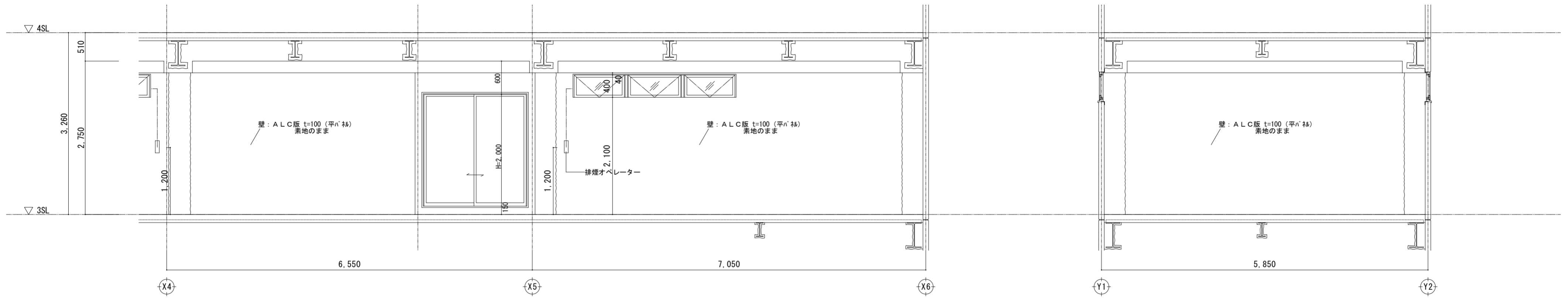
NO. A-116

本図の縮尺は、A2-100%、A3-70.7%とする。



テナント

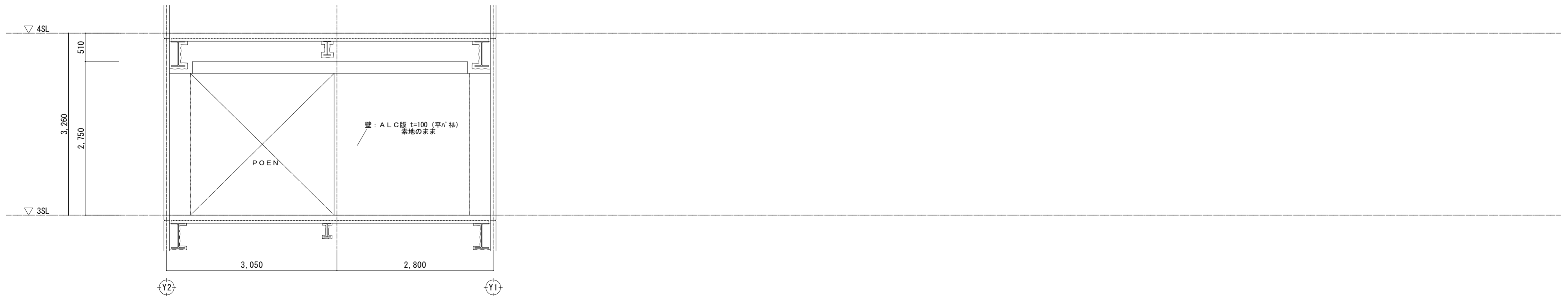
Ⓐ



テナント

Ⓐ

Ⓑ



テナント

Ⓑ

■ F.A.O ■
福嶋洋一建築研究所

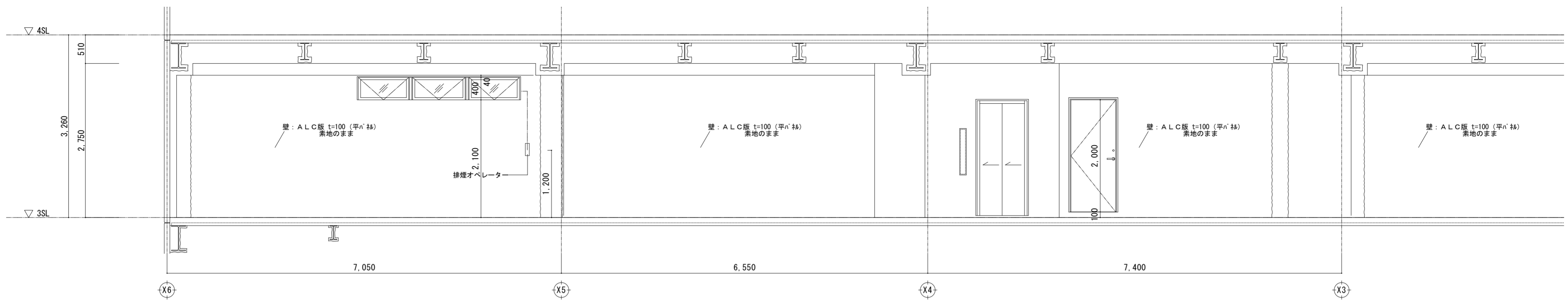
作成年月日 2024. 4. 3
一級建築士登録第120638号
福嶋洋一

工事名称 (仮称) 南本町3丁目 計画
図面名称 テナント 展開図 (1)

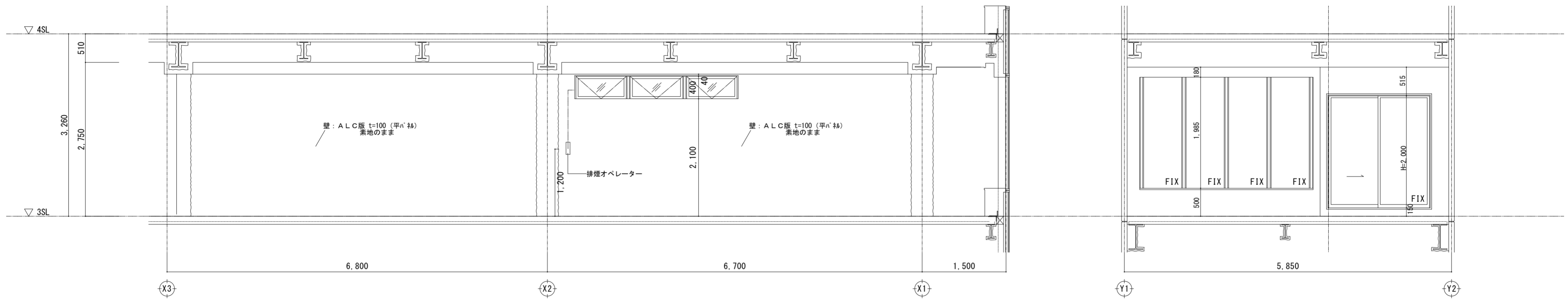
縮尺 1:50

NO. A-117

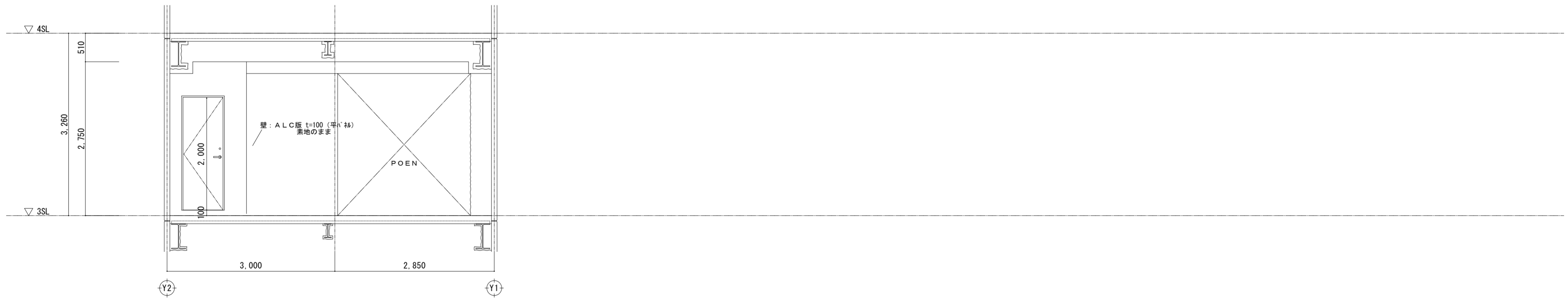
本図の縮尺は、A2-100%、A3-70.7%とする。



テナント



テナント



テナント

■ F.A.O ■
福嶋洋一建築研究所

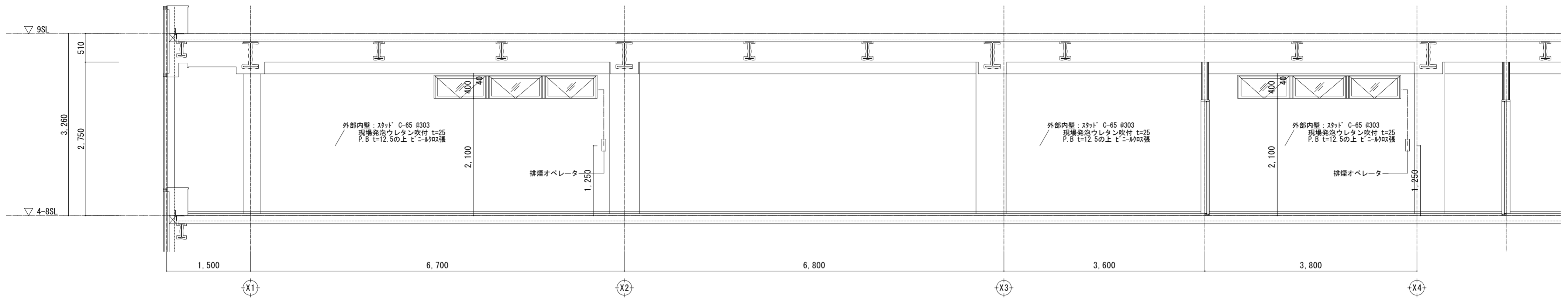
作成年月日 2024. 4. 3
FAO 一級建築士登録第120638号
福嶋洋一

工事名称 (仮称) 南本町3丁目 計画
図面名称 テナント 展開図 (2)

縮尺 1:50

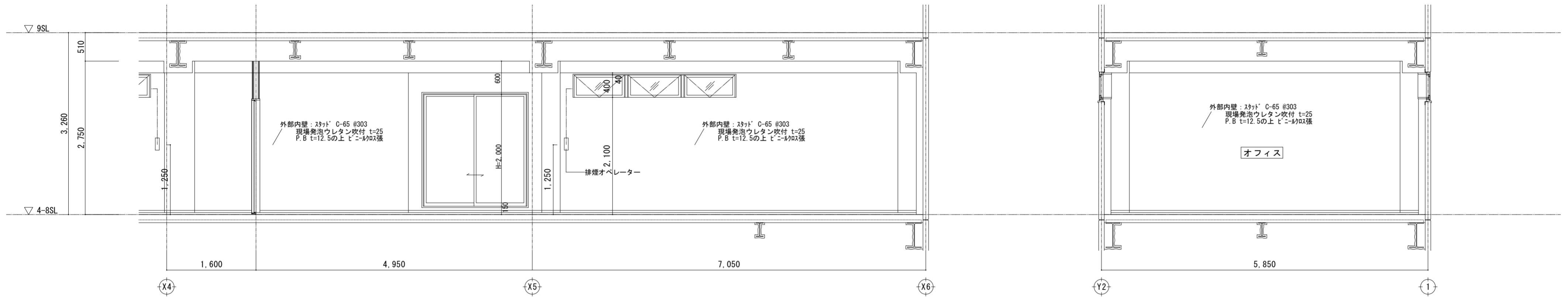
NO. A-118

本図の縮尺は、A2-100%、A3-70.7%とする。



オフィス
EVホール

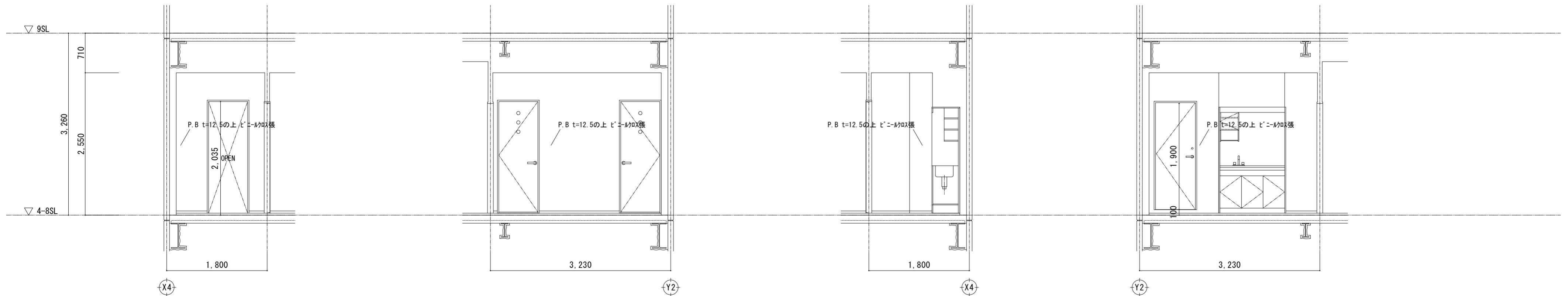
(A)



オフィス
EVホール

(A)

(B)



給湯室

(A)

(B)

(C)

(D)

■ F.A.O ■
福嶋洋一建築研究所

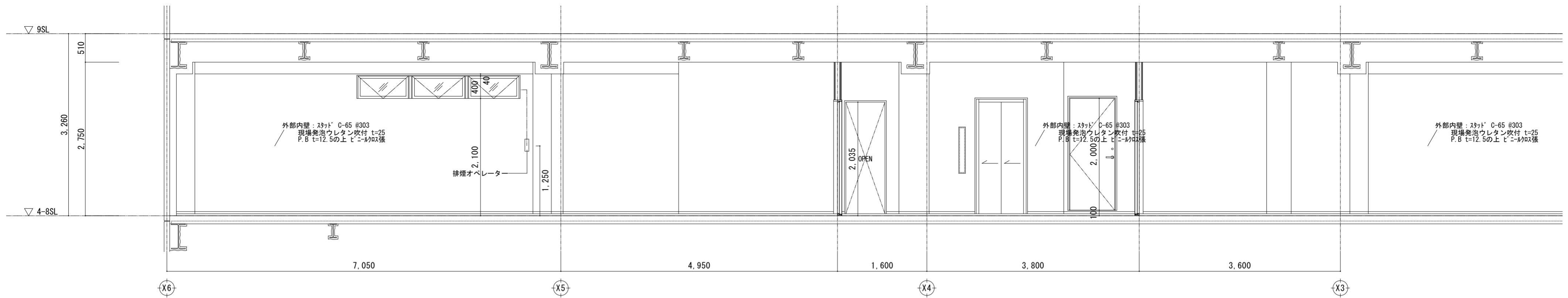
作成年月日 2024.4.3
FAO 一級建築士登録第120638号
福嶋洋一

工事名称 (仮称)南本町3丁目 計画
図面名称 オフィス 展開図(1)

縮尺 1:50

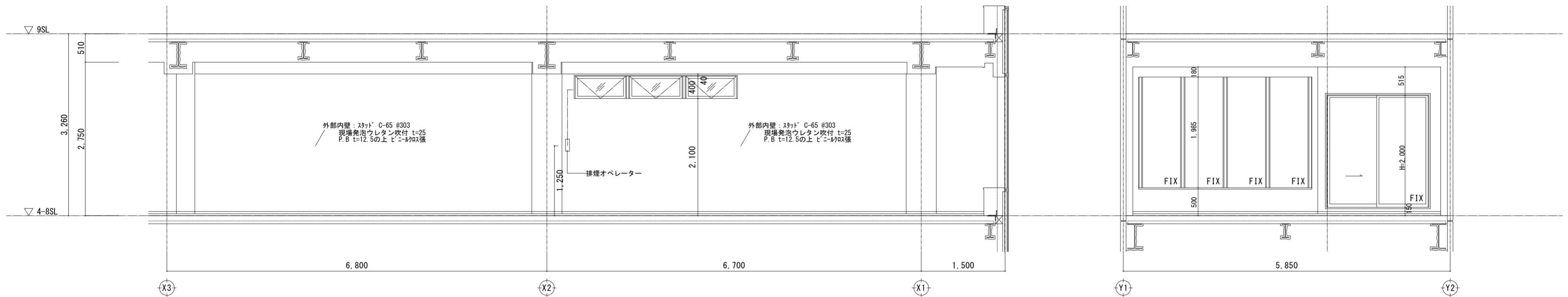
NO. A-119

本図の縮尺は、A2-100%、A3-70.7%とする。



オフィス
E Vホール

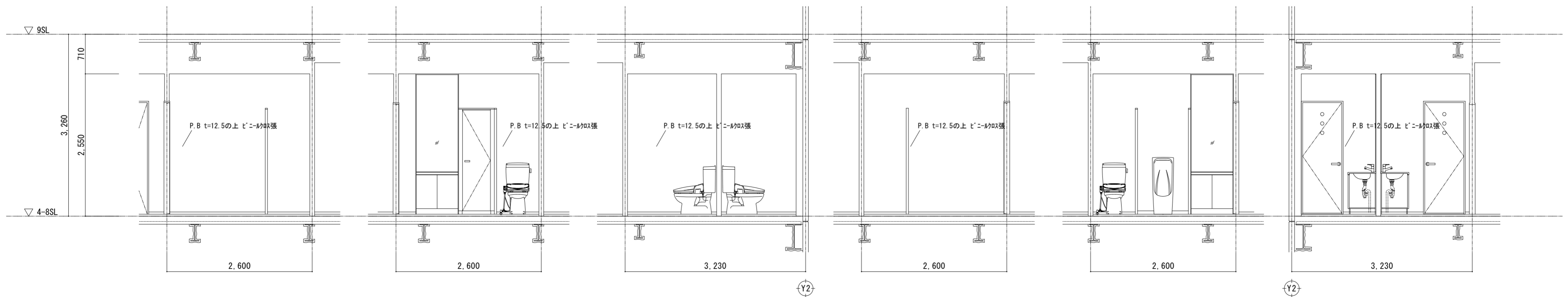
④



オフィス
E Vホール

④

③



WC

①

①

②

③

③

②

■ F.A.O ■
福嶋洋一建築研究所

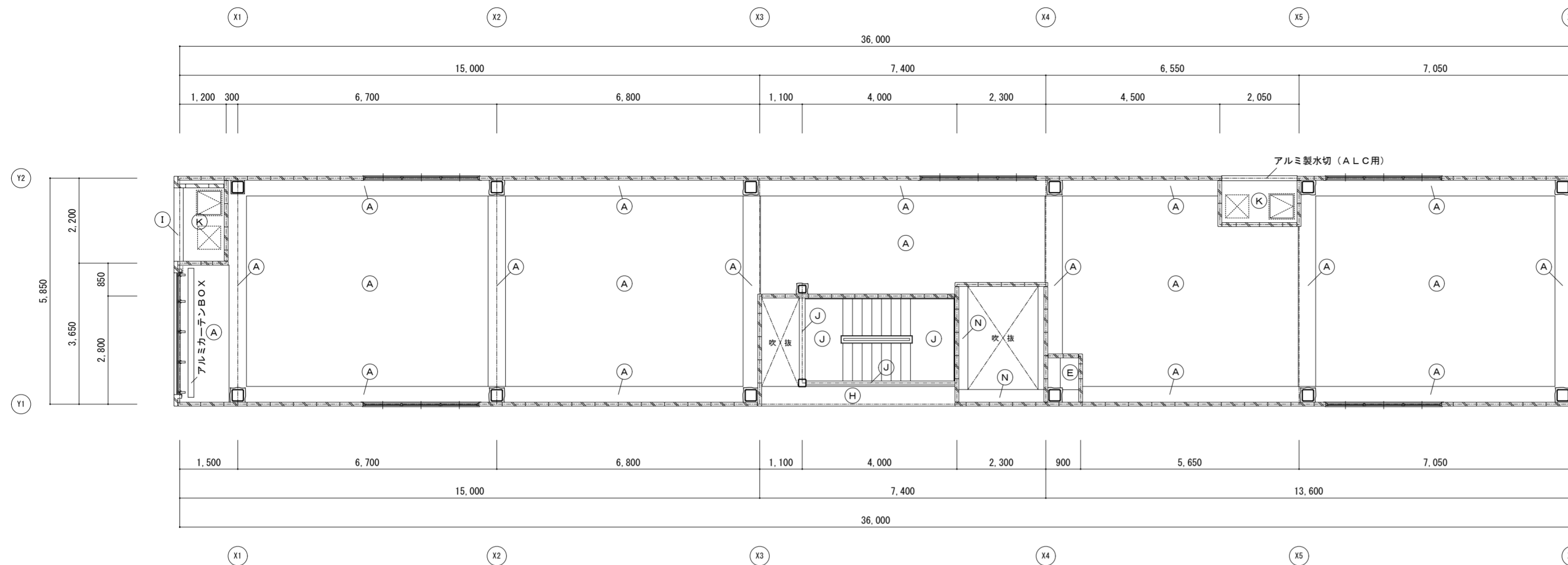
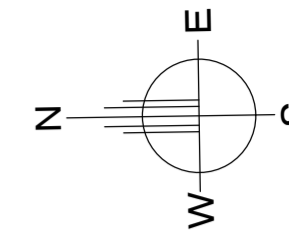
作成年月日 2024. 4. 3
FAO 一級建築士登録第120638号
福嶋洋一

工事名称 (仮称) 南本町3丁目 計画
図面名称 オフィス 展開図 (2)

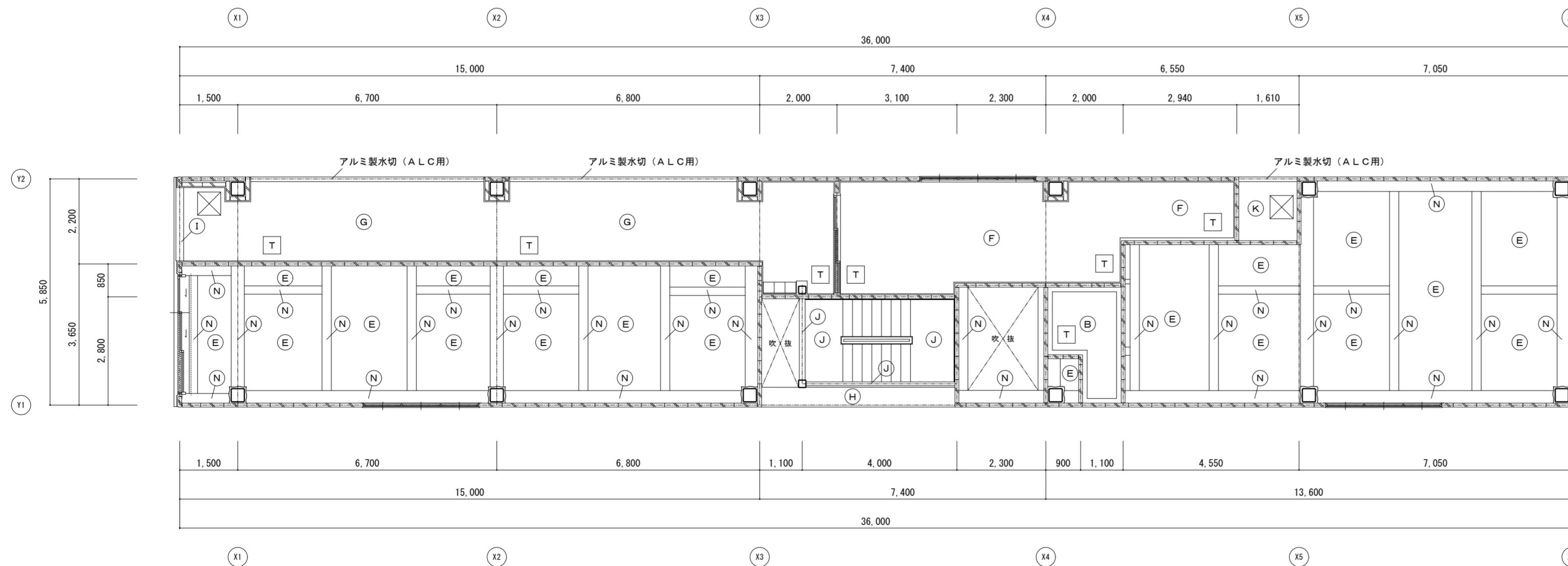
縮尺 1:50

NO. A-120

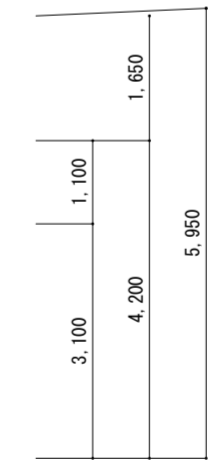
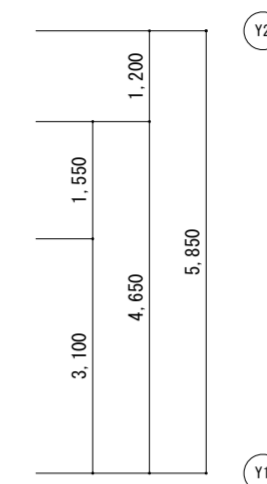
本図の縮尺は、A2-100%、A3-70.7%とする。



2~3階 天井伏図

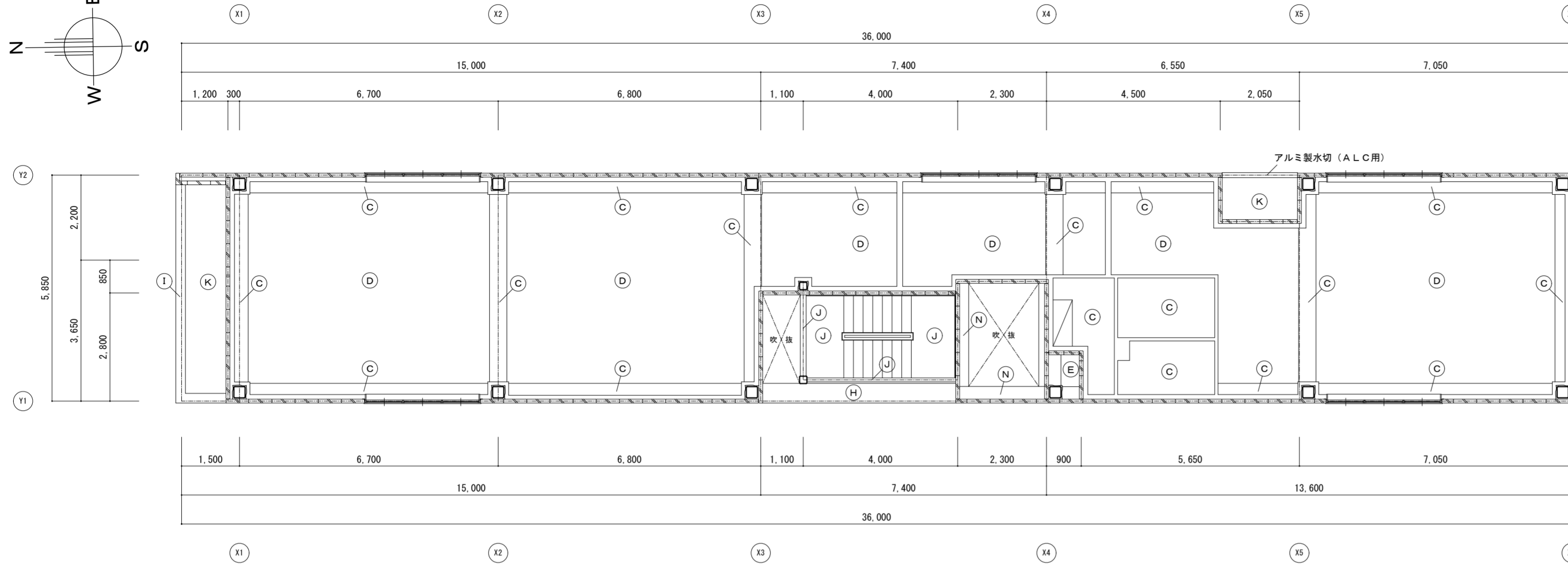
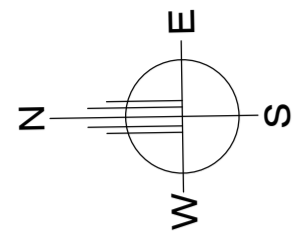


1階 天井伏図

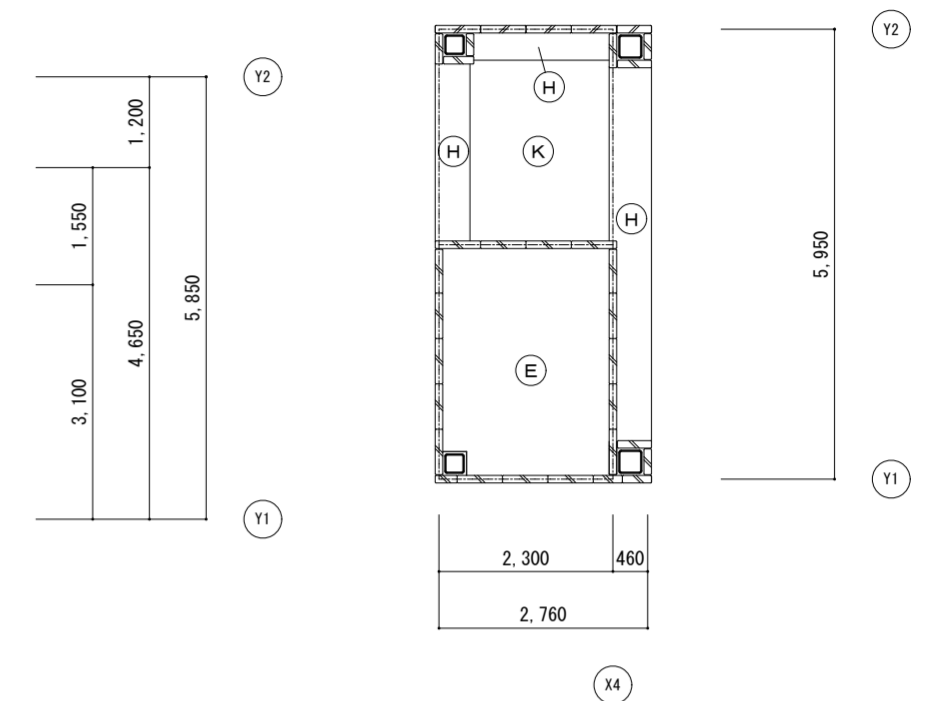


(A)	P B t=9.5素地のまま (軽天下地)
(B)	P B t=9.5の上 ビニールクロス (軽天下地)
(C)	P B t=12.5の上 ビニールクロス (軽天下地)
(D)	P B t=9.5の上岩綿吸音板t=12.0 (軽天下地)
(E)	QLデッキ素地のまま
(F)	P B t=12.5寒冷紗パテ処理、ジヨリパット吹付 (軽天下地)
(G)	P B t=12.5の上ケイカル板t=6.0寒冷紗パテ処理、ジヨリパット吹付 (軽天下地)
(H)	ALC版の上吹付タイル
(I)	コンクリート打放し補修の上吹付タイル
(J)	鉄骨さび止め塗装の上SOP塗
(K)	ケイカル板t=6.0、アクリルリシン吹付 (軽天下地)
(N)	ロックウール吹付 (耐火被覆)
(T)	点検口 450角
キ	ミニキッチン (レンジフード付)
ハチ	避難ハッチ

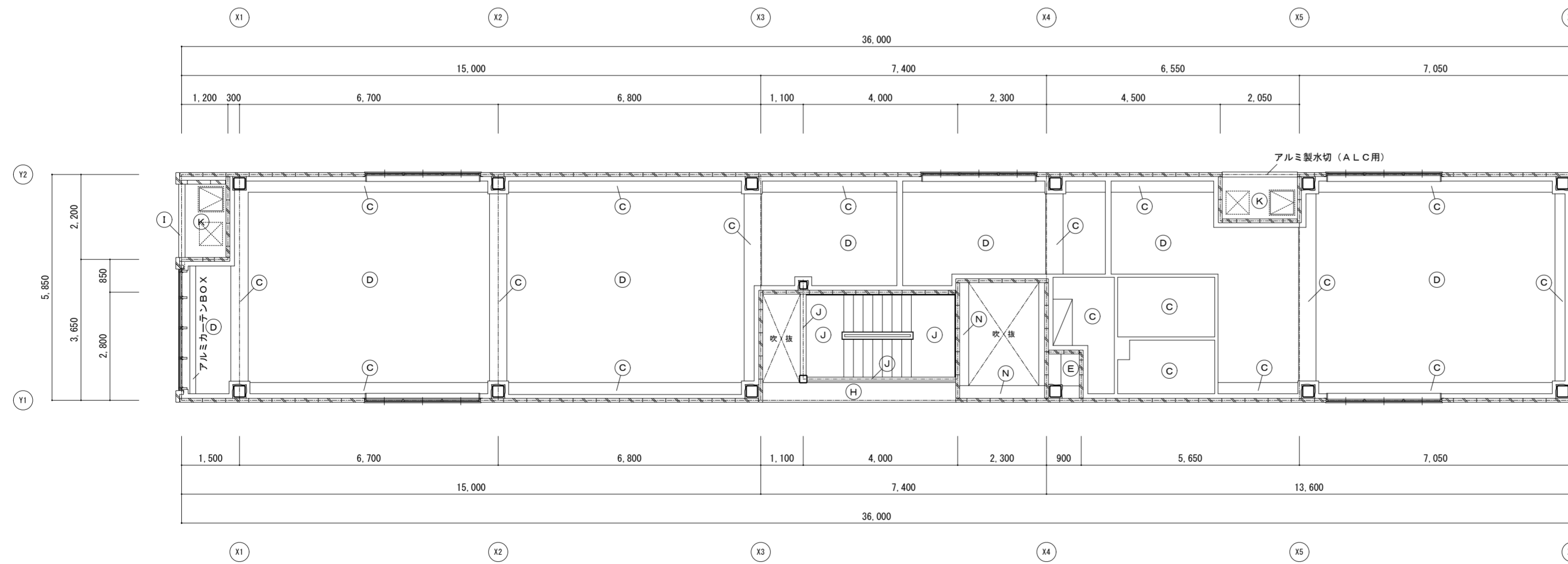
・EPSはQLデッキ素地とする
 ・4階下スラブは全て断熱材吹き付けとする。



9階 天井伏図



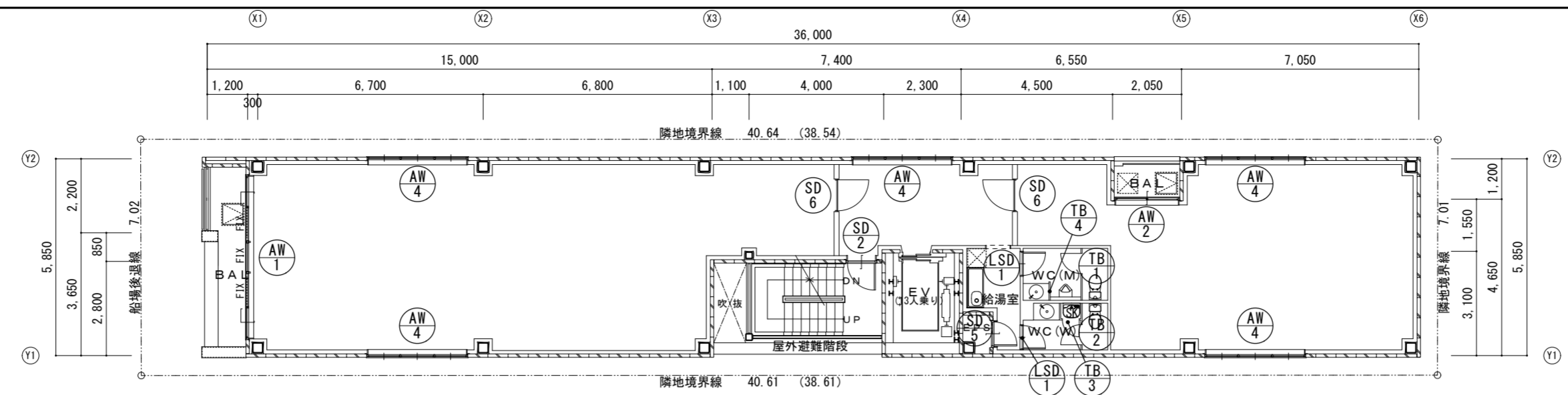
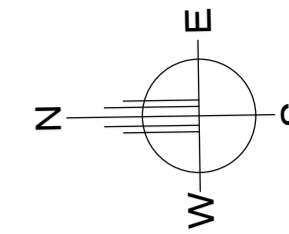
PH 天井伏図



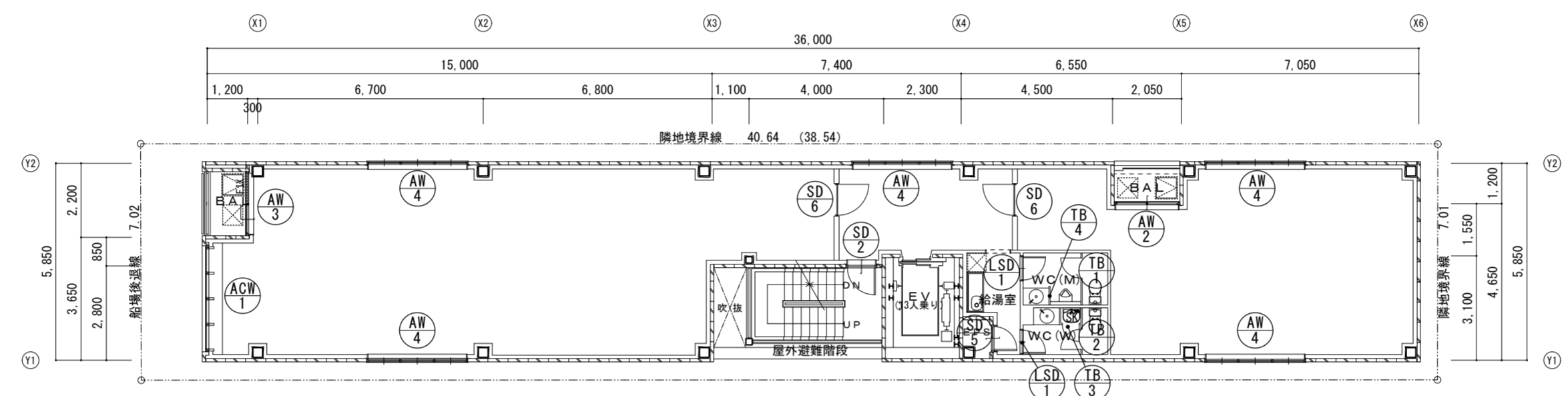
4~8階 天井伏図

(A)	P B t=9.5素地のまま (軽天下地)
(B)	P B t=9.5の上 ビニールクロス (軽天下地)
(C)	P B t=12.5の上 ビニールクロス (軽天下地)
(D)	P B t=12.5の上岩綿吸音板t=12.0 (軽天下地)
(E)	QLデッキ素地のまま
(F)	P B t=12.5寒冷紗パテ処理、ジヨリパット吹付 (軽天下地)
(G)	P B t=12.5の上ケイカル板t=6.0寒冷紗パテ処理、ジヨリパット吹付 (軽天下地)
(H)	ALC版の上吹付タイル
(I)	コンクリート打放し補修の上吹付タイル
(J)	鉄骨さび止め塗装の上SOP塗
(K)	ケイカル板t=6.0、アクリルリシン吹付 (軽天下地)
(N)	ロックウール吹付 (耐火被覆)
(T)	点検口 450角
キ	ミニキッチン (レンジフード付)
ハチ	避難ハッチ

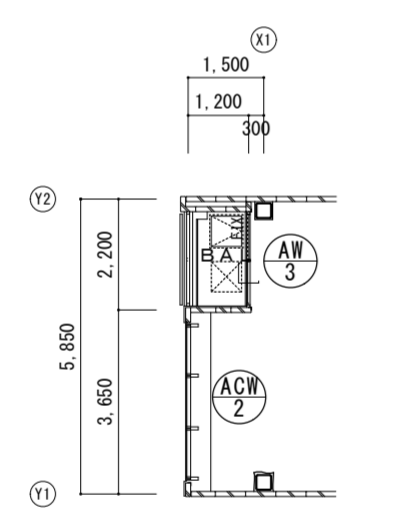
・EPSはQLデッキ素地とする
 ・4階下スラブは全て断熱材吹き付けとする。



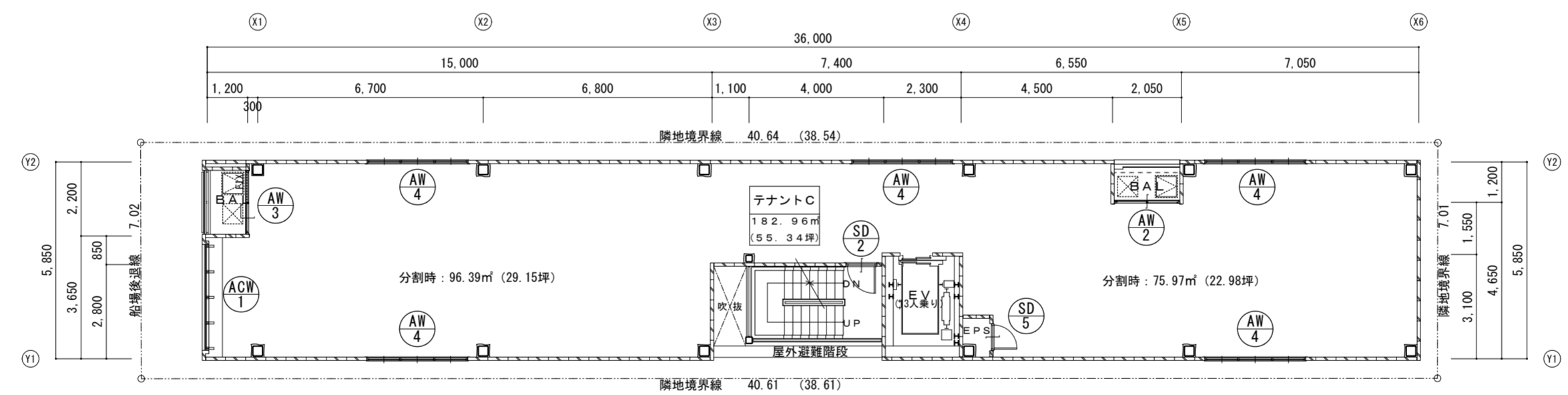
9 F PLAN



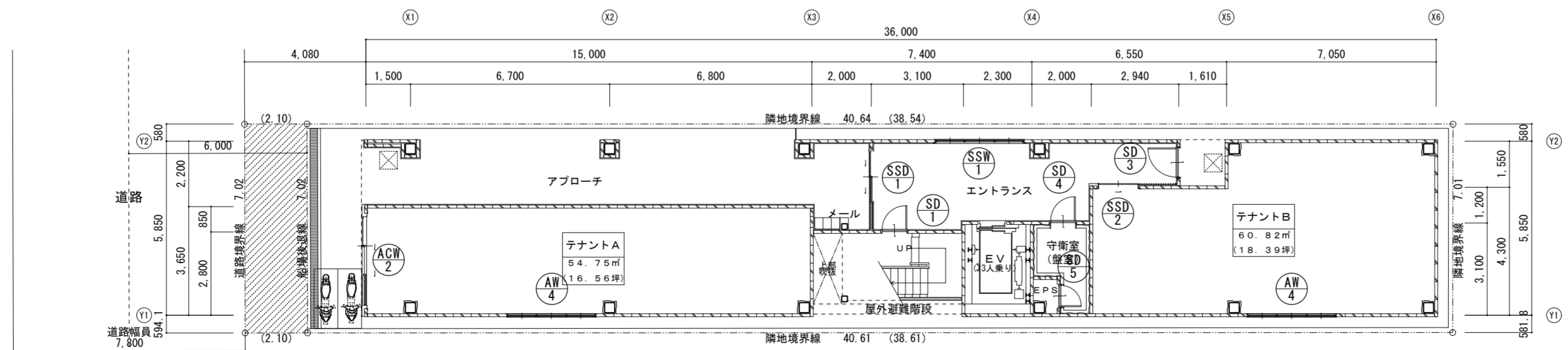
4~8 F PLAN



2 F 部分サッシ



2・3 F PLAN



1 F PLAN

※1~PH階延焼線は、敷地内全てを範囲内とする

■ F.A.O ■ 福嶋洋一建築研究所	作成年月日	2024. 4. 3	工事名称	(仮称) 南本町3丁目 計画	NO. A-123
	図面名称	建具リスト	縮尺	1 : 150	

本図の縮尺は、A2-100%、A3-70.7%とする。

建具共通仕様

左表に「共」とある場合は、下記による。

鋼製建具				木造建具			
形状	見込寸法	材質	仕上	形状	見込寸法	材質	仕上
枠							
くつづり							
扉							
召合せ							
ガラリ							
ガラス	種類	ペアガラス 厚さ FGL 3 + A 4 + FGL 5 (Z: FGL 3 + A 4 + 網入型 6.8)		種類	厚さ		
グレイジング	※「サッシ」系又は「シロコン」系			※「サッシ」系又は「シロコン」系			

・外部用扉は原則としてセミAT以上とする。

建具金物の種類

開閉形式	錠	握玉・把手類	支持金物	その他金物
片開き (鋼製外部) (鋼製内部) (防火扉) (木製)	シリンダー箱錠 シリンダーモノロック 同上	握玉	丁番 ビボットヒンジ 同上	ドアローゼーストッパー付 同上 戸当り ドアローゼーストッパー付又はストッパーなし 戸当り ドアローゼーストッパー付 戸当り
両開き 鋼製内外部 木製 (防火扉)	片開きに同じ	片開きに同じ	片開きに同じ	フランス落し ドアローゼーストッパー付 戸当り フランス落し ドアローゼーストッパー付 [順位調整器]
埋込型防火扉		握込把手	オートヒンジ	レリーズ
点検口		平面ハンドル (鍵付)	軸吊金物	

(注) [] 内は扉召合せ形状により必要な場合

建具金物の材質・仕上

品名	材質	仕上	程度
錠・握玉			
押板・把手			

マスターキー装置	・要	・不要	握玉のバックセット	mm
逆マスターキー装置	・要	・不要	防災建具の電源は	Vとする。
グランドマスターキー装置	・要	・不要		

略号及び符号

欄名称	略号	及	び	符	号
法規制	特 特定防火設備 防 防火設備	常閉 煙	常時閉鎖式 温度ヒューズ連動 煙感知器連動	通 排	非常用出入口 煙扉
枠形状	A B C D E AT F G H				
くつづり形状	A B C D E AT F G H				
召合せ形状	A B C D E AT F				
ガラリ形状	A B C D E AT F G				
錠の種類	モ シリンダーモノロック 鍵 鍵錠 オ オートロック	本 非	シリンダー本締り 非常錠 ホ	箱 シリンダー箱錠 ハ	シリンダー箱錠 ハンドル錠
施錠方法	か ぎ か ぎ	か ぎ か ぎ	か ぎ か ぎ	サムターン か ぎ	表 表示錠 か ぎ
握玉・把手類	握 握玉 引 引手	押 押番 ケ ケースハンドル	握 握込把手 グ グレモン錠	レ レバーハンドル 分 分電盤錠	プ プラスチック引手
支持金物	T 丁番	ビ ビボットヒンジ	フ フロアーヒンジ	オ オートヒンジ	
その他金物	DC ドアローゼ DCB ドアローゼヒューズ付 AS アームストッパー		DCS ドアローゼーストッパー付 DCD ドアローゼコンシールド付型 落 フランス落し		順 順位調整器

「備考」欄は、下記該当項目がある場合に記入する。
 1 遮音性能 (A級、B級) 2 機密性能 (A、セミA、T) 3 煙感知器連動装置の制御方式
 4 自動扉の感知方式 5 警備保証用配線

共通略号

SD 鋼製扉 (戸)	AD アルミ製扉 (戸)	TGD 強化ガラス扉 (戸)	F ふすま
FSD 防火扉 (戸)	SSD ステンレス製扉 (戸)	SWD 鋼製枠木製扉 (戸)	WF 戸ふすま
S 鋼	FLG フロートガラス	FWG 網入型板ガラス	HG 熱線吸収ガラス
SF 合成樹脂調合ペイント塗り	OS オイルステイン塗り	PWG 網入みがきガラス	RG 熱線反射ガラス
FOP フタル酸エマルジョン塗り	OSC オイルステインクリア塗り	HWG 網入熱線吸収ガラス	PG 複層ガラス
LC クリヤラッカー塗り	LE ラッカーエナメル塗り	UE 2 常温硬化型ポリウレタンエナメル塗り	
AS アルミ	TG 強化ガラス		
H 非塩化ビニルシート			

符号	場所	数量	SSD 1	2.530 × 2.300	1 防	SSD 2	4.315 × 2.250	1 特						
姿図	アプローチ～エントランス													
	形式	両引分けエンジンドア		片引きエンジンドア										
	仕上	枠見込	ステンレス H L 仕上		150	ステンレス H Lの上 ダイノックシート貼		150						
	枠仕上	枠・くつづり	ステンレス H L 仕上			ステンレス H Lの上 ダイノックシート貼								
	金物	錠取付	エンジンドア 光感知センサー 他付属金物一式		外 内	エンジンドア 押しボタン式センサー 予備電源付き 避難開口部仕様 (停電時手動開放・自動閉鎖式) シリンダー本締錠 他付属金物一式		外 内						
備考	ダイノックシート:住友3M網ダイノックフィルム同等品													
符号	場所	数量	SSW 1	2.880 × 400	1 防	SD 6	4～9階オフィス 900 × 2.000	12 特	SD 1	1階屋外避難階段 800 × 2.000	1 防			
姿図	アプローチ～エントランス													
	形式	3連外倒し排煙窓		片開き戸		片開き戸		片開き戸		電気錠 (自動火災報知器連動開錠)				
	仕上	枠見込	ステンレス H L 仕上		80	EVホール側:ダイノックシート貼 オフィス側:SOP		80	エントランス:ダイノックシート貼		80			
	枠仕上	枠・くつづり	ステンレス H L 仕上			EVホール側:ダイノックシート貼 オフィス側:SOP		A-B	階段側:SOP		A-F			
	金物	錠取付	排煙オペレーター 大型結露受 水切 他付属金物一式		外 内	SUS丁番 3枚吊 ドアローゼ 戸当 シリンダー本締錠 サムターン レバーハンドル 他付属金物一式 ダイノックシート:住友3M網ダイノックフィルム同等品 レバーハンドル:株式会社ユニオンUL734-002S同等品		外 内	SUS丁番 3枚吊 ドアローゼ 戸当 シリンダー本締錠 レバーハンドル 他付属金物一式 ダイノックシート:住友3M網ダイノックフィルム同等品 レバーハンドル:株式会社ユニオンUL734-002S同等品		外 内			
備考	ダイノックシート:住友3M網ダイノックフィルム同等品													
符号	場所	数量	SD 2	2～9階屋外避難階段 800 × 2.000	8 防	SD 3	1階エントランス 800 × 2.000	1 特	SD 4	1階守衛室 800 × 2.000	1 特	SD 5	E P S 685 × 1.900	9 防
姿図	2～9階屋外避難階段													
	形式	片開き戸		片開き戸		片開き戸		片開き戸		電気錠 (自動火災報知器連動開錠)		片開き戸		
	仕上	枠見込	エントランス:ダイノックシート貼		80	エントランス:ダイノックシート貼 外部側:SOP		80	エントランス:ダイノックシート貼 守衛室側:SOP		80	エントランス:ダイノックシート貼		
	枠仕上	枠・くつづり	エントランス側:ダイノックシート貼 階段側:SOP		A-F	エントランス側:ダイノックシート貼 外部側:SOP		A-F	エントランス側:ダイノックシート貼 守衛室側:SOP		A-B	SOP		
	金物	錠取付	SUS丁番 3枚吊 ドアローゼ 戸当 シリンダー本締錠 (破壊錠式) レバーハンドル 他付属金物一式		外 内	SUS丁番 3枚吊 ドアローゼ 戸当 シリンダー本締錠 (破壊錠式) レバーハンドル 他付属金物一式		外 内	SUS丁番 3枚吊 ドアローゼ 戸当 シリンダー本締錠 サムターン レバーハンドル 他付属金物一式		外 内	SUS丁番 3枚吊 ドアローゼ 戸当 シリンダー本締錠 ケースハンドル 他付属金物一式		
備考	ダイノックシート:住友3M網ダイノックフィルム同等品 レバーハンドル:株式会社ユニオンUL734-002S同等品													

本図の縮尺は、A2-100%、A3-70.7%とする。

建具共通仕様
左表に「共」とある場合は、下記による。

鋼製建具				木造建具			
形状	見込寸法	材質	仕上	形状	見込寸法	材質	仕上
枠							
くつずり							
扉							
召合せ							
ガラリ							
ガラス	種類	ペアガラス 厚さ FGL 3 + A 4 + FGL 5 (注: FGL 3 + A 4 + 網入り型 6.8)		種類	厚さ		
グレイジング	ボリバリド系又はシリコン系シリカ			ボリバリド系又はシリコン系シリカ			

・外部用扉は原則としてセミ A T 以上とする。

開閉形式	錠	握玉・把手類	支持金物	その他金物
片開き (鋼製外部) (鋼製内部) (防火扉) (木製)	シリンダー箱錠 シリンダーモノロック 同上	握玉	丁番 ピボットヒンジ 同上	ドアクローザーストッパー付 同上 戸当り ドアクローザヒューズ付又はストッパーなし 戸当り ドアクローザーストッパー付 戸当り
両開き 鋼製内外部 木製 (防火扉)	片開きに同じ	片開きに同じ	片開きに同じ	フランス落し ドアクローザーストッパー付 戸当り フランス落し ドアクローザ両側 [順位調整器]
埋込型防火扉		握込把手	オートヒンジ	レリーズ
点検口		平面ハンドル (鍵付)	軸吊金物	

(注) [] 内は扉召合せ形状により必要な場合

品名	材質	仕上	程度
錠・握玉			
押板・把手			

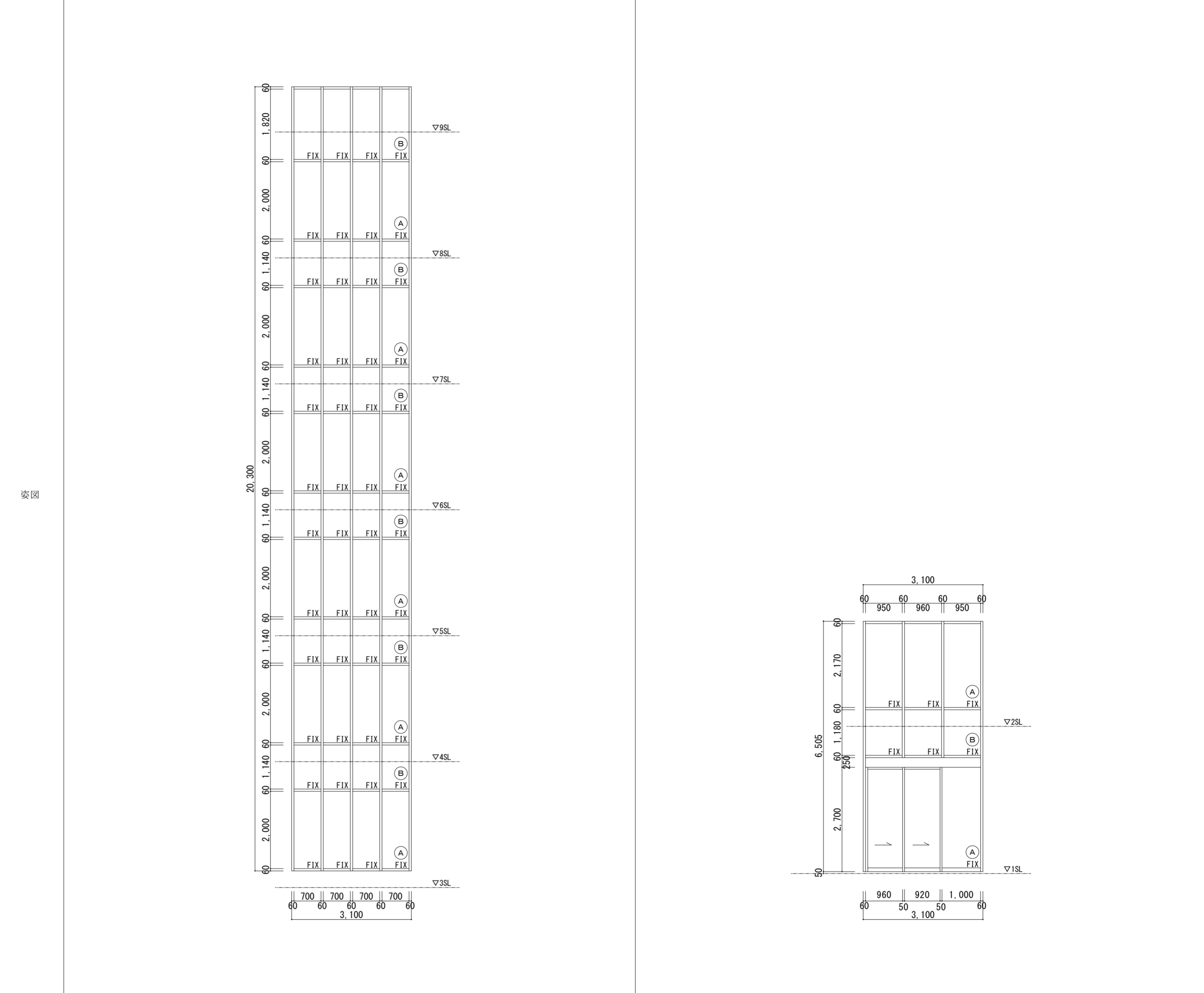
- マスターキー装置 ・ 要 ・ 不要 握玉のバックセット mm
- 逆マスターキー装置 ・ 要 ・ 不要 防災建具の電源は V とする。
- グランドマスターキー装置 ・ 要 ・ 不要

略号及び符号	略号及び符号
規 則	特 定 防 火 設 備 防 火 設 備 常 閉 煙 感 知 器 運 動 常 時 閉 鎖 式 温 度 ヒューズ 運 動 通 排 通 排 煙 扉
枠 形 状	A B C D E AT F G H 立上り部分をステンレスにする場合は「材料・仕上」欄に記入する。
くつづり形状	A B C D E AT F G H
召 合 せ 形 状	A B C D E F AT
ガ ラ リ 形 状	A B C D E AT F G ・ダンパー付きの場合は「形状」欄に記入する。
錠 の 種 類	モ シリンダーモノロック 本 シリンダー本締り 箱 シリンダー箱錠 鎌 鎌錠 オ オートロック 非 非常錠 ホ ホテル錠 ハ ハンドル錠
施 錠 方 法	か ぎ か ぎ サムターン 表 表示錠 か ぎ サムターン か ぎ なし か ぎ なし
握 玉 ・ 把 手 類	握 握玉 押 押番・把手 握 握込把手 レ レバーハンドル 引 引手 ケ ケースハンドル グ グレモン錠 分 分電盤錠 プ プラック丸引手
支 持 金 物	T T番 ビ ビボットヒンジ フ フローアヒンジ オ オートヒンジ
そ の 他 金 物	DC ドアクローザ DCス ドアクローザストッパー付 DCヒ ドアクローザヒューズ付 DCコ ドアクローザコンシールド付型 AS アームストッパー 当 戸当り 落 フランス落 し 順 順位調整器

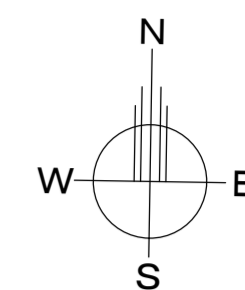
「備考」欄は、下記該当項目がある場合に記入する。
1 遮音性能 (A級、B級) 2 機密性能 (AT、セミAT) 3 煙感知器連動装置の制御方式
4 自動扉の感知方式 5 警備保証用配線

共通略号			
SD 鋼製扉 (戸)	AD アルミ製扉 (戸)	TGD 強化ガラス扉 (戸)	F ふすま
FSD 防火扉 (戸)	SDD ステンレス製扉 (戸)	SWD 鋼製枠木製扉 (戸)	WF 戸ふすま
SOP 合成樹脂調合ペイント塗り	OS オイルステイン塗り	AE-BE 熱硬化型アクリルエナメル塗り	SJ 紙障子
FE フタル酸エマルジョン塗り	OSC オイルステインクリヤ塗り	UE-BE 熱硬化型ポリウレタンエナメル塗り	
LC クリヤラッカー塗り	LE ラッカーエナメル塗り	UE 2 常温硬化型ポリウレタンエナメル塗り	
S 鋼	FLG フロートガラス	FWG 網入り板ガラス	HG 熱線吸収ガラス
SS ステンレス	FG 型板ガラス	PWG 網入り引きガラス	RG 熱線反射ガラス
AL アルミ	TG 強化ガラス	HWG 網入り熱線吸収ガラス	PG 複層ガラス
H 非塩ビ化粧シート			

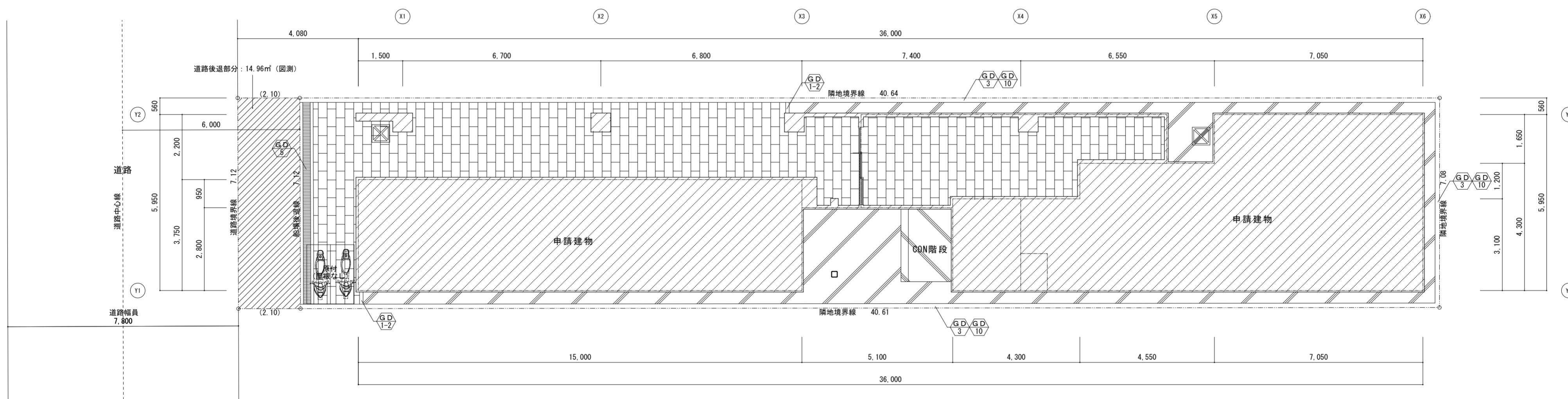
符号	場所 寸法 W×H	数量 法規制 ACW 1	外部 3~9階 3,100 × 20,355	1 防	ACW 2	外部 1~2階 3,100 × 6,505	1 防
----	-----------------	-----------------------	---------------------------	--------	----------	--------------------------	--------



形式	嵌め殺しカーテンウォール窓	2枚片引きエンジンドア付嵌め殺しカーテンウォール窓
仕上	枠見込 二次電解着色 標準色ステンカラー	250 二次電解着色 標準色ステンカラー
枠仕上	枠+枠分 二次電解着色 標準色ステンカラー	- 二次電解着色 標準色ステンカラー
硝子	(A) 複層 Low-E F L G t=5(外) + 耐熱強化 TG t=8(内) (B) F L G t=10(外) + 耐火ボード t=35(内)	(A) 複層 Low-E F L G t=5(外) + 耐熱強化 TG t=8(内) (B) F L G t=10(外) + 耐火ボード t=35(内)
金物	錠取付 方立 耐火ボード 付属金物一式	外 X 内 X
備考	※ガラス厚さはメーカーにて検討し承認を得ること。	※ガラス厚さはメーカーにて検討し承認を得ること。

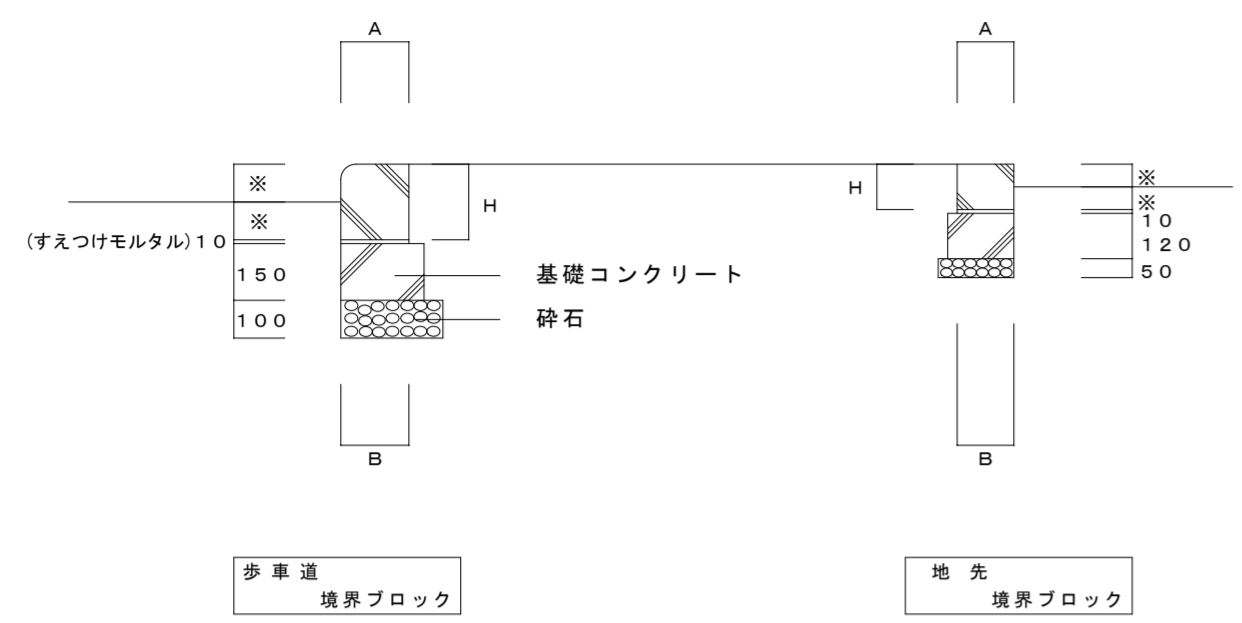


凡 例		※特記なき限り	
	建物範囲を示す。		メッシュフェンス コンクリート基礎 (t150、H600)の上、メッシュフェンス (H=1,200)
	土間コン及コンクリートスラブ舗装範囲を示す。		型枠ブロック ユニゾン ALTA アルタ(シャドーブラウン) t2W H=1,200
	セラミックタイル貼範囲を示す。		高木：ヤマモミジ 1本 3.5m サークルツリー (铸铁製、格子タイプ)
	アスファルト舗装範囲を示す。		ワイヤープランツ H200 10本



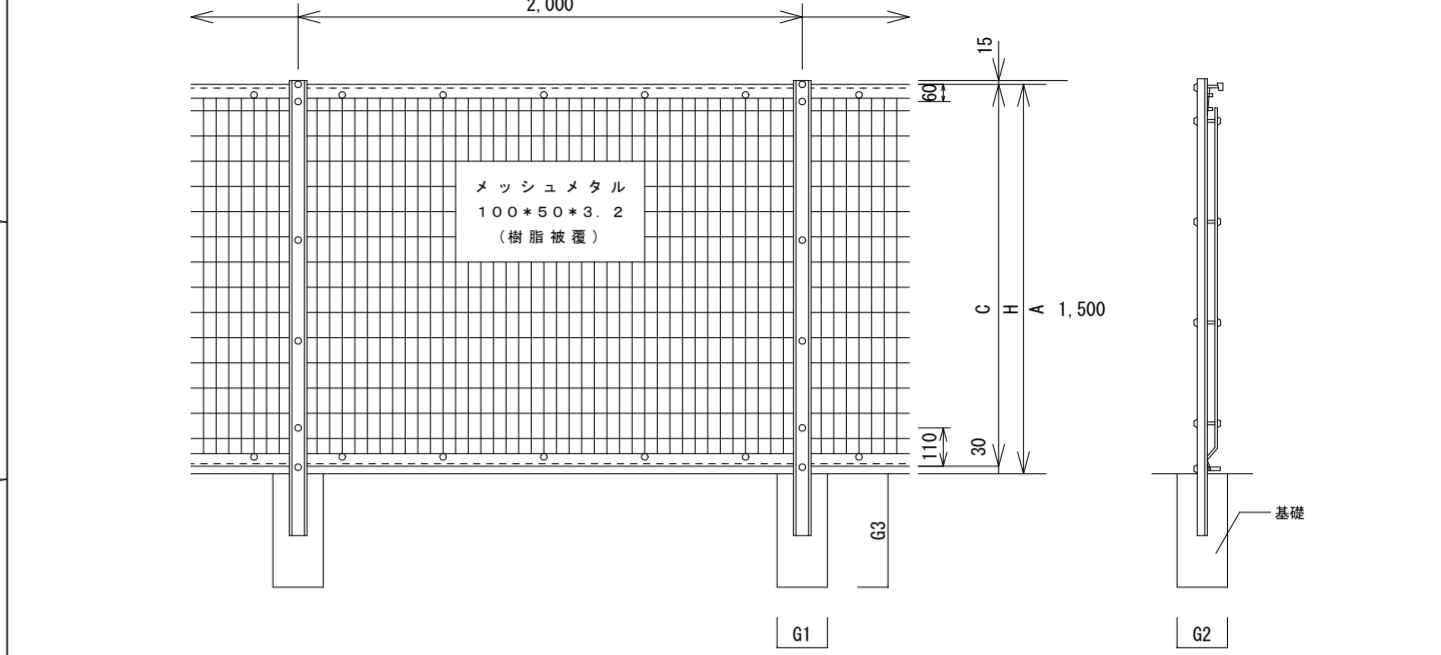
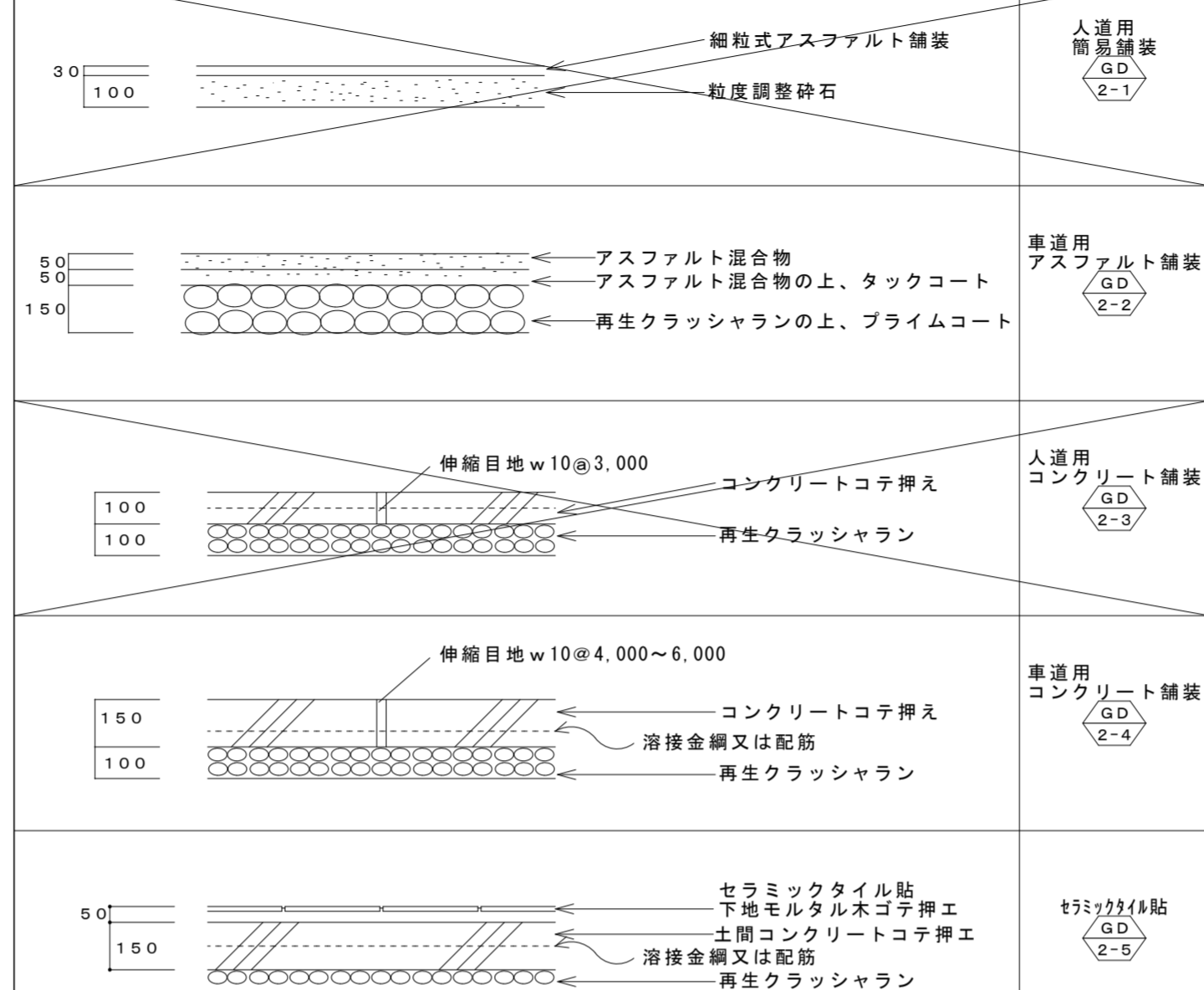
外 構 図

本図の縮尺は、A2-100%、A3-70.7%とする。



(JIS A 5307)

呼び名	適用	寸法 (mm)		
		A	B	H
GD 1-1 歩車道境界ブロック	×	150	170	200
	×	180	205	250
	×	180	210	300
GD 1-2 地先境界ブロック	○	120	120	120
	×	150	150	120
	×	150	150	150



適用	製品寸法				基礎寸法 G1×G2×G3
	H	A	B	C	
×	900	1,120	205	870	180×180×450
○	1,200	1,420	205	1,170	180×180×450
×	1,500	1,770	255	1,470	180×180×450
×	1,800	2,070	255	1,770	200×200×450
×	1,800	2,070	255	1,770	200×200×450
×	2,370	2,690	300	2,340	300×300×600
×	2,970	3,370	385	2,940	300×300×700

※基礎は、メーカー指定寸法とする。
 ※境界沿いは、地先ブロック等により境界が分かるよう施工すること。
 ※階段下の場合は、階段勾配に合わせて加工し、門扉を設けること。
 ※既存基礎を利用する場合は、基礎形状等を確認し、表面をモルタルにて仕上げること。

